

牧之原市義務教育学校施設整備 基本構想・基本計画



令和6年1月
牧之原市教育委員会

牧之原市義務教育学校施設整備基本構想・基本計画 目次

学校施設整備基本構想

第1章 目的と位置付け	・・・P 2～P 5
第1 目的と背景	
第2 位置付け	
第2章 条件整理	・・・P 6～P 10
第1 学年の区切り	
第2 校地選定にあたっての条件	
第3 通学方法について	
第3章 施設整備の方針	・・・P 11～P 17
第1 学校再編計画における施設の方針	
第2 学校施設のコンセプト	
第3 学校施設の整備方針	
第4 エリアの考え方	

学校施設整備基本計画

第1章 施設整備の基本計画	・・・P 19～P 29
第1 ワタシをつくる	
第2 つながる「人・学び・体験」	
第3 ささえる	
第2章 施設の考え方	・・・P 30～P 42
第1 屋内施設計画	
第2 屋外施設計画	
第3 設備計画	
第3章 地域別計画	・・・P 43～P 57
第1 相良地域の計画	
第2 榛原地域の計画	
第4章 推進に向けて	・・・P 58

資料編

・・・P 59～P 116

【学校施設整備基本構想】



第1章 目的と位置付け

第1 目的と背景

1 目的

牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（以下「基本構想・基本計画」という。）は、相良小学校、菅山小学校、萩間小学校、地頭方小学校及び相良中学校を（仮称）相良地域義務教育学校に、川崎小学校、細江小学校、勝間田小学校、坂部小学校及び榛原中学校を（仮称）榛原地域義務教育学校に再編するにあたり、学校施設整備に必要な学校のコンセプト、整備方針、施設計画、配置等の設計に係る基本的な考え方を示すことを目的としています。

2 背景

グローバル化の進展、人工知能（AI）の飛躍的な進歩、少子高齢化による労働人口の減少、人間関係の希薄化などの社会の変化により、先行きが不透明な時代を迎えています。このような中、現行の学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」という基本理念を示し、目指す資質・能力を育むために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善やカリキュラムマネジメント等の推進が求められています。

また、中央教育審議会の答申では『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～』の中で、「誰一人取り残されることのない」学校づくりの方向性が示されています。さらに「GIGA スクール構想」により、一人一台端末の配備が進み、その活用の推進も急務となっています。

このように、様々な教育課題が山積する中、その解決のために推進される教育活動の充実には、学校施設の充実が必要不可欠となります。

市教育委員会においても、平成31年3月に「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」（以下「教育環境のあり方方針」という。）を策定し、この予測困難な時代を生きる子どもが、自分らしく主体的に生きるための人間力と新しい価値を創造する力を合わせた「次代を切り拓く力」を身に付けることができるよう「キャリア教育を軸とした小中一貫教育と社会全体で子どもを育てる仕組み」を推進することを決めました。その実現のため、現在、牧之原市版のキャリア教育「起郷家教育」のプログラムづくりやその実施をするとともに、全校でコミュニティ・スクールを進めています。

さらに、市及び教育委員会では、安全・安心で、子どもが学び・育つ場所として望ましい教育環境を整備するとともに、通いたい・通わせたいと思われる魅力的な学校とするため、令和4年3月に「未来の子どものための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」（以下「学校再編計画」という。）を策定しました。

学校再編計画では、キャリア教育を軸とした小中一貫教育を充実するため、市立小学校8校、市立中学校2校を再編し、新たに2校の施設一体型義務教育学校^{※1}を設置することを定めています。

※1 義務教育学校：平成28年4月1日「学校教育法の一部を改正する法律」の施行により、新たな種類の学校として認められた学校で、小学校から中学校までの義務教育期間9年間で1つとし一貫した教育ができる学校。

これを受け、令和4年度から、市民検討組織である「牧之原市新しい学校づくり検討会（以下「検討会」という。）」及び庁内検討組織である「学校再編推進プロジェクトチーム（以下「再編PT」という。）」を立ち上げ検討を進めてきました。再編PTでは、検討会で話し合うためのたたき台や検討会の意見による修正内容などを検討してきました。検討会は、専門家や各地域の自治会、就学前・小中学校の保護者、教職員、CSD^{※2}、企業の代表で構成し、市が示すたたき台を基に、主にワークショップにより、行政以外の目線から多様な意見を出し合い、考え方をまとめてきました。

新しい学校が「みんなの学校」として愛される施設となるよう、教育委員会だけでなく、多様な組織や人が計画策定のプロセスに関わる体制により検討を重ね計画をまとめています。

第2 位置付け

1 関連計画

(1) 第3次牧之原市総合計画（令和5年3月策定）

(ア) 基本構想・重点方針3 若者世代が住みやすい暮らしを創出する

出生数が周辺市に比べて極端に減少している状況を改善するため、若者世代の住みやすい環境づくりに向けて、子育て、働き方、教育、家族生活など、各ライフステージにおける付加価値の高いサービスの提供に力を入れます。

(イ) 基本計画・重点戦略プロジェクト

戦略5 次代を切り拓く力を育む新たな学校づくり

- 1) 義務教育学校の設置
- 2) 地域と共にある学校
- 3) 学校再編の推進
- 4) 学校跡地の活用

(抜粋)

(2) 牧之原市公共施設マネジメント基本計画(平成28年11月策定・令和4年2月改定)

第4部 施設分類別の方向性 - 1分類 - 3 学校施設

平成31年3月に策定した「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」に基づき、小中連携教育を進め、魅力ある教育環境を実現するため、小中学校再編計画を策定します。

(抜粋)

※2 CSD：コミュニティ・スクール・ディレクターの略。牧之原市では、子どもに地域愛を育むために、学校と地域が共に子どもを育てる仕組みであるコミュニティ・スクールを全校に導入。地域と学校をつなぐコーディネートの役割を持つ人として、CSDを各校に置いている。

第4部 施設分類別の方向性 - 1 分類 - 8 学校施設

令和4年3月に策定した「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」に基づき、市立小中学校10校を2校の義務教育学校に再編します。
(抜粋)

(3) 牧之原市教育大綱（平成28年3月策定・令和2年5月改定） ※令和6年4月改定予定

(ア) 基本理念 「こころざしを持ち 夢ある人づくり」
(イ) 教育目標 「確かな学力をつけ 次代を切り拓く力を育成します」
(抜粋)

(4) 牧之原市教育振興基本計画（令和5年4月策定）

基本方針1「確かな学力をつけ 次代を切り拓く力を育成します」

取組2「次代を切り拓く力を育む新しい学校の実現」

- ア 義務教育学校の設置
- イ 地域と共にある学校
- ウ 学校再編の推進
- エ 学校跡地の活用

(抜粋)

(5) 牧之原市教育環境のあり方に関する方針（平成31年3月策定）

2 取組の方向と施策 - 1 考え方 - 2 施設

③ 施設環境

学校施設は、安心・安全で、学びやすく、通いたい・通わせたいと思ってもらえる魅力的な小中一貫校を目指す。学校の規模は、1学年3学級以上を基本とし、建築後20年間は単学級とならないものとする。場所は、津波浸水想定区域外とし、防災機能を充実させるなど安心・安全な施設にするとともに、エコスクール等環境への配慮があるものとする。また、ICT環境の充実など時代に対応した設備を持つとともに、施設の一部又は隣接した場所に、図書館やプール、地域の人々が活動できるスペース等、市民と共有できる機能を備え、人づくりや文化の拠点となるものを目指す。

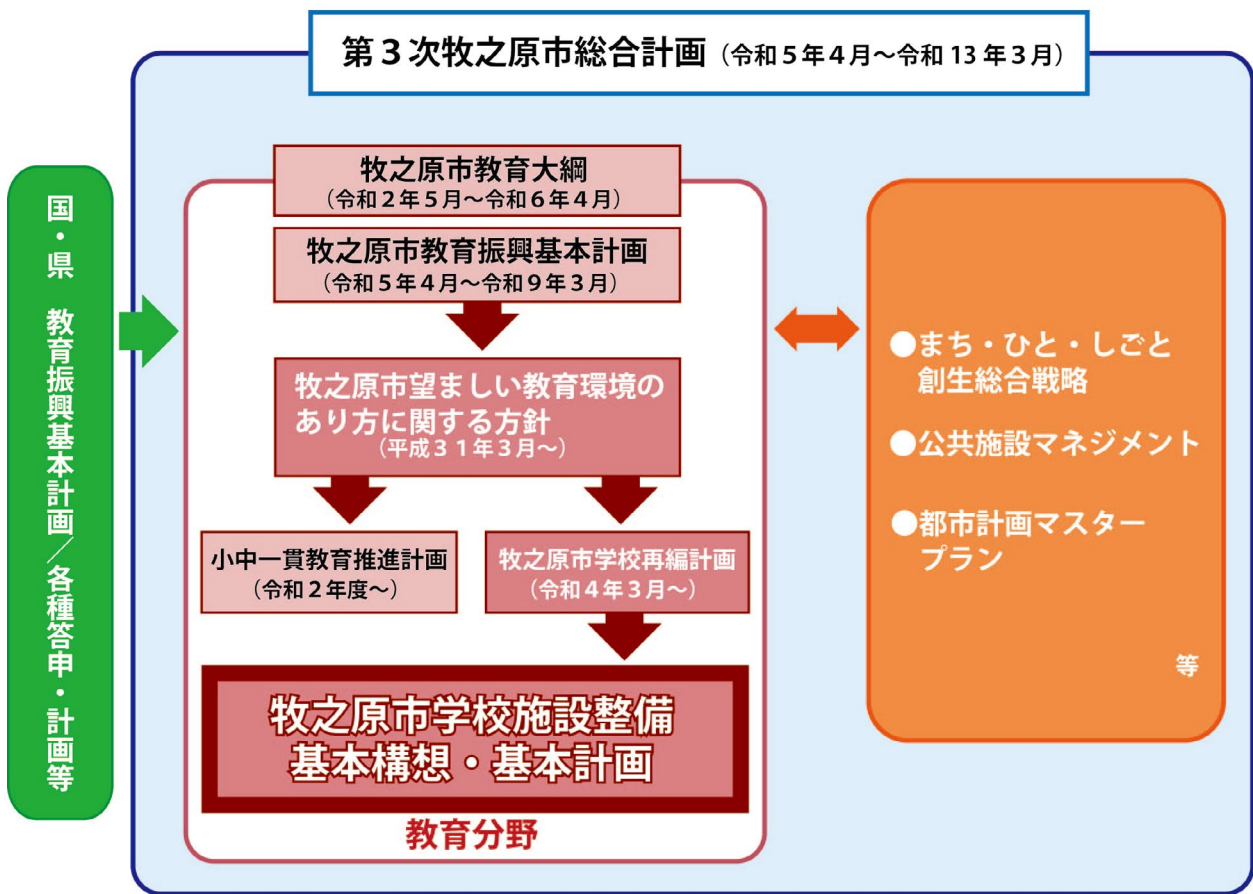
(抜粋)

(6) 未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～(令和4年3月策定)

市立小学校8校、市立中学校2校を対象とし、安全・安心で、子どもたちの学び・育つ場所として望ましい教育環境を整備するとともに、通いたい・通わせたいと思われる魅力的な学校をつくるために必要な学校像、再編の考え方、実現のための方策、施設の機能等を定めることを目的とします。

(抜粋)

2 関連する計画との関係



第2章 条件整理

第1 学年の区切り

設置を予定している義務教育学校は、平成28年4月1日施行の「学校教育法等の一部を改正する法律」により新たな種類の学校として認められた小学校から中学校までの義務教育9年間を一貫して育むことができる学校です。義務教育学校では、従来の小学校6年、中学校3年の区切りにとらわれることなく、自由に学年の区切りを設定することができます。

市教育委員会は、「牧之原市に合った9年間の系統的・連続的な学びと育ちが充実する学年の区切り」について、令和4年度に市校長会に対して研究し提案することを要請しました。市校長会は、当該要請について研究を行い、まとめた結果を市教育委員会に提言をしました。市教育委員会は、この提言を受け、新しく設置する義務教育学校の学年の区切りを次のとおりとしました。

- ① 子どもの発達段階や年齢の特性に応じた意図的な教育活動を行うため、4-3-2制を基本とする。
- ② 学年の区切りは4-3-2制を基本とするが、教育活動や実情に応じて、2-2-3-2制、5-4制などの枠組みで行うことができる。

【解説】

9年間の系統的・連続的な学びと育ちが充実する学年の区切りを設定するにあたり、子どもの発達段階の特性などを考察し、整理しました。

1 発達段階の特性

子どもの発達は、現在の教育制度が整備された戦後から比べて2年程度発達が早まっていると言われています。子どもたちの発達段階の特性は大きく次の3段階に分かれると考えました。

- ・ 1～4年生 … (4年間) 学習・生活の基礎基本を定着させる時期
- ・ 5～7年生 … (3年間) 学習・生活の基礎基本を生かし、充実・進化させる時期
- ・ 8～9年生 … (2年間) 学習・生活の完成期 個の資質・能力を伸ばす時期

2 特性に応じた教育活動

小学校から中学校に進学した際の環境や生活の大きな変化(教科担任制・定期試験・部活動等)により、不登校やいじめが増える現象を中1ギャップといいます。子どもがつかずきやすい大きな段差(変化)をつくるのではなく、6年生と7年生をつなぎ、ゆるやかな段差とすることで中1ギャップの解消を図ることができると考えました。

同じ校舎で生活することで見える化が図られ、不安の軽減につながると考えていますが、さらに段差をゆるやかにするために、段階的な制度導入や相互のコミュニケーションができる

※3 前期課程：小学校1～6年生の期間、後期課程：中学校1～3年生の期間。

よう、5～7年生の3年間を教育課程の前期課程^{※3}から後期課程への移行時期として1つのまとまりとしました。

なお、段階的な制度等については、次のとおり整理しています。

(1) 専科指導の導入

5年生から専門性が高い学びに入っていきます。そのため、5年生から一部教科担任制^{※4}を導入することにより、充実した学びにつながるとともに、7年生からの教科担任制へのスムーズな移行ができるようになります。

(2) 5年生からの部活動などへの参加（検討中）

5年生から希望者が部活動の練習に参加できるようにし、日々の活動の場を広げるとともに、7年生からの本格的な部活動への移行をスムーズにすることが可能になると考えます。

※4 一部教科担任制：教科担任制とは、中学校のように教員が特定の専門教科を担当して授業を行う指導形態のことです。一部教科担任制とは、基本的には1～6年生の授業はクラス担任が行いますが、一部の教科の授業（例えば、英語、数学、音楽など）について、クラス担任ではない専門教科の教員が授業を行うことを言います。

第2 校地選定にあたっての条件

学校再編計画では、津波浸水想定区域外に安全な施設をつくるため、相良地域は「相良総合センター「い〜ら」から相良総合グラウンド周辺」、榛原地域は「市立榛原中学校から総合運動公園ぐりんぱる周辺」を学校建設するエリアとして選定しました。

市教育委員会では、令和4年度に、学校用地を検討する組織として、専門家、自治会、保護者、教職員の代表で組織する「牧之原市学校用地候補地選定委員会（以下「選定委員会」という。）」を設置し、学校再編計画で選定されたエリア内から、候補地を絞り込むことにしました。

エリア内の適地を選定するため、次のとおり条件を整理した上で、相良地域は学校用地候補地5か所の内から、榛原地域は学校用地候補地2か所の内から、現地確認や、安全性、土地利用、教育環境、利便性、経済性、地域性などの観点から各候補地の状況を整理し、総合的に学校用地として最も適する場所を候補地として選定し、教育委員会に提案しました。教育委員会は、この提案を受け、候補地として決定した後、学校施設整備基本構想・基本計画を策定するにあたり、造成や配置等を検討した結果、候補地に望ましい施設の整備が可能であると判断し、校地を決定しています。

【候補地を選定するにあたっての条件】

- ① 津波浸水想定区域外で、災害に強い学校施設をつくることができる。
- ② 必要最低限の敷地面積（相良地域 3 ヘクタール、榛原地域 3.5 ヘクタール）を確保できる。
- ③ 用地、建物、道路等の整備にかかる総費用が抑えられる。
- ④ 保護者や地域の人から理解が得やすい立地である。
- ⑤ 市の都市計画等やその他計画と整合が図られる。

第3 通学方法について

1 通学手段と対象距離

- ・通学手段は、徒歩を基本とし、自転車及びスクールバス等の利用ができるようにします。
- ・通学手段に対する学年と距離については、子どもの体力や体格、自転車等の運転技術等も考慮し、基本的な考え方を次のとおり定めます。ただし、地形や地域の実情に応じ、開校準備段階に詳細を検討します。
- ・スクールバス等の利用は無償を基本とします。

【通学方法の基本的な考え方】

- ① 徒歩の距離は、実測距離とし、全学年 2.5 km未満を基本とします。
- ② 1～6年生については、2.5 km以上をバス通学の対象とします。ただし、1～2年生については、2.5 km未満であっても希望によりバス通学ができるようにします。
- ③ 7～9年生については、2.5 km以上を自転車通学の対象とし、6 km以上をバス通学の対象とします。
- ④ ①～③の考え方を踏まえて、相良地域については萩間地区全域の1～6年生及び地頭方地区全域の1～9年生をバス通学の対象とします。榛原地域については坂部区全域の1～6年生をバス通学の対象とします。
- ⑤ 自転車通学又はバス通学の対象距離を満たしていても、徒歩又は自転車での通学を選択することができます。

【通学手段と距離のまとめ】

学年	徒歩	自転車	バス
1～2年生	2.5 km未満		希望制
3～6年生			2.5 km以上
7～9年生		2.5 km以上	6 km以上

2 通学路の考え方

通学路に係る考え方を次のとおり整理し、詳細については、開校準備の段階で検討します。

【通学路の基本的な考え方】

- ① 通学路については、開校前のため、教育委員会が暫定的に決定し、開校後、必要に応じて校長が変更できるようにします。決定にあたっては、保護者や学校との意見交換、現地確認等の現状把握を行うとともに、道路管理者等と協議・調整を行います。
- ② 開校後においても、教育委員会は、学校に指導し、道路管理者等と連携して通学路の安全に努める必要があることから、通学路を把握し、道路管理者等と調整を図る役割を担います。
- ③ 通学路は、防犯面も考慮した上で、既に整備されている又は整備計画がある道路を優先して指定します。
- ④ 開校準備の段階に、通学班、徒歩・自転車の詳細な通学ルート、バスの停留場所及びルート、通学路の高低差の扱い、班・組でまとめるなどの詳細な考え方について検討します。

第3章 施設整備の方針

基本構想・基本計画は、学校再編計画の考え方を具体化するものです。整備方針では、学校再編計画を基本とし、学校施設の整備にあたって大切にしたい思いや考え方を方針として整理しました。

第1 学校再編計画における施設の方針

(1) 目指す教育と施設の方針

キャリア教育を軸とした小中一貫教育を充実できる施設一体型の義務教育学校とします。

(2) 目指す学校像

みんなで子どもを育む「共育(きょういく)」の考え方のもと、子どもたちが楽しく学校生活を送り、「次代を切り拓く力」を育てる学びができる「みんなの学校」を目指します。

(3) 基本方針

目指す学校像を実現するために、次の5つの基本方針を掲げます。

- 方針1 すべての子どもが主役の学校
- 方針2 「次代を切り拓く力」を育む学校
- 方針3 安全・安心な学校
- 方針4 地域の未来を担う子どもを育てる学校
- 方針5 働きやすく充実した指導ができる学校

(抜粋)

【学校再編計画における目指す学校像】

目指す学校像 「みんなの学校」

- 子どもたちが「学校が楽しい！」と思える子ども主体の学校
- みんなで子どもを育てる「共育」の学校

①学校、地域、家庭のみんなで子どもを育てる、関わるみんなも育つ ②みんなが行きたくなる、みんなが活動できる

育みたい力

次代を切り拓く力 = 人間力 (主体性・社会性・気付き力・コミュニケーション力等)

小中一貫教育

コミュニティ・スクール

キーワードは「つなぐ」

9年間のつながりある
学びと育ち

- ・ 小学校と中学校が同じ狙いを持ち、お互いの授業を意識することでよりよい学びにする(一貫した指導)
- ・ 「できた・分かった」輝く子ども
- ・ 着実なステップアップ ゆるやかな段差によるバランスのよい育ち
- ・ 教科専門性への対応

多様な人との交流

- ・ たくましさ・自己肯定感
- ・ 切磋琢磨できる環境
- ・ 一定の集団(クラス替えができる規模)の中で違う考えの人と触れ合い自分の生き方を見つめる
- ・ 異学年、地域といった多様な年齢や立場の人と触れることでさまざまな考え方を学ぶ
- ・ インクルーシブ教育

いろいろな体験

- ・ 授業の学びと実体験・実社会をつなぐ
- ・ 牧之原だからできるリアル体験を大切にすること
- ・ 地域・家庭・学校が一緒に子どもたちに地域愛を育む

キャリア教育

時代が変わっても教育内容、ライフスタイルに柔軟に対応できる施設・設備

- | | |
|---------|------------|
| 特別教室の位置 | 広い廊下 |
| 可動式仕切り | 50年後も使える仕様 |
- など

愛される施設

・ つくり手と使い手が一体となった施設
・ 魅力ある環境

教育活動を支える施設の機能

- | | |
|----------------------|------------|
| ICT環境 | ユニバーサルデザイン |
| 木のぬくもり | 地域と共有できる機能 |
| 共同職員室・たくさんのスタッフがいる広さ | |
| メンテナンスのしやすさ | エコスクール |
- など

土台・基礎となるもの

安全・安心

- 災害に強い(場所と建物)
- 適正な管理ができる規模と質(限られた人とお金・後世に不安を残さない)
- 通学も安心(通学路と通学手段)
- 見える学校(目が届く・たくさんの目で見る)
- 保健衛生環境が整っている(感染症対策がしやすい)

第2 学校施設のコンセプト

学校施設のコンセプトは、学校施設をつくるにあたり大切にしたい考え方をみんなで共有するとともに、機能や使い方などを考える際のよりどころとなるものです。

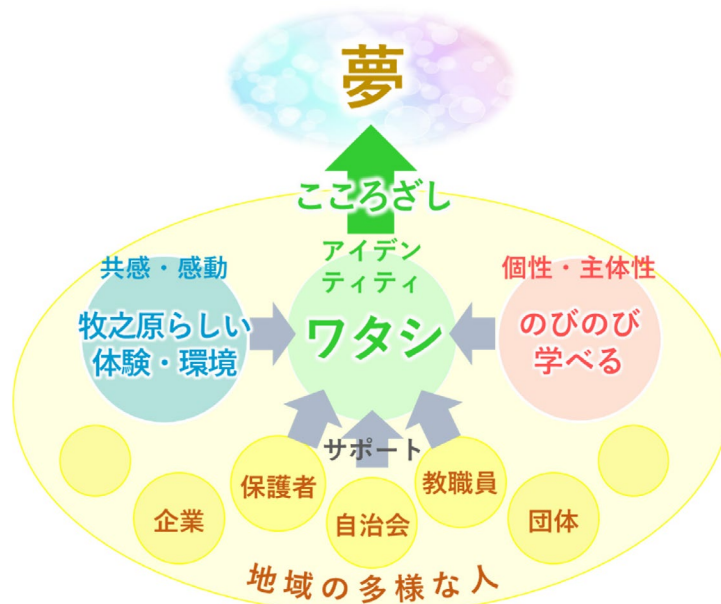
学校再編計画の目指す学校像「みんなの学校」を両地域の共通コンセプトとし、そこに相良地域・榛原地域が特に大切にしたいことを表現することとしました。

相良地域・榛原地域のそれぞれの検討会で、大切にしたいことや機能等について委員が出した意見を元に作成した候補の中から、学校施設整備のコンセプトを次のように決定しました。

1 相良地域のコンセプト

『夢につながる みんなの学校』

ワタシをつくるスタートラインとして、教職員、保護者、地域がみんなで子どもの主体性やこころざしを育てることにより、子どもの夢の実現につなげることができるような学校とする。



【解説】

子どもが、自分の夢や未来に向かうワタシをつくるスタートラインとなる学校にしたいとの願いがあります。

夢に向かうためには、まずは、「ワタシ」というアイデンティティを確立し、さまざまなアイデンティティを尊重することが大切です。そして、子どもが夢に向かうためのこころざしを育むため、保護者や地域を始めとする多様な人のサポートや、牧之原らしい体験と環境も必要です。さまざまな関わりや体験を通しての共感・感動が「ワタシ」をつくり、夢に向かって前へ進む原動力となるものと考えました。

子どもの個性を尊重し、自由でのびのび学ぶことができる学校施設は、子どもの主体性を育みます。新しい学校を、地域の人も学び、集まることができる学校とすることで、子どもだけでなく牧之原市全体の未来にもつながることを期待します。

「ワタシをつくる」、「夢」「未来」、「のびのび学べる」という視点を新しい学校施設に反映していきます。

2 榛原地域のコンセプト

『地域と共に わくわく学び・体験できる みんなの学校』

子どもがやりたいことにチャレンジできる環境を整え、学びや体験、人とのつながりにより子どものこころざしを育てる。個性や多様性が尊重される中で、子どもが地域の人たちと共に、楽しくわくわくするような多様な学びや体験ができる学校とする。



【解説】

子どもが、自分の個性に気づき自分らしさを大事にできる、いろいろな個性があることを知り多様性を尊重できる、自分の未来に向かってこころざしを持つことができるような「ワタシ」をつくる学校にしたいという思いがあります。

「ワタシ」をつくるためには、地域との関わりがとても重要になります。保護者や地域を始めとする多様な人、考え、立場、ものとの出会いが子どもの気づきや自己肯定感・自尊感情を育み、自分の未来に向かって一歩踏み出す力となると考え、「地域と共に」を重要な要素として盛り込むこととしました。

また、子どもの主体性を引き出し様々なチャレンジができる、子どもが「学校が楽しい」と思うことができるよう「わくわくする学び・体験」も大切にしたいと考えました。

「ワタシをつくる」、「地域との関わり」、「わくわくする」という視点を新しい学校施設に反映していきます。

第3 学校施設の整備方針

学校施設のコンセプトは、両校共通ではありませんが、大事にしたい思いや機能の多くは両地域共通しています。

学校施設の整備方針は、学校施設のコンセプトと施設の計画を結ぶ役割をするもので、コンセプト策定の過程で出されたキーワードをつなげて施設整備の基本方針とします。

1 ワタシをつくる

「ワタシ」とは、子ども一人一人のことです。子どもの個性や主体性を尊重できる施設とします。

(1) ワタシの居場所

- ① 誰もが学校に行きたいと思える空間をつくります。
- ② 誰もが健やかに生活できる環境をつくります。

(2) ワタシが学ぶ

- ① 子どもが快適に学べる空間をつくります。
- ② 子どもがいつでもどこでも主体的に学べる空間をつくります。
- ③ 子どもの特性や状態に対応できる環境をつくります

2 つながる「人・学び・体験」

「ワタシ」が多様な「人・もの・こと」に触れることができる施設とします。

(1) 9年間がつながる

- ① 多様な学びができる柔軟な学習空間をつくります。
- ② 9年間の教育活動が充実する環境をつくります。
- ③ 子ども同士の交流がしやすい環境をつくります。

(2) 教職員がつながる

- ① コミュニケーションが取りやすく、効果的・効率的な執務環境をつくります。
- ② 働きやすい環境をつくります。

(3) 地域や社会とつながる

- ① 地域と共に子どもを育むことができる環境をつくります。
- ② 地域と共にある学校としてみんなが利用できる環境をつくります。
- ③ ICTの活用などにより、国際社会に触れる機会やグローバルなコミュニケーションができる環境をつくります。
- ④ 地域性を活かした施設をつくります。

3 ささえる

子どもの居場所となり、つながることができるよう、安全で機能性と汎用性が高い施設とします。

(1) 安全と安心

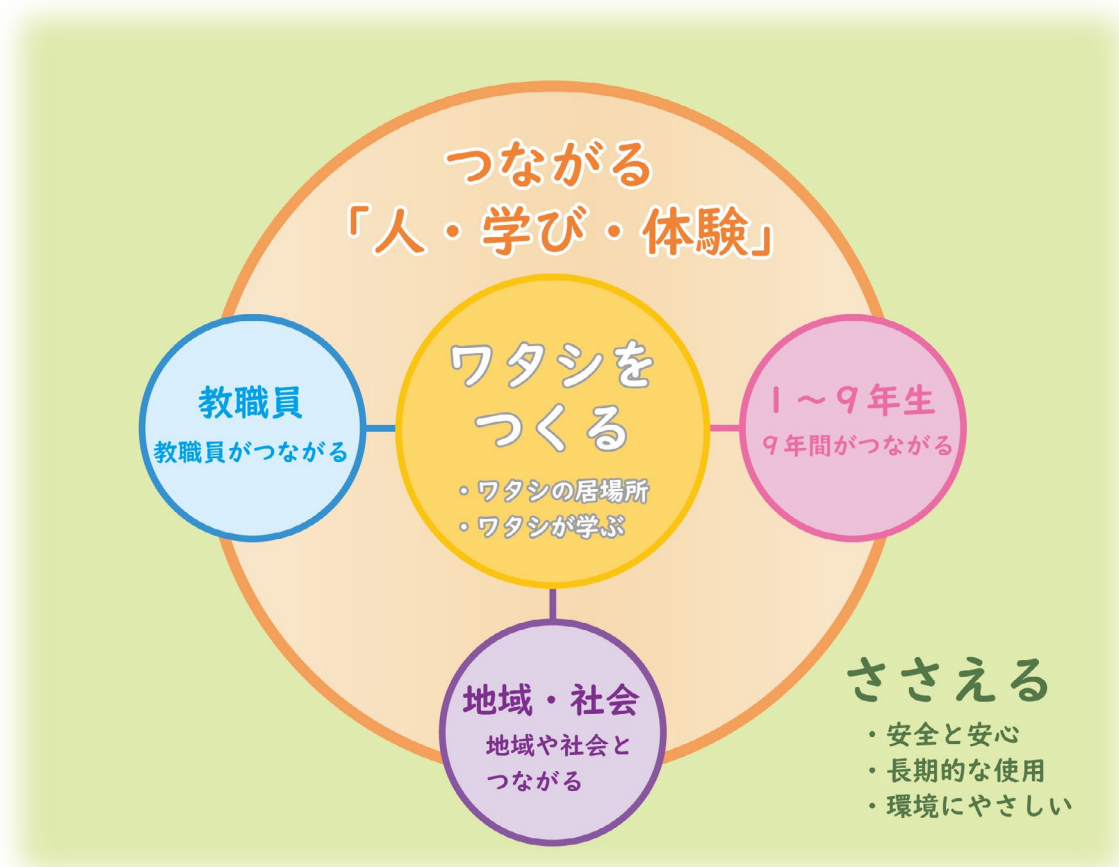
- ① 誰もが安心して過ごせる安全な施設をつくれます。
- ② 地域の災害拠点となる施設をつくれます。

(2) 長期的な使用

- ① 維持管理しやすく長期的に使用できる施設をつくれます。
- ② 将来的な技術革新や社会・学びの変化に柔軟に対応できる施設をつくれます。

(3) 環境にやさしい

- ① 脱炭素社会に配慮した環境にやさしい施設をつくれます。



※「ワタシ」とは単なる個人でなく、子ども一人一人の個性や多様性を表しています。
読む人に注目してもらえるようあえてカタカナ表記にしています。

第4 エリアの考え方

1 エリアの分け方と動線の考え方

- ・施設の使いやすさや子どもの安全性確保のため、整備方針や教室等の性質を踏まえ、施設をエリアで分けます。エリアは、(仮称) 普通教室エリア、管理エリア、地域開放エリアとします。
- ・地域開放エリアは、外部の人が入ることができ、部屋等を共用して使用することができるエリアとします。
- ・動線は、子どもの教育活動のしやすさを第一に、教職員の管理のしやすさ、地域利用のしやすさの順に考えます。

2 各エリアと動線

(1) 普通教室エリア

- ・普通教室、特別支援学級関係室、少人数指導用教室、オープンスペース^{※5}、更衣室、トイレ、水道、職員コーナーを配置します。
- ・普通教室は、教育活動がしやすいよう1学年の教室(3~4学級)を1ユニットとし、隣接してオープンスペースを配置します。また、低学年は、動線が分かりやすく、室外の活動がしやすいよう低層階に配置します。
- ・特別支援学級関係室は、特別支援学級での活動や通常学級との交流がしやすいよう、通常学級にアクセスしやすい場所とします。
- ・オープンスペースには、トイレ、水道、更衣室、職員コーナーを配置します。
- ・1フロアに1つの少人数指導用教室を配置します。
- ・普通教室エリアは、グラウンドやロータリーから近い場所に配置します。

(2) 管理エリア

- ・管理エリアには、校長室、職員室、事務室、保健室、会議室、相談室、印刷室、(仮称)こころの相談室、通級指導教室、職員更衣室、放送室、児童・生徒会室、給食受室を配置します。
- ・職員室は、教職員の動線に配慮し、可能な限り、普通教室に近い場所に配置します。
- ・校長室、職員室、事務室、印刷室、保健室などの管理系主要室は、連携しやすいよう可能な限り近接して配置します。
- ・職員室と保健室は、子どもを見守りやすい配置とします。
- ・相談室及びこころの相談室は、人に会わずに出入りできる等の配慮をします。
- ・給食受室は、配送車が横付けできる場所とします。給食受室は、エレベーターや普通教室の配置、配送車が横付けできる位置との関係があるため、地域開放エリアに配置することも可能とします。

※5 オープンスペース：教科などを越えた多様な活動に対応できる共用空間のこと。文部科学省施設整備方針における多目的スペースのこと。

(3) 地域開放エリア

- ・ 地域開放エリアには、特別教室、多目的ルーム、地域活動室（CS ルーム）、体育館、武道場、防災倉庫、放課後児童クラブを配置します。
- ・ 地域活動室（CS ルーム）は地域の方が活動する部屋のため、学校の教育活動時間の有無に関わらず常時開放し、特別教室、多目的ルーム、体育館、武道場については、学校が教育活動で使用しない時間帯に開放します。
- ・ 地域開放する時期は、多目的ルーム、体育館、武道場については開校当初から、特別教室については地域の使用ニーズが高まった時期とします。
- ・ 通常の子どもの昇降口とは別に、一般用の出入口や放課後児童クラブ用出入口など複数の出入口を整備します。
- ・ 外部からの来訪者を確認でき、不審者の侵入を抑止することができる配置とします。

(4) エリアを指定しないもの

- ・ 学校図書館は、子どもが利用しやすく、授業で活用しやすいよう、子どもの動線上で、かつ、施設の核となる場所に配置します。そのため、エリアの指定はしませんが、地域開放エリアに配置する場合は、子どもの安全や動線を確保します。
- ・ プレゼンスペース^{※6}は、できる限り、階段や音楽室など整備が必須なスペースの機能拡充により整備します。



プレゼンスペースのイメージ

※6 プレゼンスペース：学習内容などを表現・発表することができる空間。

【学校施設整備基本計画】



第1章 施設整備の基本計画

基本計画は、基本構想で定めた整備方針をより具体化した考え方を定めるものです。

第1 ワタシをつくる

1 ワタシの居場所

(1) 学校に行きたいと思える魅力ある施設

- ・子どもがリフレッシュでき、居心地がよいと感じる場所をつくります。
- ・子どもが楽しく、ワクワクする空間やしかけを工夫します。
- ・子どもだけでなく、教職員や地域の人も学校に行きたいと思える快適な環境とします。

(2) 明るく開放的な空間

- ・居住性を向上させるため、採光、通風等に配慮し、熱、空気等の快適な室内環境が確保できるようにします。
- ・天井を高くする、吹抜けを設けるなどの工夫により、開放感を感じられる空間とします。

(3) 木材の積極的な活用

- ・子どもの心理面・情緒安定につながるよう温かみのある空間とするとともに、内装等には積極的に木材を活用します。木材は、可能な限り県産材を使用します。

(4) 誰もが健やかに生活できる環境

- ・感染症対策を踏まえた新しい生活様式に対応した施設とします。
- ・熱中症への対策、快適な教育活動、避難所機能の充実などのため、教室のみならず、体育館やオープンスペースなどを含む全館に空調を整備します。グラウンドやプールなど屋外運動施設においても、隣接する校舎の軒や木陰などの日陰スペースを意図的につくるなど、熱中症対策を図ります。
- ・トイレは、現在の生活様式に合わせ、主流となっている洋式トイレを基本とし、清掃しやすく清潔が保ちやすい乾式^{※7}とします。

※7 乾式：水で洗い流す清掃方法を取らない室内の他の部屋同様の建材や床材等でつくられたもの。

2 ワタシが学ぶ

(1) 子どもが快適に学べる空間

- ・ 段差がなく、エレベーターやスロープなどにより誰もが安全で移動しやすい建物と敷地とします。
- ・ 分かりやすい案内表示や動線とします。
- ・ バリアフリートイレ^{※8}を各階に設置します。

(2) いつでもどこでも学べる

- ・ 学校施設全体を学びの場と捉え、いつでもどこでも学び、表現することができるよう、体育館等を含む建物全体に空調とWi-Fiを整備します。
- ・ 雨天でも、うわぐつそのまま活動することや部活動等で軽い運動をすることができる屋根のある場所、また教室からつながるテラスなどの半屋外空間を整備します。
- ・ 学校図書館は、居心地が良く、魅力的な空間とすることで子どもの居場所とするとともに、子どもが主体的に学べるよう、いつでも自由に利用できるようにします。
- ・ 多様な活動や学びの成果を表現できる場所として、プレゼンスペースを設けます。可能な限り、階段や音楽室などを機能拡充することにより、表現の場として活用できるようにします。



「いつでも学べる」半屋外空間のイメージ

※8 バリアフリートイレ：一般的な狭いトイレを利用しにくい車いす使用者や高齢者、乳幼児を連れている人、性別で区切られたトイレに抵抗がある性的マイノリティの人など、あらゆる人が気兼ねなく使用できる広さと機能を兼ね備えたトイレのこと。

(3) 多様な子どもへの対応

① 障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもに対応したスペースの整備

- ・障がいの状態や特性に応じた指導ができるよう、特別支援学級及び通級指導教室を整備し、9年間の系統性・連続性のある教育活動や一貫した支援を効果的に行える配置や部屋の構成とします。
- ・外国籍又は日本国籍で日本語指導が必要な子どものため、会議室や相談室等の併用等により、個別指導ができる場所を確保します。

② 登校に不安がある子どもが安心できる居場所づくり

- ・教室に行くことが難しい子どもについては、集団又は個別指導、各種相談などができる場所として、管理エリアに(仮称)こころの相談室を整備するとともに、相談室を併用して活用できるようにします。部屋は、学習機会の確保ができるようにICT環境を整えるとともに、配置や動線を工夫し、安心して過ごすことができる場所とします。
- ・学校に行くことが難しい子どもについては、学校敷地外にある教育支援センターにおいて学習機会の確保などの支援ができるようにします。

第2 つながる「人・学び・体験」

1 9年間がつながる

(1) 多様な学びができる柔軟な学習空間

- ・普通教室は、ICTの活用による多角的な学習^{※9}や、個別最適な学び^{※10}と協働的な学び^{※11}に対応した多様な活動ができるようゆとりある広さを確保します。多角的な学習を可能とするため、普通教室は、隣接して廊下兼オープンスペースを設け、可動仕切りの開閉により活動範囲を柔軟に変更できるセミオープン型の教室とします。さらに、教室の機能を充実するとともに、十分な収納スペースの確保やロッカーなどの家具等を可動式にすることも含め、一体的な学びの空間とします。
- ・特別支援学級関係室は、教室内の活動が充実するクローズ型の教室とします。
- ・特別教室は、実社会に生きる学びを実現するため、横断的な学び^{※12}や多目的な活動に柔軟に対応できるようにします。また、異学年への関心と理解を促すため、子どもの作品やさまざまな資料等の展示・掲示等ができるスペースをつくるなどの工夫をします。



「多様な学びが出来る柔軟な学習空間」のイメージ

※ 9 多角的な学習：黒板だけでなくプロジェクトや大型提示装置などを活用することで正面性のない空間での学習が可能。

※ 10 個別最適な学び：子供一人一人の興味・関心や特性・個性に応じた学習のスタイル。

※ 11 協働的な学び：自分とは異なる考えに触れ、学びを深める学習のスタイル。

※ 12 横断的な学び：一つの教科の課題に収まらない課題について、他の教科等の学びで活用したり関連付けたりすることにより、学びを深めたり実社会に活かせることを実感できる学び。

(2) 9年間の教育活動が充実する環境

- ・ 9年間の系統的・連続的な教育活動が充実でき、教職員の一体感や一貫教育に適合した学校マネジメントを可能とする施設一体型の校舎とします。
- ・ 学年ごとの授業開始時間の違いや後期課程の定期試験時の遮音対策など、9学年の教育課程に配慮した配置や動線、建具等を工夫します。
- ・ 4-3-2制の教育活動が充実できる配置や機能とします。
- ・ 一部教科担任制も考慮した特別教室や運動施設の規模と数を整備するとともに、共同利用や教科指導の充実ができるようにします。
- ・ 9学年のさまざまな教育活動、行事等に応じた使用ができるよう、大きさや仕様が異なる体育館及び武道場を整備します。
- ・ 授業、休み時間、部活動、放課後児童クラブなど、複数の学年や用途の違う活動が同時使用できるよう大きさの異なるグラウンドを整備します。安全性を確保できるように運用を工夫し、子どもの体格差や活動内容に応じて使用するグラウンドを選択することができるなど柔軟な活用ができるようにします。

(3) 子ども同士の交流がしやすい環境

- ・ 学校図書館は、いつでも気軽に自由に利用できる空間と仕組みづくりにより、日常的に他学級や異学年の子どもが交流できる場となるようにします。
- ・ 多目的ルームは2学年が同時に利用できる広さとし、異学年の交流や活動に活用できるようにします。
- ・ その他、行事や教育活動、学校生活などを想定し、動線、配置、機能の工夫により移動空間に自然と交流が生まれる工夫をします。

2 教職員がつながる

(1) コミュニケーションが取りやすく、効果的・効率的な執務環境

- ・職員同士のコミュニケーションが取りやすいよう、職員室を1つとし、教職員だけでなく専門スタッフ等を含めた執務スペースがあり、かつ、打ち合わせ等がしやすい広さを確保します。
- ・快適に活用できる ICT 環境の整備や電源を確保するとともに、十分な収納スペースを整備します。
- ・打ち合わせや会議の人数・内容により使い分けができる小会議室を兼ねた相談室、中会議室、多目的ルーム、普通教室エリアに設置する職員コーナーなどを整備します。
- ・教職員の連携がしやすいよう、校長室、事務室、印刷室、保健室などの管理系主要室を、可能な限り職員室に近接して配置します。

(2) 働きやすい環境の整備

- ・教職員の更衣室やトイレ等は、働きやすさ、使いやすさに配慮した配置や広さ、仕様とします。
- ・教職員が休憩や職員同士のコミュニケーションが取れる場所として、職員室内または隣接した場所に、教職員のプライバシーに配慮した給湯室や休憩室を整備します。

3 地域や社会とつながる

(1) 地域と共に子どもを育むことができる環境

- ・地域と学校の共育を推進するため、コミュニティ・スクール（CS）の活動の拠点となる地域活動室（以下CSルーム）を一般用昇降口付近につくるとともに、地域の人々が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交流できる場となるような部屋を整備します。
- ・学校敷地内に、農園や花壇のように子どもと地域が授業やクラブ活動等のさまざまな体験活動を共に行うことができる場をつくります。

(2) 地域と共にある学校としてみんなが利用できる環境

① 複合化する施設

a 放課後児童クラブ

- ・相良地域に120人3支援（クラス）、榛原地域に200人5支援（クラス）の放課後児童クラブを設置します。
- ・放課後児童クラブの部屋を学校が使用したり、学校のトイレや水道を放課後児童クラブが利用したりする等、できる限りそれぞれが共用できるようにします。
- ・長期休暇等、支援数が増える場合には、既存の施設を利用した支援も検討します。

b 給食調理場

- ・相良地域、榛原地域共に、学校施設内に給食受室を整備し、給食受室に隣接した学校敷地内に、将来的に給食調理場を建築できる場所を確保します。
- ・給食調理場の運営方法及び建築の有無については、現在の給食調理場の建物及び調理器機の耐用年数、運営コスト、児童生徒数の推移、食育の効果、現給食センターを運営する一部事務組合の構成町との調整等の状況により総合的に判断することとします。

② 多機能化による地域の利活用

- ・学校の体育館、武道場、グラウンドは、平日夜間と休日に地域の人が利用できるようにします。
- ・地域利用のしやすさや、災害時の使用を考慮し、グラウンドにナイター照明を整備します。
- ・特別教室は、将来的に地域の人が利用することができるようにします。時期は市民ニーズとの調整となりますが、建築時から地域開放を想定した各部屋の収納、設備、配置、動線等とし、仕切りなどにより区画を分ける等、管理や利用がしやすいようにします。
- ・地域開放により共用する体育館や教室等については、管理や使用のルールなどを定めるとともに、貸し出しや空調等の管理がしやすい整備を検討します。
- ・敷地の境には、見通しの良いフェンスなどを設置して、不審者の侵入を防ぐとともに、学校から外が、外から学校が見えるよう工夫します。

(3) 国際社会に触れる機会やグローバルなコミュニケーションができる環境

- ・ オンラインによる遠隔地の専門家との授業や海外とのコミュニケーションを図る機会が円滑に実施できるよう、教室を始めとした校内の必要な場所に ICT 機器や高速大容量ネットワーク環境を整備します。
- ・ オンラインを活用した多角的な活動ができる教室の広さの確保や家具等の工夫をします。

(4) 地域性を活かした施設

- ・ 地域らしさを表現できる仕様や外観とします。
- ・ 学校周辺の景観に適合する外観とします。
- ・ 周辺住民への圧迫感、日陰、砂ぼこりなどの影響に配慮します。

第3 ささえる

1 安全と安心

(1) 誰もが安心して過ごせる安全な施設

- ・大地震の後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られる安全性も確保します。
- ・天井や照明器具等の非構造部材について、落下・破損等の防止に十分配慮するとともに、災害時の非常電源などの代替手段も含めた対策をします。
- ・緊急車両や大型車両が進入可能となるような出入口の幅や施設配置とします。
- ・相良地域は、適切な地盤調査を実施し切土と盛土を組み合わせながら造成を行い、地盤の特性や強度に応じた適切な建築設計とすることで、学校の安全性を確保します。
- ・榛原地域は、洪水時の浸水深を考慮し適切な造成高を設定しつつ、建物の基礎部をかき上げるなど、必要な洪水対策を実施することで、学校の安全性を確保します。
- ・見通しがよく、死角となる場所ができにくい配置や動線とします。
- ・外部からの来訪者を確認でき、不審者の侵入を抑止することができる配置とし、防犯カメラを適切に設置します。
- ・開校に向けて、子どもの安全確認のためのシステムの導入を検討します。

(2) 地域の災害拠点となる施設

- ・災害時に学校を避難所として使用できるようにします。
- ・避難所となった後も学校の教育活動を早期に再開できるよう動線や配置に配慮します。
- ・市の防災倉庫は、体育館又は体育館に隣接した施設内に整備します。
- ・災害時等も利用できるよう、体育館も含めた全館空調や Wi-Fi を整備するとともに、太陽光発電などの再生可能エネルギーを活用した発電・蓄電などの設備を整備します。
- ・防犯対策や災害時に対応できるよう、LED やソーラーパネルを利用した省エネルギー型の照明等を屋外に設置します。
- ・調理室は、災害時の炊き出しに活用しやすい場所に配置します。
- ・プールは防火水槽を兼ね、消火活動に利用できるよう整備します。

2 長期的な使用

(1) 維持管理しやすく長期的に使用できる施設

- ・適正な管理ができる規模とし、目標耐用年数とする 80 年間の長期使用ができる施設とします。
- ・学校として必要な耐震性、耐火性能、遮音性などが確保できる施設とします。
- ・経年に対する十分な耐久性を確保しつつ、内部区画・仕上げ等の部分は構造体と分離するなど、修繕や改修をしやすくします。
- ・日常のメンテナンスがしやすい工夫をします。
- ・設備は、変化に柔軟に対応できる十分な更新性とメンテナンス性を備え、かつ省エネルギー性・環境負荷低減にも配慮します。

(2) 将来的な技術革新や社会・学びの変化に柔軟に対応できる施設

- ・まちづくりの視点から将来的に多様な活用をする可能性も考慮し、構造は可変性の高い鉄骨造を基本とします。

(選定理由)

- (a) 鉄骨造は、鉄筋コンクリート造(RC造)同様、静岡県が示している使用目標年数が 80 年で長期的な使用が可能。
 - (b) 耐震壁がないことにより、将来的に、社会や学びの変化に応じた改修等がしやすく、汎用性が高い。
 - (c) 耐火性能や遮音性能は、耐火塗装や遮音壁などの対応により、鉄骨造でも鉄筋コンクリート造と同等の性能を確保することができる。
 - (d) 他の構造と比べて、工期が短く費用が安価である。
 - (e) ZEB^{※13}化が可能で、多くの建材が再利用可能で環境にやさしい。
- ・多様な活動ができるよう、可動仕切りの採用や部屋の共用使用などによる、汎用性の高いつくりとします。

※ 13 ZEB：ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。

3 環境にやさしい

(1) 脱炭素社会に配慮した環境にやさしい施設

- ・ 牧之原市は、令和3年1月8日に、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しています。学校再編計画の施設の項目には「脱炭素社会の実現を目指した学校施設整備」が示されていることから、新しい学校では Nearly ZEB^{※14}を目指します。
- ・ 自然採光を積極的に取り入れ、各室の用途に応じ人感センサーの導入などの高効率型器具や LED 照明などの省エネルギー型器具等の採用により省エネルギー化を図ります。
- ・ 広い庇の採用や校舎の構造・向きなどの工夫により高断熱化や日射の調整をするとともに、窓を開けずに空気の入替えが可能な換気機能の採用などにより冷暖房効率の向上を図ります。
- ・ 内装等には積極的に木材を活用します。
- ・ 災害時等も利用できるよう、太陽光発電などの効果的な再生可能エネルギー設備（発電・蓄電含む）を計画します。
- ・ 環境に配慮した施設の構造や設備が見える化や見せる化することで、子どもの環境教育につなげます。
- ・ 設備機器の保守がしやすく適切な運用改善ができるようにします。

※ 14 Nearly ZEB：年間の一次エネルギー消費量を正味 25%以下まで抑えることを目指した建物。

第2章 施設の考え方

施設共通の考え方

- ・適切な規模とし、可能な限り兼用・共用する

過大・過剰にならないよう配慮するとともに、可能な限り兼用・共用できるようにすることで、効果的・効率的、かつ経済的な施設とする。

- ・維持管理しやすく、可変性の高い施設とする

80年に渡って施設を無駄なく綺麗に使うことができる構造や仕様とするとともに、変化に対応できる工夫や各所の収納スペースの充実を図る。

- ・牧之原市の自然環境を取り入れる

長い日照時間や風など、牧之原市の気候や自然条件を最大限利用した環境に配慮した施設とする。

- ・安全な配置計画

見通しが良く、安全な動線が確保できる施設とするとともに、徒歩、自転車、バス、自家用車等のあらゆる通勤・通学手段における安全性の確保や学校周辺の交通渋滞等の緩和が図れるよう、配置や出入口等を工夫する。

第1 屋内施設計画

1 普通教室エリア

(1) 普通教室・オープンスペース

- ・多様な活動ができるよう教室の広さを最大74㎡とします。
- ・相良地域は30学級分、榛原地域は39学級分の普通教室を整備します。なお、相良地域は3学級を1ユニット、榛原地域は4学級を1ユニットとして想定します。
- ・一斉授業、グループ活動、少人数活動、創作活動等多様な教育活動を想定した多角的な学習ができるよう、部屋のつくりを工夫するとともに、可動式の家具や備品の採用、十分な収納スペースの確保をします。
- ・普通教室に接続するオープンスペースは、授業のワークスペースの拡張や学年単位での活動を行うことができる広さとします。
- ・教室と廊下間の可動間仕切りは、視界を遮るタイプにするなど、閉扉した際の教室の独立性を高めます。
- ・オープンスペースには、水道、トイレ、更衣室、職員コーナーを設けます。
- ・1～2年生の教室は昇降ロケララスに接続又は近接しているなど、屋外に出やすい配置や構造とします。



「普通教室・オープンスペース」のイメージ

(2) 特別支援学級関係室

- ・教室はクローズ（教室完結）型とし、普通教室の半分の広さを基本に可動間仕切りで分けることができるようにします。また、将来的にさらに分割することも想定したつくりや配置とします。
- ・相良地域は10学級のため普通教室5部屋分、榛原地域は16学級のため普通教室8部屋分を見込みます。
- ・個別指導やクールダウン等にも活用できるよう、教室内をさらに細分化できる可動仕切りをつけるなど汎用性の高い使用ができるようにします。
- ・特別支援学級は、室内の活動が多いことから、十分な収納スペースの確保と水道を教室内に整備するなど、教室内の機能を充実させます。
- ・普通教室と同様1～2年生の教室は、昇降口やテラスに接続又は近接しているなど、屋外に出やすい配置や構造とするとともに、可能な限りトイレが近くなる配置とします。
- ・肢体不自由、視覚障害等に対応する改修も想定し整備します。

(3) 少人数指導用教室

- ・教科の少人数指導や個別指導、クールダウン等多様な活用ができるよう、各階に1室、普通教室と同じ広さの少人数指導用教室を配置します。

(4) 職員コーナー

- ・各階のオープンスペースに1つの職員コーナーを整備します。
- ・職員コーナーは、作業や子どもの教材の仮置きなどのほか、学年の打ち合わせなどにも使用できる広さを整備します。
- ・職員コーナーは、クローズ型とします。

(5) 更衣室・トイレ

- ・各階に男女別の更衣室を整備します。
- ・各階に男女別及びバリアフリートイレを整備します。バリアフリートイレでは着替えができるなどの配慮をします。

2 管理エリア

(1) 校長室

- ・校長の執務スペースのほか、来客対応や打ち合わせができるスペースを確保します。
- ・職員室や事務室と近接した場所とします。

(2) 職員室

- ・執務スペースに加え、簡易作業やミーティングができる空間とします。
- ・室内の見通しが良く、必要に応じて机や棚のレイアウト変更がしやすいよう、可能な限り、室内が柱で遮られることのない一体的な空間とします。
- ・全職員での会議が円滑にできるよう音響設備やICT機器を整備します。
- ・校長室、事務室、印刷室、保健室と近接させます。
- ・教材棚や個人の荷物を入れる収納スペースを確保するとともに、室内または近接した場所にプライバシーに配慮した給湯室及び休憩室を設けます。

(3) 事務室・印刷室

- ・事務室は職員室に近接する単独の部屋としての整備を基本とします。
- ・室内に文書棚や個人の荷物を入れる収納スペースを確保するとともに、事務室に近接した場所に、過年度文書や守秘義務文書等を保存できる鍵付きの書庫又は耐火書庫を整備します。
- ・印刷室は、職員が利用しやすい職員室及び事務室に近接した場所に配置します。

(4) 保健室

- ・保健室を2部屋隣接して整備し、中をつなげてお互いに行き来できるようにします。
- ・健康診断の回数が多くなることから、会議室等を健診室として併用することを検討します。
- ・吐しゃ物処理等のためのシャワー、洗濯スペースを確保します。
- ・グラウンドが見える配置とするとともに、救急搬送や早退者の受け渡しなどがしやすいよう、車両がアクセスしやすい配置とします。

(5) 中会議室

- ・12人程度が会議できる広さの会議室を3部屋整備します。
- ・学年部会や教科部会を始めとする会議等で使用するほか、うち1室を共同学校事務室の兼用とし、必要な備品を常設します。

(6) 相談室

- ・相談室兼会議室として、6人程度が打ち合わせできる広さの部屋を10室程度整備します。
- ・進路相談や保護者相談のほか、クールダウンや学校に行きづらい子どもの放課後の対応等多様な使用ができるようにします。

(7) (仮称) こころの相談室

- ・教室に行くことが難しい子どもの居場所となるよう、前期課程用(1~6年生用)、後期課程用(7~9年生用)各1室の普通教室と同じ大きさの部屋を整備します。
- ・子どもの状態に応じて集団指導も個別指導もできるよう、室内は可動仕切り等で分けることができるつくりとするとともに、プライバシーに配慮したつくりとします。
- ・タブレット端末を利用した個別学習や職員の業務が円滑に行えるようICT環境を整備するとともに、子どもの荷物や教材等を置くことができる収納スペースを確保します。

(8) 通級指導教室

- ・両校に発達の通級指導教室を設置し、相良地域に言語の通級指導教室を設置します。
- ・発達の通級指導教室は、普通教室1室分の広さとし、職員の執務スペース、保護者との面談スペース、通級者のプレースペースを整備します。
- ・言語の通級指導教室は、普通教室0.8~1部屋分の広さとし、職員の作業スペースや言語指導スペース、保護者待機スペース等を整備します。また、相良地域については、発達と言語の通級教室の職員執務スペースを共用とすることも併せて考えます。

(9) その他の諸室

① 放送室 (スタジオ)

- ・教職員のオンライン授業コンテンツの作成や子どもの動画制作などにも活用できるように放送室を整備します。

② 職員更衣室

- ・職員昇降口の近くに男女別の更衣室を配置します。
- ・更衣室は全員分のロッカーを設置でき、ベンチなどの休憩できる小スペースを確保します。

③ 給食関係室

- ・配送される給食を保管する場所として、給食受室を管理エリアまたは地域開放エリアに配置します。
- ・給食受室は、給食配送車が横付けできる場所に配置し、2階以上のフロアに1つずつ配膳室を整備します。

3 地域開放エリア

(1) 特別教室

- ・特別教室は、実社会に生きる学びを実現するため、横断的な学びや多目的な活動に柔軟に対応できるようにします。
- ・前期課程用、後期課程用を設けますが、共用できるものは可能な限り共有します。
- ・特別教室がない教科（外国語、国語、数学、社会）については、教材室（教材スペース）を適宜設けます。
- ・特別教室は、地域の人たちも使用することも考慮し、部屋のレイアウトや収納、動線等を工夫します。

【特別教室一覧】

	室名		室数	
			相良	榛原
特別教室	理科室	前期課程用	3	4
		後期課程用		
		準備室（スペース）	適宜	
	芸術教室	図工室（前期課程）	1	
		美術室（後期課程）	1	
		準備室（スペース）	適宜	
	技術室 （後期課程）	木工	1	
		電気	1	
		準備室（スペース）	適宜	
	音楽室	前期課程用	2	
		後期課程用	1	
		準備室（スペース）	適宜	
	家庭教室	調理室	1	
		被服室	1	
		準備室（スペース）	適宜	
		教材室（教材スペース）		適宜

※ 数量は、現時点の見込みであり、今後の児童生徒数の想定等により変更する場合があります。

(2) 交流スペース

① 多目的ルーム

- ・ 2学年が同時に交流できる広さを確保します。
- ・ 多様な活動ができるよう可動仕切りを設置します。
- ・ 多目的ルームは開校時から地域の活動に活用できるようにします。

② 地域活動室（CS ルーム）

- ・ 普通教室の半分の広さに、執務スペースとして、CSDの執務スペース、ボランティア等の作業スペース、備品や消耗品を収納できるスペース、給湯室を整備します。さらに、学校運営協議会の会議スペースとして普通教室の半分の広さを整備することで、合わせて普通教室1室分の広さとします。
- ・ 執務スペースと会議スペースは可動仕切りの活用により柔軟に使用できるようにします。

(3) 屋内運動施設（体育館・武道場）

- ・ 体育館は、大小2つの体育館を整備します。
- ・ 小体育館はミニバスケットコート1面分の広さ、大体育館はバスケットコート2面分の広さとし、床をクッションフロアとします。
- ・ 大体育館には、集会や講演会で使用できるようステージ及び放送設備を整備します。また、メンテナンスしやすくするとともに、ランニングの周回コースや観覧席としても活用できる広めのキャットウォーク^{※15}を整備します。
- ・ 武道場は、板張りとし、ダンスの授業も行えるよう、壁面に鏡を設置します。
- ・ 収納については、大体育館には、垂れ幕・縦看板・横看板等の収納スペースと器具庫、小体育館には器具庫、武道場には、畳を収納できるスペースを確保します。ただし、これらの収納スペースについては、配置により可能な限り共用できるようにします。
- ・ 体育館は、外からも直接入ることができるつくりとします。また、大体育館は、イベント時の道具や災害時の物資の搬出入がしやすいよう、配置や搬出入用駐車スペースの確保などに配慮します。
- ・ 体育館及び武道場は、校舎と一体または接続したつくりとすることで、雨でも濡れずに移動できるようにします。

(4) その他地域開放スペースに整備するもの

① 放課後児童クラブ

- ・ 1支援の部屋の広さは、普通教室と同じ広さを基本とします。
- ・ 部屋の仕切りは可動仕切りを採用することにより、活動に応じた柔軟な使用ができるようにします。
- ・ 放課後児童クラブ専用の昇降口を設置します。

※ 15 キャットウォーク：高所にあるメンテナンス用の点検通路のこと。

- ・ 支援員の執務スペースと子どもの荷物や放課後児童クラブの備品・消耗品を収納するスペースを確保します。

② 防災倉庫

- ・ 防災倉庫は、災害時に使用しやすいよう体育館又は体育館に近接して整備します。
- ・ 防災倉庫は、市の防災倉庫として必要な広さを確保するとともに、災害時に出し入れしやすい仕様とします。

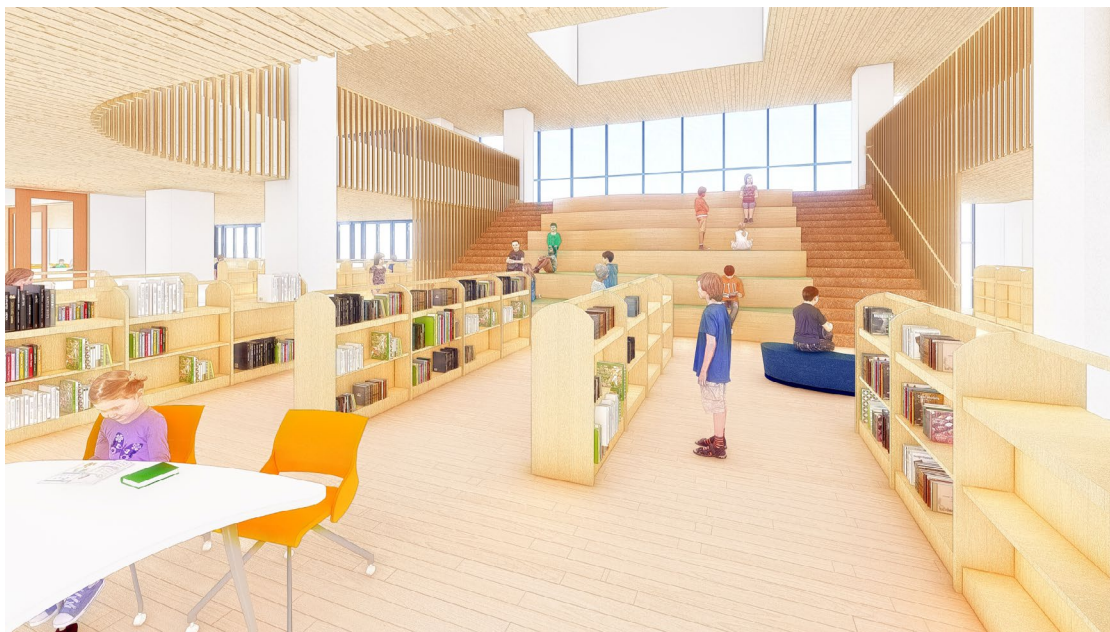
③ メモリアルスペース

- ・ 再編前の各学校の校歌や校章など、各学校を思い出すことができる工夫をします。

4 エリアを指定しないもの

(1) 学校図書館

- ・ 子どもの居場所となるよう、明るく開放感があるつくりとするなど居心地がよく魅力的な空間とするとともに、気軽に利用することができるつくりとします。
- ・ 協働的な学習などに活用でき、自主的・自発的な個別学習もできるよう、つくりや家具等を工夫します。
- ・ 貸出スペースのほか、司書の執務スペースを整備するとともに、学校図書館内又は近接した場所に閉架書庫又はそれに代わる収納スペースを確保します。



学校図書館のイメージ

5 その他

(1) 昇降口

- ・ 児童生徒用・職員用・一般用を始め、用途によりいくつかの出入口を整備します。
- ・ 行事等で一度に多学年が利用する際も滞留することがないように、靴箱の配置や広さを工夫します。
- ・ 雨の日に、カッパや長靴を置くことができるよう工夫をします。

(2) 廊下・階段

- ・ 廊下はゆとりのある幅を確保し、死角や衝突の恐れのある場所を生じさせないように配慮します。
- ・ 階段はゆとりある幅を確保するほか、2 段手すりの採用など 9 学年の利用に配慮します。
- ・ 廊下や階段に物があふれることがないように、各所に収納ができる工夫をします。

第2 屋外施設計画

(1) グラウンド

- ・グラウンドは、必要面積を確保し、大小のグラウンドとして使いやすい形状とするとともに、運動会、各種競技、球技、部活動、地域交流などの活動ができるよう、両グラウンドをできる限り併設します。
- ・表層は怪我の防止、維持管理のしやすさ、砂ぼこりの飛散防止、水はけなどに配慮します。
- ・夜間利用ができるようナイター照明設備を整備します。
- ・遊具、体育倉庫、水道、更衣室、トイレなどの付帯施設について、使いやすい位置に整備します。

(2) プール

- ・大プールと小プールを1つずつ整備します。
- ・プールは利用する子どもの体格差を考慮し、9学年が使いやすい仕様とします。
- ・プールサイドは、熱対策が図られ、裸足での利用に適する仕上げとし、準備運動が十分に行えるスペース、日陰となる休憩スペースを確保します。
- ・シャワー・トイレ・更衣室などの付帯施設を整備します。
- ・目隠しの設置など外部からの視線を遮る対策をします。

(3) 車路（ロータリー）・駐輪場・駐車場

- ・ロータリーは、バス乗降時の子どもの安全を確保するとともに、雨に濡れないようロータリーから校舎までの屋根などを整備します。
- ・駐輪場は、利用台数に対応した広さとし、学校の出入口から校舎までの動線上に複数箇所整備します。
- ・駐車場は、敷地内車路を可能な限り長くし、敷地内で滞留できるようにするなど、雨天時など送迎が増える場合でも周辺道路に渋滞を発生させない工夫をします。
- ・歩車分離や死角ができていくつくりなど安全対策を徹底します。
- ・水溜まりができていくく水はけのよい車路・駐車場となる道路勾配や排水路とします。
- ・身障者用駐車スペースを一般用出入口の近くに配置します。

(4) その他外構

- ・農園や花壇などを整備するとともに、自然とふれあい過ごす場所には、ベンチや芝生スペースを計画する等、子どもがくつろぐことができ、生活環境が豊かになるよう配慮します。
- ・学校周辺の景観との調和や維持管理のしやすさに配慮します。
- ・LED やソーラーパネルを利用した省エネルギー型の照明等を設置します。

【施設一覧】

エリア ／区分	室名	室数等		規模・基本的仕様	配置の要件	
		相良	榛原			
普通教室エリア	普通教室	30	39	<ul style="list-style-type: none"> ・最大74㎡の広さ ・可動仕切りの開閉により活動範囲を柔軟に変更できるセミオープン型 ・可動式の家具や備品 ・十分な収納スペース ・可動仕切りは視界を遮るタイプにするなど閉扉した際の教室の独立性を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・1ユニットの学級数を相良地域は3学級、榛原地域は4学級と想定 ・1・2年生は動線がわかりやすく、屋外に出やすい低層階に配置 ・グラウンドやロータリーの近く 	
	オープンスペース	適宜		<ul style="list-style-type: none"> ・学年単位での活動ができる広さ ・水道、トイレ、更衣室、職員コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室に隣接 	
	特別支援学級関係室	10	16	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室の半分の広さを基本とする（将来的にさらに分割することも想定したつくり） ・クローズ（教室完結）型 ・相良：普通教室5室分、榛原：普通教室8室分 ・教室内をさらに細分化できる可動仕切り ・十分な収納スペースの確保、水道の整備等、教室内の機能の充実 ・肢体不自由、視覚障害等に対応する改修も想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級にアクセスしやすい場所 ・1・2年生は屋外に出やすく、トイレに近い配置 	
	少人数指導用教室	3		<ul style="list-style-type: none"> ・各階に1室ずつ ・普通教室と同じ広さ 		
	職員コーナー	※		<ul style="list-style-type: none"> ※各階のオープンスペースに1つ ・作業や子どもの教材の置き置きなどのほか、学年の打ち合わせなどにも使用できる広さ ・クローズ型 		
	更衣室・トイレ	※		<ul style="list-style-type: none"> ※各階に男女別で配置 ・バリアフリートイレを設置（着替えができるなどの配慮） 		
	校長室	1		<ul style="list-style-type: none"> ・執務・来客対応・打合せスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室・事務室に近接 	
管理エリア	職員室	1		<ul style="list-style-type: none"> ・執務スペースに加え、簡易作業やミーティングができる空間 ・可能な限り室内が柱で遮られることのない一体的な空間 ・会議がしやすい仕様（ICT機器や音響設備の整備） ・収納スペース（教材棚、個人の荷物を入れる場所） ・室内または近接した場所にプライバシーに配慮した給湯室・休憩室 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長室・事務室・印刷室・保健室と近接 ・子どもを見守りやすい ・可能な限り普通教室に近い配置 	
	事務室・印刷室	各1		<ul style="list-style-type: none"> ・文書棚・収納スペース ・近接した場所に鍵付き書庫または耐火書庫 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室に近接 	
	保健室	2		<ul style="list-style-type: none"> ・2部屋を隣接させ、中で行き来できる仕様 ・吐しゃ物処理等のためのシャワー、洗濯スペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを見守りやすい ・職員室に近接 ・グラウンドが見える配置 ・車両がアクセスしやすい 	
	中会議室	3		<ul style="list-style-type: none"> ・12人程度で会議できる広さ ・学年部会、教科部会等で使用 ・1室は共同学校事務室と兼用 		
	相談室（兼会議室）	10室程度		<ul style="list-style-type: none"> ・6人程度で会議できる広さ ・多様な使い方ができる仕様（進路相談・保護者相談、クールダウン、学校に行きづらい子どもの放課後の対応等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に会わずに出入りできる等の配慮 	
	（仮称）こころの相談室	2		<ul style="list-style-type: none"> ・前期課程用、後期課程用それぞれ1室 ・教室に行くことが難しい子どもの居場所 ・普通教室と同じ大きさ ・可動仕切り等で分けることができ、プライバシーに配慮したつくり ・ICT環境の整備、収納スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に会わずに出入りできる等の配慮 	
	通級指導教室	発達通級教室	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室1室分の広さ ・職員の執務スペース、保護者との面談スペース、通級者のプレースペース 	
		言語通級教室	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室0.8～1室分の広さ ・職員の作業スペースや言語指導スペース、保護者待機スペース等 	
	放送室（スタジオ）	1				
	職員更衣室	男女		<ul style="list-style-type: none"> ・全員分のロッカー ・ベンチなど休憩できる小スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員昇降口の近く 	
	児童・生徒会室	1				
	給食関係室	給食受室	1			<ul style="list-style-type: none"> ・給食配送車が横付けできる場所 ・地域開放エリアに配置することも可
		配膳室	※		<ul style="list-style-type: none"> ※2階以上のフロアに1つずつ 	
エレベーター	1		<ul style="list-style-type: none"> ・配膳用を兼ねる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放エリアでも可 		

※ 数量は、現時点の見込みであり、今後の児童生徒数の想定等により変更する場合があります。

エリア /区分	室名		室数等		規模・基本的仕様	配置の要件	
			相良	榛原			
地域開放エリア	特別教室	理科室	前期課程用	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・横断的な学びや多目的な活動に柔軟に対応できる ・前期課程用、後期課程用を設け、共用できるものは可能な限り共有 ・地域の人たちも使用することも考慮したレイアウト、収納、動線 	
			後期課程用				
		準備室（スペース）	適宜				
		芸術教室	図工室（前期課程）	1			
			美術室（後期課程）	1			
			準備室（スペース）	適宜			
		技術室 （後期課程）	木工	1			
			電気	1			
		音楽室	準備室（スペース）	適宜			
			前期課程用	2			
	後期課程用		1				
	家庭教室	調理室	1		・調理室は災害時に炊き出しに活用しやすい場所に配置		
		被服室	1				
		準備室（スペース）	適宜				
	教材室（教材スペース）	適宜		特別教室がない教科			
交流スペース	多目的ルーム		1		<ul style="list-style-type: none"> ・2学年が同時に交流できる広さ ・可動仕切り 		
	地域活動室（CS ルーム）		1		<ul style="list-style-type: none"> 1) 執務スペース：CSD 執務スペース、ボランティア等の作業スペース、収納スペース、給湯室 2) 会議スペース：学校運営協議会の会議スペース 1)・2) 共に普通教室0.5室分 合わせて1教室分の広さ ※1) と2) は可動仕切りで分ける	・一般用昇降口付近	
屋内運動施設	体育館	大体育館 （主に後期課程）	1		<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットコート2面分の広さ・クッションフロア ・ステージ、放送設備、垂れ幕・縦看板・横看板等の収納スペース、器具庫 ・広めのキャットウォーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・収納は可能な限り併用 ・体育館は外から直接出入りできる ・大体育館は搬出入しやすいよう配置や駐車スペースの確保に配慮 ・校舎と一体または接続したつくりで雨でも濡れずに移動できる 	
		小体育館 （主に前期課程）	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ミニバスケットコート1面分の広さ・クッションフロア ・器具庫 		
	武道場		1		<ul style="list-style-type: none"> ・板張り・畳の収納スペース ・壁面に鏡（ダンスの授業も実施できる仕様） 		
複合施設	放課後児童クラブ		3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室と同じ広さ ・可動仕切り・専用の昇降口 ・支援員の執務スペース、備品や荷物の収納スペース ・トイレや水道はできる限り学校と共用 		
適宜	防災倉庫		1		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に出し入れしやすい仕様 ・市の防災倉庫として必要な広さを確保 	・体育館内または体育館に近接	
	メモリアルスペース		適宜		・各学校を思い出すことができるよう工夫		
エリア 指定なし	学校図書館		1		<ul style="list-style-type: none"> ・居心地が良く、魅力的な空間とすることで子どもの居場所とする ・日常的に他学級や異学年の子どもが交流できる場 ・貸出スペース・司書の執務スペース ・図書館内又は近接した場所に閉架書庫又はそれに代わる収納スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの動線にかつ施設の核となる場所 ・地域開放エリアに設置する場合は子どもの安全や動線を確保 	
	プレゼンスペース		適宜		・できる限り、階段や音楽室などを機能拡充し、表現の場として活用		
	昇降口		適宜		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒用・職員用・一般用など用途により複数整備 ・靴箱の配置や広さ、カッパや長靴の収納を工夫 		
	廊下・階段		適宜		<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりある幅を確保し、死角や衝突の恐れのある場所を生じさせない ・2段手すりなど9学年の利用に配慮 ・各所に収納ができる工夫 		
屋外	屋外運動施設	グラウンド		大小		<ul style="list-style-type: none"> ・表層は怪我の防止、維持管理のしやすさ、砂ぼこりの飛散防止、水はけなどに配慮 ・ナイター照明設備 ・遊具、体育倉庫、水道、更衣室、トイレを使いやすい位置に整備 	・必要面積を確保し、大小のグラウンドとして使いやすい形状とし、できる限り併設
		プール		大小		<ul style="list-style-type: none"> ・大プール、小プール（9学年が使いやすい仕様） ・プールサイドは熱対策を図り、裸足での利用に適する仕上げ ・準備運動ができるスペース、日陰の休憩スペース ・シャワー・トイレ・更衣室 ・目隠しなど外部からの視線を遮る対策 	
	外構	車路（ロータリー）		1		<ul style="list-style-type: none"> ・バス乗降時の安全を確保 ・雨に濡れないようロータリーから校舎までの屋根などを整備 	
		駐輪場		110	290	・利用台数に応じた広さ	・学校の入口から校舎までの動線上に複数
駐車場		教職員用	76	90	・歩車分離・死角がでにくいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内車路を可能な限り長くし、敷地内で滞留できるようにするなど、渋滞を発生させないように工夫 	
		来客用	105	105	・水はけのよい車路・駐車場となる道路勾配や排水路		
	スクールバス用	12	15	・身障者用駐車スペース（一般用入口の近く）			
その他		適宜		<ul style="list-style-type: none"> ・農園・花壇 ・ベンチ、芝生スペース等、子どもがくつろぐことができ、生活環境が豊かになるよう配慮 ・省エネルギー型照明 	・学校周辺の景観との調和や維持管理のしやすさに配慮		

※ 数量は、現時点の見込みであり、今後の児童生徒数の想定等により変更する場合があります。

第3 設備計画

(1) 電気設備計画

- ・各室・空間におけるコンセントの設置については、使用電力量等を適切に把握するとともに、将来における各室・空間の使用方法等の変更にも対応できるようにします。
- ・体育館等を含む全館に Wi-Fi を整備し、ネットワーク技術の進展に対応し再整備・更新しやすい設備計画とします。
- ・体育館等を含む全館空調とし、空調方式は教室毎の設定がしやすい個別空調方式を基本とします。また、体育館などの大空間の空調設備は、ランニングコストの低減に特に配慮した機器とします。
- ・放送室には各種イベントに対応できる放送設備を整備し、校内全体へ放送できるようにします。また、放送やチャイムは、時間割や学年の配置に柔軟に対応できる設備とします。
- ・自然通風を積極的に確保するほか、適切な換気機能を整備します。

(2) 給排水衛生設備計画

- ・衛生器具類は、ユニバーサルデザインに十分配慮するとともに、節水型や抗菌仕様の器具を採用します。
- ・配管は、定期的な清掃や老朽化等にもなう更新など維持管理がしやすいようにします。
- ・グラウンドの散水等外部での設備についても適切に整備します。
- ・手洗いやトイレ等は、流動的な教室配置となる場合を考慮し全学年が使いやすい高さとしします。

第3章 地域別計画

第1 相良地域の計画

1 学校敷地

(1) 計画学級数

開校時の推計児童生徒数より、小学校 18 学級、中学校 12 学級、特別支援学級 10 学級を予定します。

(2) 施設の規模

施設の規模は、小学校・中学校整備基準及び義務教育学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令に基づき、児童生徒数から試算しています。今回示す必要面積は目安であり、正式には、設計時に算出する児童生徒数の想定人数、必要とする機能と法律との整合を図り決定します。

【必要面積の目安】

校舎	屋内運動場（大、小）	グラウンド
11,800 ㎡	2,300 ㎡	9,930 ㎡以上

(3) 計画敷地

① 敷地

国道 473 号バイパス大沢インターチェンジ北側周辺

② 概要

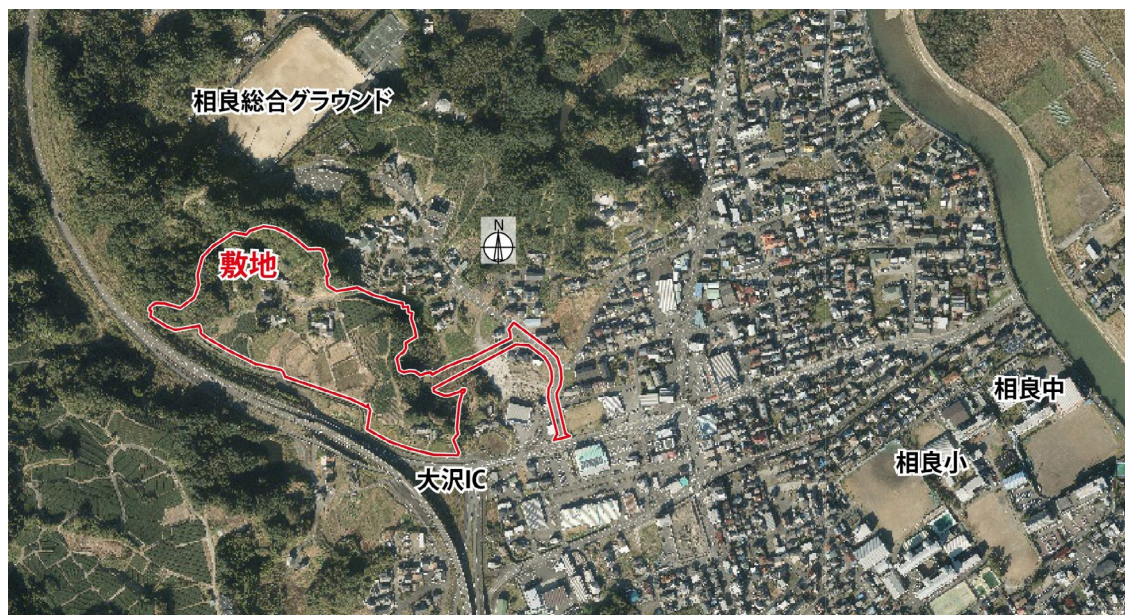
敷地面積：約 64,000 ㎡

一部農業振興地域有（田畑）・敷地東側に埋蔵文化財包蔵地有

③ 敷地の特徴と選定理由

- ・市街地の近接地であり、周囲には、公共施設や商業施設、山林や田畑があるため、体験活動などの幅広い教育活動がしやすい。
- ・候補地の中で最も広い平場を確保することができ、適切な施設配置が可能。
- ・ほとんどが民有地で用地買収が必要となるが、他の候補地と比べて大規模な造成や代替施設整備の必要がないため、建設費が抑えられる。
- ・現在の小中学校の教育活動の妨げにならない。
- ・国道 473 号バイパス大沢インターチェンジが近いこと、アクセス・利便性が良好。

④ 学校敷地の範囲



2 目標開校年度

開校目標年度は令和 15 (2033) 年度とします。

3 造成と配置

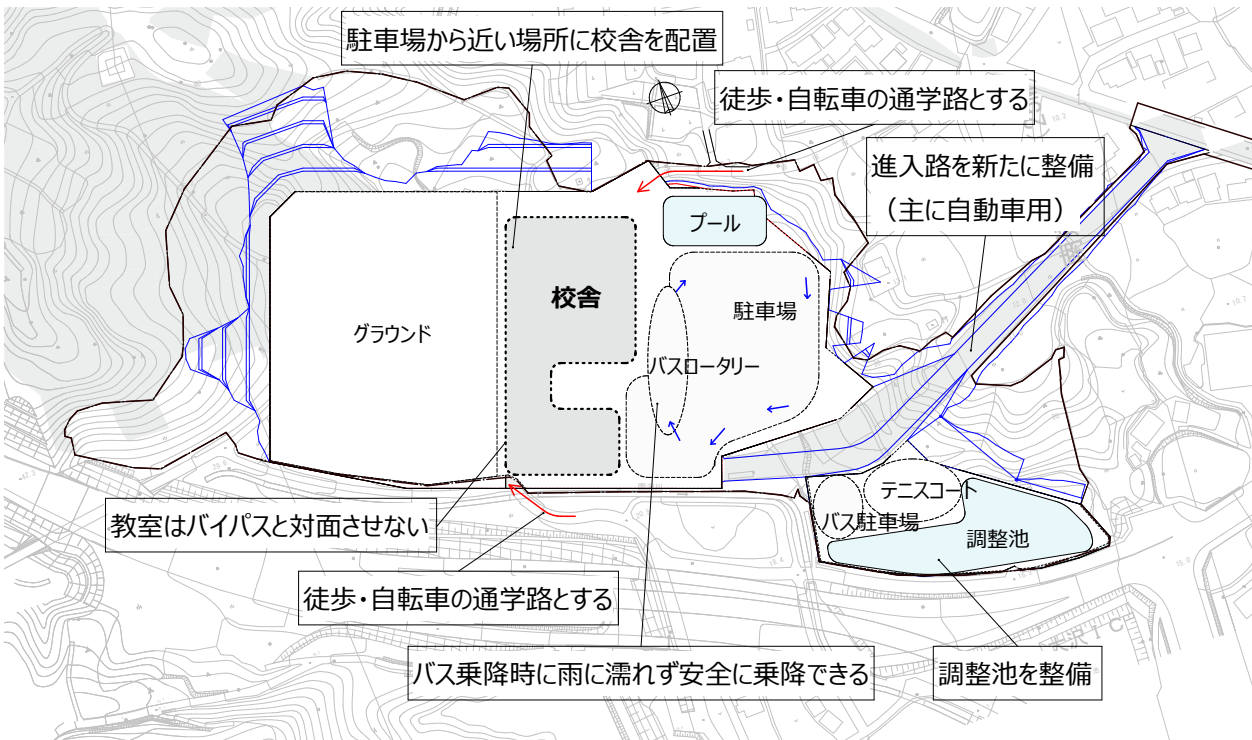
(1) 造成の考え方

- ・ 敷地奥にある山を削り面積を確保するとともに、土地に高低差があるため、削った土を入れて平らな面とします。一段を基本とし、二段とする場合は、校舎とグラウンドを同段とし、切り盛りや残土を最小限に抑えることができる造成となる敷地範囲とします。
- ・ 山の法面は、崩落の危険がない緩やかな斜度で整備します。
- ・ 新たに敷地南東部に接続する進入路を主に自動車用として整備し、既存の南北の道路を徒歩及び自転車の通学路として、交通面や防犯面の安全も考慮して整備します。
- ・ 敷地内で最も土地が低い南東部分に調整池を整備します。

(2) 配置の考え方

- ・ 普通教室・特別教室とバイパスが対面するような施設配置を避け、可能な限り校舎から海が見える配置とします。
- ・ 動線に配慮して、駐車場から近い場所に校舎を配置します。
- ・ 給食受室に隣接して将来的に給食調理場が整備できるスペースを確保します。
- ・ 周辺道路の混雑緩和のため、できるだけ多くの出入口を設けます。
- ・ 敷地境には、地域の人が使えらる畑や花壇などを工夫して、みんなで子どもを守ります。

【配置例（イメージ）】

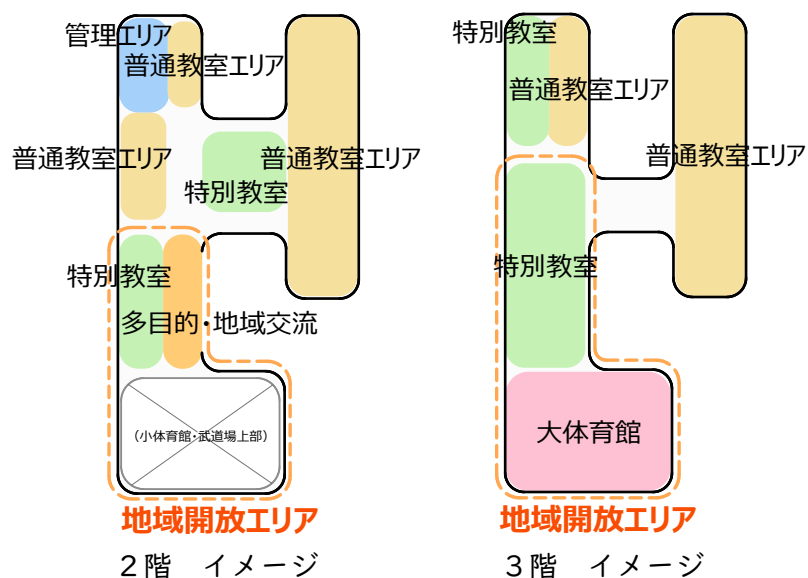
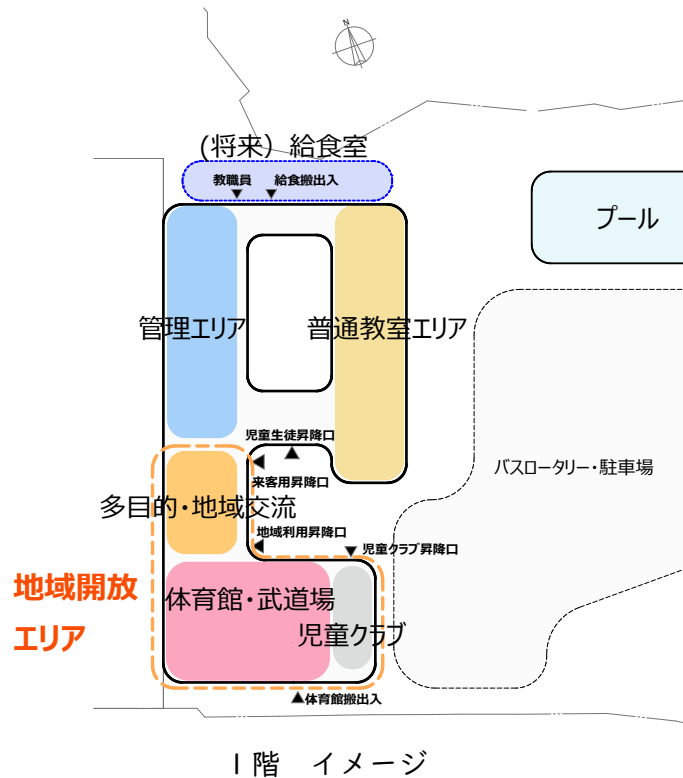


※ 配置は一例であり、設計時に改めて検討します。

4 平面・断面計画

施設整備基本計画、エリアと動線の考え方、施設・設備の考え方、造成と配置の考え方に基づき、平面及び断面を次のとおり計画します。ただし、校舎の形や施設の配置については、設計時の提案とします。

【平面計画（イメージ図）】



※ 配置は一例であり、設計時に改めて検討します。

【断面計画（イメージ図）】



※ 配置は一例であり、設計時に改めて検討します。

5 概算事業費とスケジュール案

(1) 概算事業費

(百万円)

	項目	小計
校舎新築工事 (造成・建築・発掘調査)	用地取得・造成工事	1,308
	基本設計・実施設計費	415
	本体工事・外構工事	7,148
	埋蔵文化財発掘調査費	314
道路先行工事	道路工事費	189
事業費合計		9,374

※ 令和5年度時点の積算根拠を用いて試算。積算根拠、物価、必要面積等により変動の可能性あり。

※ 財源については、文部科学省の負担金及び国等の他の補助金を活用。

(2) スケジュール (案)

進入路を最優先に整備するため、道路設計を含む造成設計に早期に取り掛かります。また、埋蔵文化財があることから発掘調査を実施し、効率的に実施できるよう、造成工事を並行して実施します。

建築工事の2年前から施設の基本設計・実施設計を行い、約20か月の建築工事期間を経て、令和15年度の開校を目指します。

工種	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
校舎新築工事	設計・本体工事	造成設計(道路含)	開発行為申請等			基本設計・実施設計		建築工事		引越し
	造成工事・外構			造成工事				外構・ロータリー		
用地	農地関係手続き	農地関係調査・手続き等								
	用地買収	説明会等	用地交渉	契約	移転補償					
埋蔵文化	埋蔵文化財発掘調査		本掘1 試掘1	本掘2						
道路	道路整備工事	用地交渉	契約	仮進入路整備					進入路舗装	
開校準備					下準備		開校準備委員会			

※ スケジュールは状況により変更する場合があります。

6 開校に向けて

- ・ 開校までのスケジュールを円滑に進めることができるよう、引き続き関係部署等と必要な調整を行います。
- ・ 御前崎市牧之原市学校組合と適切な時期に必要な調整・協議を行います。

第2 榛原地域の計画

1 学校敷地

(1) 計画学級数

開校時の推計児童生徒数より、小学校 24 学級、中学校 15 学級、特別支援学級 16 学級を予定します。

(2) 施設の規模

施設の規模は、小学校・中学校整備基準及び義務教育学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令に基づき、児童生徒数から試算しています。今回示す必要延べ床面積は目安であり、正式には、設計時に算出する児童生徒数の想定人数、必要とする機能と法律との整合を図り決定します。

【必要面積の目安】

校舎	屋内運動場（大、小）	グラウンド
14,300 m ²	2,300 m ²	12,650 m ² 以上

(3) 計画敷地

① 敷地

牧之原市立榛原中学校及び周辺

② 概要

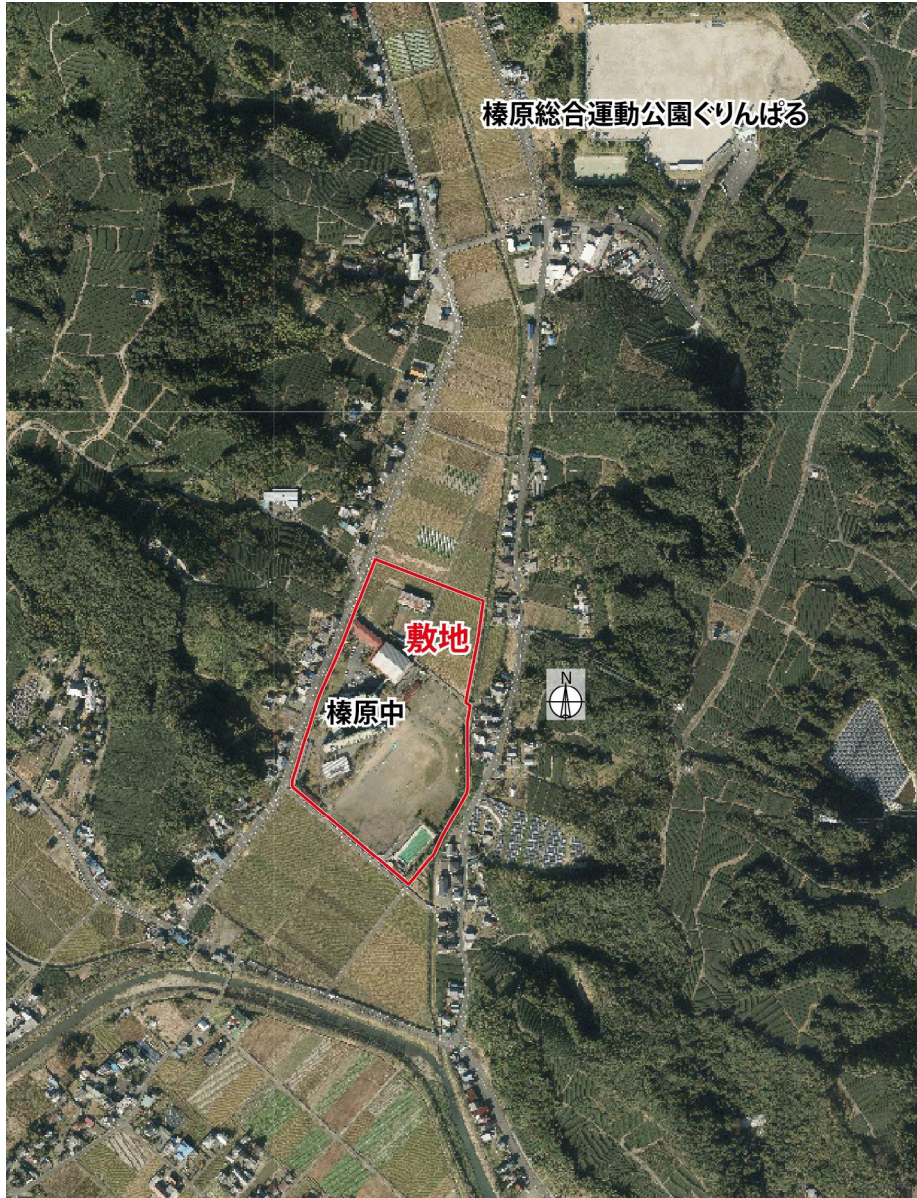
敷地面積：約 72,000 m²

洪水浸水想定：浸水深 1.0 ～ 3.0 m（想定最大規模・概ね 1000 年に 1 度程度起きる恐れのある大雨）

③ 敷地の特徴と選定理由

- ・ 現在の中学校がある場所であり、各区からの概ね中央に位置することから、アクセスしやすく、教育活動がしやすく、地域の理解が得られやすい。
- ・ 既存学校敷地だけでも 4.5ha の広さがある上、代替地整備の必要がないことから、整備にかかる費用を抑えることができる。
- ・ 河川浸水区域内であるが、過去に校舎への浸水被害はなく、建築計画や学校運用を工夫することで、安全・安心な施設を整備することができる。
- ・ 教育活動を継続しながらの建設が可能。

④ 学校敷地の範囲



2 開校目標年度

開校目標年度は令和 12 (2030) 年度とします。

3 造成と配置

(1) 造成の考え方

- ・現在の中学校の教育活動を妨げず、かつコストを最小限とするため、仮校舎は造らず、現在使用している校舎やグラウンド等を引き続き使用できるようにします。新築する校舎や体育館等は、既存体育施設を撤去し、現在の敷地の北東の敷地を拡張して整備します。
- ・校舎や体育館等の建築予定箇所については、概ね1,000年に1度起きるおそれのある大雨（レベル2の河川洪水）でも浸水しない高さとしています。
- ・既存敷地と拡張敷地の一体的な使用ができるよう、現在の敷地北側の道路（市道仁田22号線）を拡張敷地の北側に付け替えます。
- ・現在のグラウンドの遊水池機能を継続するため地盤高を変更せず、さらに、敷地内に新たな調整池を整備します。調整池は必要面積が大きく、また、建築工事が段階的になることから分散して整備することを基本に造成設計します。調整池は、通常時使用できるような工夫や地下貯留なども含め検討します。
- ・敷地内の高低差は、なだらかな勾配とすることや階段やスロープ等の整備により対応します。
- ・学校周辺道路の渋滞緩和対策のため、駐車場内のロータリーや迂回路の整備等を検討します。

(2) 配置計画の考え方

- ・新しく拡張した敷地に、校舎、屋内運動施設、プールを配置します。
- ・敷地北側に中部電力の送電線があるため、必要な離隔を確保した施設配置とします。
- ・洪水時の学校周辺の水の流れを遮ることがないように配慮した配置とします。
- ・既存の榛原中学校校舎と体育館は、新しい学校施設の竣工後に解体し、跡地に駐車場とロータリーを整備します。
- ・給食受室に隣接して将来的に給食調理場が整備できるスペースを確保します。
- ・周辺道路の混雑緩和のため、できるだけ多くの出入口を設けます。
- ・敷地境には、地域の人が使えらる畑や花壇などを工夫して、みんなで子どもを守ります。

【配置例（イメージ）】



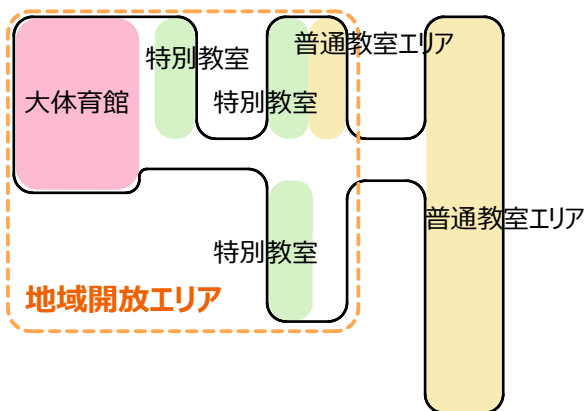
※ 配置は一例であり、設計時に改めて検討します。

4 平面・断面計画

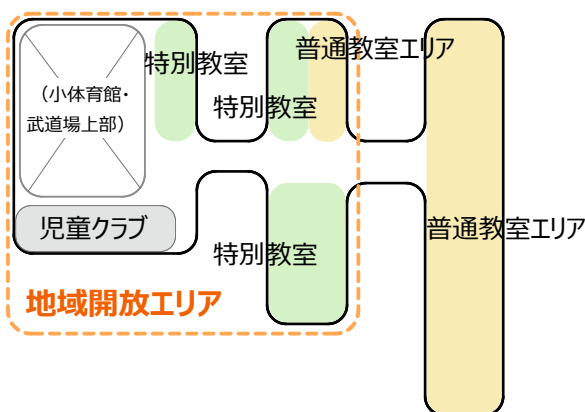
施設整備基本計画、エリアと動線の考え方、施設・設備の考え方、造成と配置の考え方に基づき、平面及び断面を次のとおり計画します。ただし、校舎の形や施設の配置については、設計時の提案とします。

【平面計画（イメージ図）】

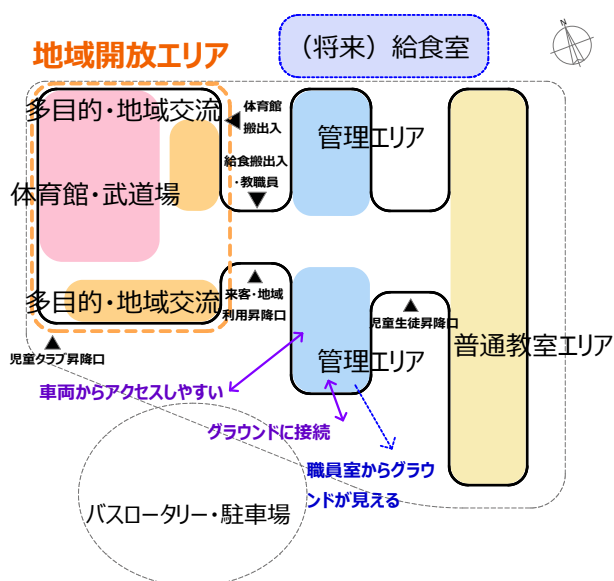
3階 イメージ



2階 イメージ



1階 イメージ



※ 配置は一例であり、設計時に改めて検討します。

【断面計画（イメージ図）】



※ 配置は一例であり、設計時に改めて検討します。

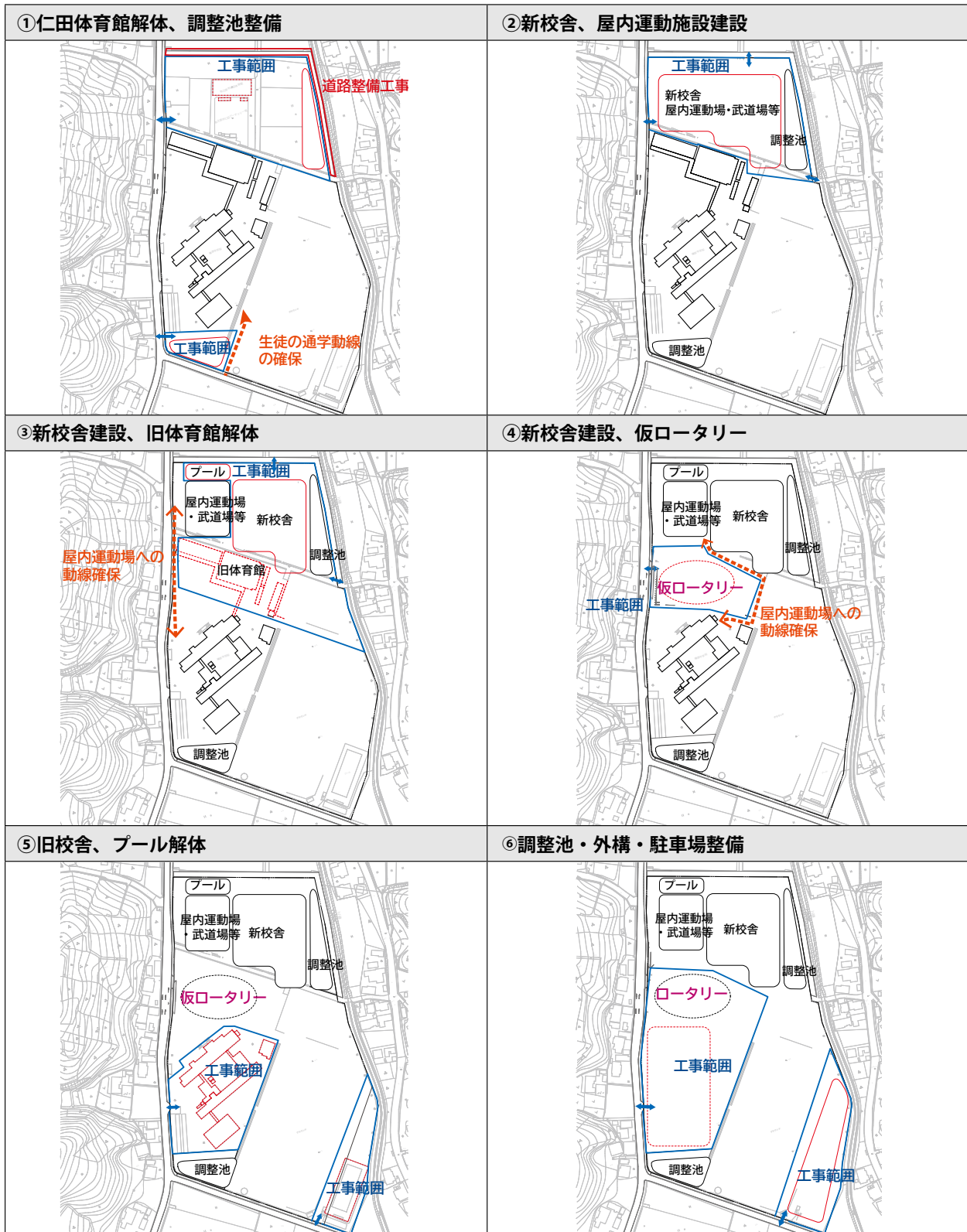
5 建替工程の検討

榛原地域については、現在の榛原中学校の教育活動を継続しながら新校舎の建築を実施し、新校舎完成後に、現在の校舎等を撤去し駐車場等を整備することになります。教育活動や子どもの生活に可能な限り支障がないような工事とするため、工事の工程を検討しました。

【建替工程と開校】

- ① 仁田体育館を解体し、拡張敷地を造成し、拡張部分の調整池を整備する。
- ② 校舎、屋内運動場等の建設工事を行う。
- ③ 新築している校舎、屋内運動場のうち、屋内運動場のみ先行して使用を開始し、現在の体育館、武道場を解体し、仮ロータリーを整備する。
- ④ 開校前年度の途中で中学校のみ先行して移転する。
- ⑤ 開校前の春休みに小学校も移転し、4月に義務教育学校として開校する。
- ⑥ 開校後、既存校舎を解体し、駐車場とロータリーを整備する。

【建替工程イメージ図】



6 概算事業費とスケジュール案

(1) 概算事業費

(百万円)

	項目	小計
校舎新築工事 (造成・建築・解体)	用地取得・造成工事	469
	基本設計・実施設計費	508
	本体工事・外構工事	9,550
	既存校舎・体育館等解体	571
仁田体育館	解体設計・工事	42
道路	道路整備関係	84
事業費合計		11,224

※ 令和5年度時点の積算根拠を用いて試算。積算根拠、物価、必要面積等により変動の可能性あり。

※ 財源については、文部科学省の負担金及び国等の他の補助金を活用。

(2) スケジュール (案)

計画策定後に速やかに建築基本設計、実施設計及び造成設計を行います。造成設計が完了した後、造成工事、建築工事となります。義務教育学校として開校するためには、スクールバス用のロータリーが必要となるため、開校前に体育館を解体し仮ロータリーを整備し、開校後に校舎等を解体し駐車場とロータリーを整備します。そのため、義務教育学校の開校は令和12年度を目標としますが、駐車場等の外構整備が完了するのは令和13年度末を見込んでいます。

工種	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
校舎新築工事	設計・本体工事	開発行為申請等	基本設計・造成設計(予備道路含)・実施設計	建築工事	引越し				
	造成工事・解体・外構		造成工事	解体設計	外構・プール	体育館解体	仮ロータリー	校舎解体	駐車場・ロータリー整備
用地	農地関係手続き	農地手続き等					義務教育学校開校		外構整備完了
	用地買収	地元説明会・用地交渉							
仁田	仁田体育館解体工事	設計	解体工事						
道路	道路整備工事	道路実施設計	道路整備工事						
開校準備	下準備		開校準備委員会						

※スケジュールは状況により変更する場合があります。

7 開校に向けて

造成や建設工事に際しては、現在の榛原中学校の教育活動を妨げることなく、子どもの安全性を確保できる施工方法とします。

第4章 推進に向けて

義務教育学校2校の開校に向けて、開校4～5年前から（仮称）開校準備委員会を設置し、教育目標、行事、校名、校章、校歌、PTA組織、スクールバスの便数や停車場所、通学路等を検討します。開校準備に先駆け、スクールバスが着実に運行できるよう運行方法を市役所内部で検討するとともに、通学路についても協議をしていきます。

建築設計段階においては、学びやすく使いやすい施設となるよう、子どもや教職員だけでなく、保護者や地域の意見を聞く機会を設け、設計に反映できるように進めます。

開校に向けては、市役所内の組織体制を整えるとともに、関係機関と適切な情報共有や協議を進め、早期に望ましい教育環境の整備が実現するようにします。

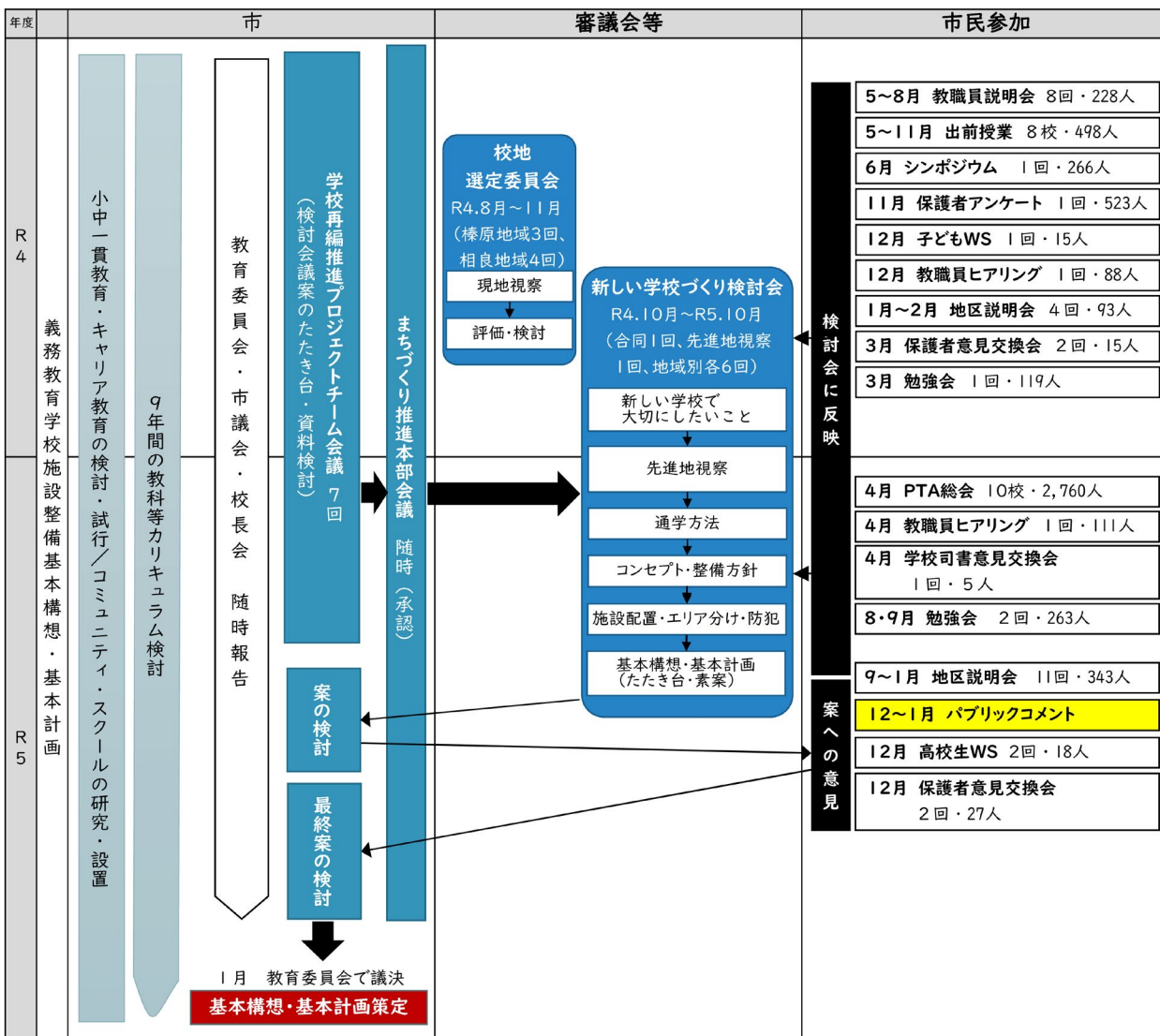
【資料編】

- 1 義務教育学校施設整備基本構想・基本計画
策定までの流れ ……P 60～P 61
- 2 学校用地候補地選定委員会 設置要綱 ……P 62～P 63
- 3 学校用地候補地選定委員会 委員名簿 ……P 64
- 4 学校用地候補地選定委員会 開催状況 ……P 65
- 5 新しい学校づくり検討会 設置要綱 ……P 66～P 67
- 6 新しい学校づくり検討会 委員名簿 ……P 68
- 7 新しい学校づくり検討会 開催状況及び
意見まとめ ……P 69～P 106
- 8 新しい学校づくりに係る市民参加、
周知等一覧 ……P 107～P 116



義務教育学校施設整備基本構想・基本計画策定までの流れ

年度	市	審議会	市民参加	
H 27	第2次総合計画 重点戦略「若者が魅力と感じる教育環境の実現」 教育大綱 「子どもたちが学びやすい環境を整えるため小学校の規模と配置の適正化を図ります」			
H 28	公共施設マネジメント基本計画 「魅力ある教育環境を実現するため、小中学校再編計画を策定します」			
H 29	望ましい教育環境のあり方に関する方針	<p>7月 教育講演会 86人（就学前保護者、小中学校保護者、小中高教員、自治会、高校生、一般、教育委員会、議員、三役、市職員） みんなで学ぶ</p> <p>7月 諮問</p> <p>H30.2月～H30.11月（6回）</p> <p>目指す姿（つきたいカ・体制）</p> <p>学ぶ（研修、先進地視察研修）</p> <p>実現に向けての方針 ・次代を切り拓く力 ・キャリア教育を軸とした小中一貫教育 ・クラス替えてできる規模 ・安全・安心</p> <p>答申報告会（+講演会）</p> <p>H31.3月 方針を策定</p>	<p>7～9月 学校説明会 12校・370人</p> <p>10月 意見交換会 2回・79人 （就学前保護者、小中学校保護者、小中高教員、自治会、高校生、一般、教育委員会、議員、三役、市職員） テーマ「10～15年後の望ましい教育環境」 ・クラス替えができる規模 ・津波浸水想定区域外の安全な場所 ・施設の複合化・共有化 ・地域との関わり・体験学習</p> <p>11月 PTA連絡協議会 24人</p>	
R 1	小中一貫教育・キャリア教育の検討・試行／コミュニティ・スクールの研究・設置	<p>H30.4月～R3.1月</p> <p>学校再編WG 14回（たたき台・資料検討）</p> <p>まちづくり推進本部会議 随時（承認）</p> <p>教育委員会・市議会・校長会 随時報告</p> <p>9年間の教科等カリキュラム検討</p>	<p>6月 教育シンポジウム 107人（就学前保護者、小中学校保護者、小中高教員、自治会、高校生、一般、教育委員会、議員、三役、市職員） みんなで学ぶ</p> <p>R1.9月～R3.3月（10回+メール審議）</p> <p>学ぶ あり方・国の施策・ファシリティマネジメント 市内の学校視察・先進地視察</p> <p>検討 目指す学校像 規模・校数 機能等</p> <p>まとめ・素案づくり</p> <p>答申</p>	<p>4～12月 家庭教育学級・地区セミナー・学校保護者説明会 3回・123人</p> <p>6～8月 地区説明会 13回・211人</p> <p>10月 意見交換会 9回・565人 （就学前保護者、小中学校保護者、自治会、一般、教育委員会、議員、三役、市職員） ・2校の小中一貫校案への意見聞く ・2校または3校に8割以上賛同</p> <p>11月 インターネット意見募集・未就学児保護者インタビュー・PTA連絡協議会 66人 2校案等についての意見</p> <p>2月 中学生・中学生以下の子どもの保護者へのオンラインアンケート 1,165人 インターネット意見募集 17件</p>
R 2	学校再編計画			
R 3		<p>R3.4月～R4.3月</p> <p>学校再編検討会 5回</p> <p>学校再編部課長会議 3回</p> <p>まちづくり推進本部会議 6回</p> <p>計画策定</p>	<p>素案への意見</p> <p>6～7月 高校生等（ワーク） 3回・55人</p> <p>7月 保護者意見交換会 1回・7人</p> <p>7～8月 学校説明会 12回・164人</p> <p>8～10月 地区意見交換会 3回・157人</p> <p>10～11月 希望地区説明会 2回・91人</p> <p>計画案</p> <p>12月 地区説明会 3回・172人</p> <p>12月 保護者意見交換会 3回・19人</p> <p>12～1月 教職員アンケート 300人</p> <p>修正案</p> <p>2月 保護者オンライン説明会 4回・20人</p> <p>2月 パブリックコメント 65人・158件</p>	



牧之原市学校用地候補地選定委員会設置要綱

(設置)

第1条 未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画に基づき、新しく学校を建設するにあたり、専門的知見や地域性を踏まえて総合的に検討し、学校用地として最適な場所を選定するため、関係者から意見を聞き、検討する組織として、牧之原市学校用地候補地選定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議し、その結果を教育委員会に報告するものとする。

- (1) 学校用地の選定の方向性に関する事項
- (2) 学校用地の評価及び最有力候補地の選定
- (3) その他、学校用地の選定に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) まちづくりの知識や経験が豊富な者
- (3) 自治会関係者
- (4) 学校関係者
- (5) 市内の幼稚園、保育園、こども園、小学校又は中学校の保護者代表

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に掲げる事項が完了したときまでとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

4 会議には、必要に応じて分科会を置くことができる。

(報償等)

第7条 委員が、委員会の会議に出席した場合は報償金を支払うものとする。

- 2 報償金の額は、牧之原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成17年牧之原市条例第39号）別表の規定に準ずる額とする。ただし、会議が午前又は午後のみの場合は日額の半額とする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、公布の日から施行する。

(最初の会議の招集)

- 2 この告示の施行後最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長がこれを招集する。

牧之原市学校用地候補地選定委員会委員名簿

		分類	所属	役職等	氏名
1	共通	まちづくりの知識や 経験が豊富な者	佐藤経済研究所	都市計画審議会 会長	◎佐藤 克昭
2		学識経験を有する者	静岡大学教育学部	准教授	○島田 桂吾
3		学識経験を有する者	静岡県交通基盤部 建築工事課	課長代理	横田 恭子
4		学校関係者	相良中学校	市校長会会長	永田 初穂
5	榛原地域	自治会代表	静波区	区長	杉山 勉
6		自治会代表	細江区	区長	中山 道博
7		自治会代表	川崎区	区長	片瀬 徹
8		自治会代表	勝間田区	区長	村松 直巳
9		自治会代表	坂部区	区長	板倉 元
10		保護者代表	勝間田小学校	地区 PTA 連絡協議会 副会長	本杉 康丞
11	相良地域	自治会代表	相良地区長	大江区長	矢部 友昭
12		自治会代表	片浜地区長	片浜区長	大石 茂生
13		自治会代表	菅山地区長	菅山区長	田中 行男
14		自治会代表	萩間地区長	神寄区長	畠 寿夫
15		自治会代表	地頭方地区長	落居区長	曾根 優治
16		保護者代表	菅山小学校	PTA 会長	中島 京

◎委員長 ○副委員長（敬称略）

牧之原市学校用地候補地選定委員会開催状況

【榛原地域】

会議	日時	内容
第1回 ※相良地域と合同開催	8月31日(水) 13:30～16:30	・情報提供(学校再編計画・校地絞込の考え方) ・候補地現地視察
第2回	9月15日(木) 13:00～14:30	・各候補地についての意見交換 ・各候補地の状況まとめ
第3回	10月7日(金) 13:00～14:30	・個別評価と委員会評価 ・提案事項の検討

【相良地域】

会議	日時	内容
第1回 ※榛原地域と合同開催	8月31日(水) 13:30～16:30	・情報提供(学校再編計画・校地絞込の考え方) ・候補地現地視察
第2回	10月7日(金) 15:00～16:45	・候補地の追加(3か所→5か所へ) ・追加候補地の意見交換 ・各候補地の状況まとめ
第3回	10月26日(水) 13:30～15:30	・各候補地の意見交換 ・個別評価と委員会評価 ・提案事項の検討
第4回	11月28日(月) 14:30～15:30	・候補地の情報提供 ・候補地協議 ・評価と提案事項の検討

牧之原市新しい学校づくり検討会設置要綱

(設置)

第1条 未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画に基づき、学校施設整備基本構想・基本計画を策定するにあたり、広く関係者からの意見を聴取し、反映するために、牧之原市新しい学校づくり検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 学校施設整備に係る基本構想に関すること。
- (2) 学校施設整備に係る基本計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育長が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 検討会は、委員45人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が選任する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 自治会関係者
- (3) 学校関係者
- (4) 市内の幼稚園、保育園、こども園、小学校又は中学校の保護者代表

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。

(会長及び副会長)

第5条 検討会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、検討会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検討会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
- 4 会議には、必要に応じて分科会を置くことができる。

(報償等)

第7条 委員が、検討会の会議に出席した場合は報償を支払うものとする。

- 2 報償の額は、牧之原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に

関する条例（平成17年牧之原市条例第39号）別表の規定に準ずる額とする。ただし、会議が午前又は午後のみの場合は日額の半額とする。

（庶務）

第8条 検討会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

（委任）

第9条 この告示に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この告示は、公布の日から施行する。

（最初の会議の招集）

2 この告示の施行後最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長がこれを招集する。

牧之原市新しい学校づくり検討会委員名簿

【共通】

				令和4年度	令和5年度
分類	所属	役職等	氏名	氏名	氏名
1	専門的な知識を有する者	静岡大学教育学部	准教授	◎ 島田 桂吾	〃
2		静岡県教育委員会事務局 教育施設課	技監	横田 恭子	〃

【榛原地域】

				令和4年度	令和5年度
分類	所属	役職等	氏名	氏名	氏名
3	自治会代表	静波区	区長	杉山 勉	〃
4		細江区	区長	中山 道博	〃
5		川崎区	区長	片瀬 徹	〃
6		勝間田区	区長	村松 直巳	〃
7		坂部区	区長	○ 板倉 元	〃
8	学校関係者	川崎小学校	校長	杉山 順子	〃
9		細江小学校	校長	原口 徹也	仲田 芳弘
10		勝間田小学校	校長	板倉 康弘	原田 正裕
11		坂部小学校	校長	北島 克己	竹下 知行
12		榛原中学校	校長	大石 友巳	杉田 雅良
13		CSD 代表	川崎小学校 CSD	村上 和秋	〃
14	小中保護者代表	川崎小学校	保護者	川村 義人	〃
15		細江小学校	保護者	折田 藍	〃
16		勝間田小学校	保護者	武田 てるみ	〃
17		坂部小学校	保護者	大石 将光	〃
18		榛原中学校	保護者	大石 寛之	石神 綾子
19	幼保こども園保護者代表	静波保育園	保護者	太田 佳子	河田 嘉恵
20		細江保育園	保護者	鍋田 雄二	〃
21		勝間田保育園	保護者	舛谷 綾子	〃
22		坂部保育園	保護者	平 幹也	〃
23	市内企業	市内大手企業	伊藤園産業	山下 敦子	〃
24		市内中小企業(商工会代表)	(株)野村商店	野村 友香	〃

【相良地域】

				令和4年度	令和5年度
分類	所属	役職等	氏名	氏名	氏名
3	自治会代表	相良地区長	大江区長	矢部 友昭	宮部 勉
4		片浜地区長	片浜区長	○ 大石 茂生	〃
5		菅山地区長	菅山区長	田中 行男	川田 和弘
6		萩間地区長	神寄区長	島 寿夫	中山 香
7		地頭方地区長	落居区長	曾根 優治	〃
8	学校関係者	相良小学校	校長	杉山 浩	〃
9		菅山小学校	校長	中村 康幸	〃
10		萩間小学校	校長	櫻井 真弓	〃
11		地頭方小学校	校長	小柳津 敏法	〃
12		相良中学校	校長	永田 初穂	北島 克己
13		CSD 代表	相良小学校 CSD	今野 剛也	〃
14	小中保護者代表	相良小学校	保護者	澤田 理成	三浦 七重
15		菅山小学校	保護者	中島 京	〃
16		萩間小学校	保護者	鈴木 絵里	〃
17		地頭方小学校	保護者	秋野 翔平	〃
18		相良中学校	保護者	絹村 一喜	〃
19	御前崎中学校	保護者	原口 つかね	〃	
20	幼保こども園保護者代表	あおぞら保育園	保護者	児玉 龍典	〃
21		菅山保育園	保護者	原田 めぐみ	〃
22		萩間保育園	保護者	大石 信乃	糸日谷 かな子
23		地頭方保育園	保護者	櫻井 昭紀	曾根 由多
24	市内企業	市内大手企業	TDK(株)	大竹 茂樹	〃
25		市内中小企業(商工会代表)	相良物産(株)	山本 明男	〃

◎会長 ○副会長(敬称略)

牧之原市新しい学校づくり検討会開催状況

【相良地域】

会議	日時	内容
第1回 ※榛原地域と同時開催	令和4年 10月21日(金) 13:30～16:30	・再編計画の内容と検討会の進め方 ・新しい学校の事例紹介 ・意見交換(新しい学校で大切にしたいこと)
視察 ※榛原地域と同時開催	令和4年 11月22日(火) 8:40～18:00	・愛知県瀬戸市立にじの丘学園視察 ・1～9年生が共に学んでいる先進的な学校施設を見学
第2回	令和4年 12月22日(木) 15:00～16:30	・情報提供(候補地、通学について) ・意見交換(対象学年と距離、スクールバスと路線バス、有償・無償、その他通学について)
第3回	令和5年 2月9日(木) 15:00～16:30	施設の使い方・学校のコンセプト ・情報提供(先進地視察の報告) ・意見交換(①施設の使い方 ②コンセプトを考える)
第4回	令和5年 5月12日(金) 13:30～16:30	・学校のコンセプトと整備方針(案) ・必要諸室と施設の複合化・多機能化・高機能化(案)
第5回	令和5年 7月12日(水) 13:30～16:00	・学校施設と施設配置(案) ・エリア分けと動線(案)
第6回	令和5年 9月29日(金) 13:30～16:00	・地域開放と防犯について ・基本構想・基本計画(たたき台)について
第7回	令和5年 10月24日(火) 13:30～16:00	・基本構想・基本計画(素案)について

【相良地域】 検討会意見から コンセプトへのキーワード

第1回検討会 相良地域「あなたが新しい学校で大切にしたいこと」意見まとめ
 第3回検討会 相良地域「施設の使い方・学校のコンセプト」意見まとめ

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

学校再編計画 基本方針	学校再編計画		意見の分類		意見	グループ分類	グループ		
	方策	コンセプト のキーワード	大分類	中分類					
1 すべての子どもが主役の学校 みんなが楽しく 学び生活するた めに	学校再編計画 方策	①学習支援サポーターの配置 ②学校図書館司書の配置 ①スクールカウンセラーの連携 ②SSWとの連携強化 ③不登校児童・生徒等への支援 ①多様性への対応 ②特別支援教育の充実 ③外国人児童生徒等への支援 ①成長過程に応じた節目の設定 ②9学年を生かした行事の設定 ③学校独自のカリキュラムづく り	(1) 学びのサポ ート体制 (2) 心のサポー ト体制 (3) インクルーシ ブ教育の充実 (4) 小中一貫教育 の推進	学校が楽しい	子どもたちが学校に来ることが楽しいと思える学校	個性尊重、楽しい学校	4		
				個性を伸ばす	個性を重視、尊重する	個性を伸ばす	個性を伸ばす	個性尊重、楽しい学校	4
				個性を伸ばす	個性をつぶさない	個性を伸ばす	個性を伸ばす	個性尊重、楽しい学校	4
				個性を伸ばす	自分の好きな事が伸ばせる	個性を伸ばす	個性を伸ばす	学び	6
				個性を伸ばす	「愛と個性を育む」みんなの学校	個性を伸ばす	個性を伸ばす	-	2C
				個性を伸ばす	子どもの人権を守る	個性を伸ばす	個性を伸ばす	安全・安心	6
				個性を伸ばす	子どもたちの心が安心して通える	個性を伸ばす	個性を伸ばす	子ども主体	6
				個性を伸ばす	一番大切にしたい「子ども主体」は大切に	個性を伸ばす	個性を伸ばす	人間関係	5
				個性を伸ばす	ジェンダーレス	個性を伸ばす	個性を伸ばす	使いやすい	4C
				個性を伸ばす	1〜9年生までがカベのない風通しの良い学校	個性を伸ばす	個性を伸ばす	異学年・オープンスペース	5
2 次代を切り拓く力を育むために	学校再編計画 方策	①成長過程に応じた節目の設定 ②9学年を生かした行事の設定 ③学校独自のカリキュラムづく り	(1) キャリア教育 の推進 (2) ICTを活用し た学び	異学年交流	異年齢交流が自然とできる場	異学年・オープンスペース	5		
				協力する力を育む	異学年でも仲良く協力しあえる	異学年・オープンスペース	異学年・オープンスペース	7	
				思いやり・感謝の心を育む	協力的	思いやり	思いやり	個性尊重、楽しい学校	4
				思いやり・感謝の心を育む	おじい、おばあを大切にできることかな、思いやり	思いやり	思いやり	絆	6
				思いやり・感謝の心を育む	相手の気持ちを考える思いやりのある子	思いやり	思いやり	人間関係	5
				思いやり・感謝の心を育む	感謝の気持ちが大きく育つ力をつけられる学校	思いやり	思いやり	人を育てるつながり	7
				その他	上靴（スリッパは×）	その他	その他	礼・心がたがえられる	7
				その他	学校での制服やカバンは前（お兄ちゃん、お姉ちゃん）のお 古でも使えるのか？	その他	その他	疑問・問題点	5
				その他	髪色やピアスはOKなのか？	その他	その他	疑問・問題点	5
				その他	スカートの丈!!短くても良いと思う!!	その他	その他	疑問・問題点	5
次代を切り拓く 力の育成	学校再編計画 方策	①授業や教育活動における力の 習得 ②起郷家教育プログラムの推進 ①情報活用能力の育成と個別最 適な学び ②遠隔・オンラインの活用 ③ICT支援員の配置	(1) キャリア教育 の推進 (2) ICTを活用し た学び	将来につながる力をつける教育	生きがい	学び	6		
				将来につながる力をつける教育	子ども達に夢を現でできるような学校にしたいですね	学び	学び	6	
				将来につながる力をつける教育	未来につながる	-	-	2C	
				将来につながる力をつける教育	未来を育てる	-	-	2C	
				将来につながる力をつける教育	投資の勉強	新しい学び	新しい学び	7	
				将来につながる力をつける教育	自分で選べる	個性尊重、楽しい学校	個性尊重、楽しい学校	4	
				将来につながる力をつける教育	子どもの自主独立できるような指導で	学び	学び	6	
				将来につながる力をつける教育	学びの自由	体験	体験	4C	
				将来につながる力をつける教育	自分で授業内容を組める日があってもいい	体験	体験	4C	
				将来につながる力をつける教育	選べる授業がある。好きなこと、やりたいことをとことんで きる	体験	体験	4C	
次代を切り拓く 力の育成	学校再編計画 方策	①成長過程に応じた節目の設定 ②9学年を生かした行事の設定 ③学校独自のカリキュラムづく り	(1) キャリア教育 の推進 (2) ICTを活用し た学び	世界に通用する学力をつける	笑顔・活力・品性にあふれた学校（子ども・保護者・職員）	人間関係	5		
				世界に通用する学力をつける	世界に通用する学力が付く学校	新しい学び	新しい学び	7	
				世界に通用する学力をつける	担任以外に一人サポート	充実した指導	充実した指導	6	
				世界に通用する学力をつける	学びの充実	学び	学び	6	
				世界に通用する学力をつける	自然のなかで学べる、遊べる	自然・地域	自然・地域	5	
				世界に通用する学力をつける	自然とのつながり	自然	自然	IC	
				世界に通用する学力をつける	学校中に動物や生物を飼育して教育に役立てる	自然教育	自然教育	2C	
				世界に通用する学力をつける	学校でのウサギ、カメラ等の動物を飼うことを積極的に行って ほしい	自然教育	自然教育	2C	
				世界に通用する学力をつける	物との関わり	物との関わり	物との関わり	4	
				世界に通用する学力をつける	地域資源を活かした学び・ 体験	地域資源を活かした 学び・体験	地域資源を活かした 学び・体験	4	

学校再編計画 基本方針		学校再編計画 方策		コンCEPTへのキーワード		意見の分類		(検討会) 相良地域の意見		グループ	
学校再編計画 基本方針	方策	大分類	中分類	大分類	中分類	意見	グループ分類	意見	グループ		
次代を切り拓く力の育成	(3) 国際理解・外国語教育の推進	①異文化に触れる・外国語を話す機会の拡充	未来・夢につながる	地域資源を活かした学び・体験	特色ある学校	千し学をつくる	日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	千し学をつくる	7		
	(4) 専門的な指導	②ALT(外国語指導助手)の配置	地域資源を活かした学び・体験	多様な体験	特色ある学校	収穫体験	日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	収穫体験	7		
子どもが安全に学校に通うために	(5) 少人数・個に応じた指導	①小学校高学年の教科担任制の導入	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	田んぼ、畑で地域の人と子どもが作業、アースランチができて	自然・地域	田んぼ、畑で地域の人と子どもが作業、アースランチができて	5		
	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	自然を利用した授業(農業等)	学び	自然を利用した授業(農業等)	6		
3 安全・安心な学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	学校の中に竹林を植えて旬の収穫や竹炭を作って温暖化を学ぶ	自然教育	学校の中に竹林を植えて旬の収穫や竹炭を作って温暖化を学ぶ	2C		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	「自給自足」ができて地域とのかかわり	自然教育	「自給自足」ができて地域とのかかわり	2C		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	海が好きになる勉強	新しい学び	海が好きになる勉強	7		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	サーフィン	子どもがこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	サーフィン	7		
5 働きやすい学校	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	サーフィン授業(スケボーでも可)	施設(グラウンド系)	サーフィン授業(スケボーでも可)	5C		
	(4) 地域での学びと地域の学び	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	演劇を見るやる	日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	演劇を見るやる	7		
子どもが安全に学校に通うために	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	フリーピアノ	体験	フリーピアノ	4C		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	プロの技術が見れる音楽室プロの演奏者の方がいる	体験	プロの技術が見れる音楽室プロの演奏者の方がいる	4C		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	いろいろな経験(職業体験)ができる	学び	いろいろな経験(職業体験)ができる	6		
	(4) 地域での学びと地域の学び	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	冒険心を育てられる	自然・地域	冒険心を育てられる	5		
5 働きやすい学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	自由に色んなことを体験できる	体験	自由に色んなことを体験できる	4C		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	学校で終わらせて家庭の時間を増やす、宿題なし	学習方法	学校で終わらせて家庭の時間を増やす、宿題なし	5		
子どもが安全に学校に通うために	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	セキユリティの面は大丈夫なのか?	疑問・問題点	セキユリティの面は大丈夫なのか?	5C		
	(4) 地域での学びと地域の学び	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	セキユリティの問題	疑問・問題点	セキユリティの問題	5C		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	誰でも通いやすい(バスなど)	通学	誰でも通いやすい(バスなど)	4		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	9年間の通学で子どもたちに無理がないように、坂道がないとか	通学	9年間の通学で子どもたちに無理がないように、坂道がないとか	4		
5 働きやすい学校	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	通学バスを日に何度も使えるのか?(遅れて学校に行く場合、その他)	疑問・問題点	通学バスを日に何度も使えるのか?(遅れて学校に行く場合、その他)	5C		
	(4) 地域での学びと地域の学び	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	安全に通学できる	安心・安全 命を守る	安全に通学できる	7		
子どもが安全に学校に通うために	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	ゲストティーチャー、音楽、絵	学び	ゲストティーチャー、音楽、絵	6		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域との係り合い	絆	地域との係り合い	6		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域とのかかわり、信頼関係	地域とのつながり	地域とのかかわり、信頼関係	6		
	(4) 地域での学びと地域の学び	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域とのつながり	自然・地域	地域とのつながり	5		
5 働きやすい学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域との関わり、コミュニティを大切にしたい	地域とのつながり	地域との関わり、コミュニティを大切にしたい	4		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域のことを学ぶ	地域とのつながり	地域のことを学ぶ	4		
子どもが安全に学校に通うために	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	子どもと先生とのつながり	絆	子どもと先生とのつながり	6		
	(4) 地域での学びと地域の学び	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	人と人がつながる(小学生と中学生、大人と子ども)	人を育てるつながり	人と人がつながる(小学生と中学生、大人と子ども)	7		
5 働きやすい学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	明るい	人を育てるつながり	明るい	7		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	学校内に習い事教室がある(テナント)	交流	学校内に習い事教室がある(テナント)	4C		
子どもが安全に学校に通うために	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	習い事ができる場	施設(グラウンド系)	習い事ができる場	5C		
	(4) 地域での学びと地域の学び	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	放課後も遊びに来れる学校	建物・生活の場	放課後も遊びに来れる学校	5		
5 働きやすい学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域が広いので子供達だけで放課後も学校へ行ける手段	交通	地域が広いので子供達だけで放課後も学校へ行ける手段	5		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校						
子どもが安全に学校に通うために	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	働きやすい学校	働きやすい学校施設など	働きやすい学校	4		
	(4) 地域での学びと地域の学び	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	大きな学校	疑問・問題点	大きな学校	5C		
5 働きやすい学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	職員の充実	人間関係	職員の充実	5		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	職員の充実		職員の充実			

【相良地域】施設への検討意見と整備方針案

第1回検討会 相良地域 「新しい学校にあってほしいもの・使い方」 意見まとめ
 第3回検討会 相良地域 「施設の使い方・学校のコンセプト」 意見まとめ

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

施設 基本方針	学校再編計画	具体策	整備方針（案）	意見の分類		相良地域の意見	
				大分類	中分類	意見	グループ分類
1 すべての子どもが主役の学校		・採光や通風に配慮 ・コミュニケーションやフレキシブルのための空間 (1) 快適な居住空間の整備	方針1) すべての子どもが快適で健やかに生活できる環境 ■ 快適性の高い環境 採光・通風に配慮された明るく開放的な空間・木質化等	快適な学校	明るい学校 広くゆとりがある、天井が高い、開放感がある あたたかみ、ぬくもり、木造	自然光多め 明るい学校生活 明るい空間 木や自然素材や、やわらかい色を使ってとにかく明るい 広い空間のある学校 広く開かれたゆとりのある校舎(学び舎) 廊下が広く取ってほしい。ただ、水回りは収納型で対応 天井が高い 天井は高くして 廊下が広い、大きく開放的なつくり 温かみ(建物)とぬくもり(職員)のある学校 木造で作ってほしい 校舎は木材が良い(木造)	7C 7 4C 5C 7 5 IC 4C 5C 4C 5 5C 4C IC 4C 5C 2C 6 3C 4C 4C IC 4C 4C IC 2C 3C 4C 4C 5C 5C 7 2C 7 5C 3C 4C 4C 7
				リフレッシュ・コミュニケーションの場の整備 自然が体験できる空間がある 自然が豊富、バランスよく配置されている 森がある シンボルツリー ピオトープ 畑 農園・花壇がある 田 花壇 生物とふれあえる空間 ほっとできる 海が見える場所がある			

施設 基本方針	学校再編計画		整備方針（案）	意見の分類		様原地域の意見	グループ分類
	具体策	大分類		中分類	意見		
子どもの居場所となる快適で温かみがある生活空間	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザイン・バリアフリー 車イス使用者用トイレ・EVの設置 落ち着いて学習できるスペース クールダウンできるスペース 医療ケアに配慮したスペース 利用し易い配置・機能の充実 学習活動を効果的・効率的に行える空間 子どもたちの居場所のーつとして捉える 	<ul style="list-style-type: none"> インクルーシブ環境 ユニバーサルデザインや児童生徒のケアのための相談室等の充実 	クールダウン室、閉じた空間の整備	休憩出来る（クールダウン）部屋があるといい 一人になれる個室 ある程度せまい閉鎖された空間も？（専門家の意見） 一人になれる場所	使いやすい 校舎 使いやすい ホットできる空間 未来の学校 どこでも図書館 どこでも図書館	グループ 4C 5C 4C 3C 3C 3C 3C 4C IC 5C 4C 4C 5C	
(2) インクルーシブ環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 余裕のある教室サイズ 敷地内全域の高速大容量通信ネットワーク環境の整備 教室周辺の空間ワークスペース スーテラスなどの連携 少人数活動のためのワークスペース 個人活動のためのパーソナルスペース（要検証） 特別教室ゾーン（要検証） 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な学習活動がでできる教室空間の整備 	フレキシビリティの高い教室	壁をなくせる教室 壁を作ったり無くせたりできる 教室の大きさを変更できるようなスタイルで 廊下などの壁が全てスライドしてクロース、オープンにできる教室 広々狭い 形が変えられる 柔軟に利用方法を変えられるスペースの区切り方 7年生から教科センター方式で学習できるような教室を配置する	空間 空間 教室 - 交流 地域 働きやすい学校施設など 使いやすい 使いやすい 使いやすい	IC IC 2C 4C 4C 3C 4 4C 4C 6 IC IC IC 5C IC 3C 4C 4C 4C 4C	
(3) 学びと情報の中心となる学校図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍以降の新しい生活様式を踏まえた衛生環境 断熱性能の確保 冷暖房設備の整備 トイレの洋式化・乾式化 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動や交流を創造する 図書館は誰もが利用しやすい配置とし、多様な活動や異学年交流がしやすい空間をつくる 	図書館の充実 設備の充実 シャワー完備	トイレの充実 綺麗なトイレ 全館空調 シャワー完備	トイレの充実（特に女性教職員用） トイレをキレイに女の子たちが気を使わなくてもいいような物にしてほしい クーラーや暖房などの空調は整えて欲しい（全館空調） シャワーも温水が出る シャワー作って	施設 校舎 使いやすい 使いやすい 使いやすい	IC 5C 4C 4C 5C
2 次代を切り拓く力を育むために		<ul style="list-style-type: none"> 柔軟で創造的な学習空間 	ICT環境の充実	壁をなくせる教室 壁を作ったり無くせたりできる 教室の大きさを変更できるようなスタイルで 廊下などの壁が全てスライドしてクロース、オープンにできる教室 広々狭い 形が変えられる 柔軟に利用方法を変えられるスペースの区切り方 7年生から教科センター方式で学習できるような教室を配置する	空間 空間 教室 - 交流 地域 働きやすい学校施設など 使いやすい 使いやすい 使いやすい	IC IC 2C 4C 4C 3C 4 4C 4C 6 IC IC IC 5C IC 3C 4C 4C 4C	
柔軟で創造的な学習空間		<ul style="list-style-type: none"> 柔軟で創造的な学習空間 	多目的な部屋の整備	壁をなくせる教室 壁を作ったり無くせたりできる 教室の大きさを変更できるようなスタイルで 廊下などの壁が全てスライドしてクロース、オープンにできる教室 広々狭い 形が変えられる 柔軟に利用方法を変えられるスペースの区切り方 7年生から教科センター方式で学習できるような教室を配置する	空間 空間 教室 - 交流 地域 働きやすい学校施設など 使いやすい 使いやすい 使いやすい	IC IC 2C 4C 4C 3C 4 4C 4C 6 IC IC IC 5C IC 3C 4C 4C 4C	
(4) 小中一貫教育に対応した環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 教室の活動空間を最大限に活かす（ロッカー等の教室外設置の検討） 遠隔・オンライン授業に対応できる設備 教職員のためのICT環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> 9年間の学びや交流を促進できる環境 体育館やグラウンドなどの運動施設は体格差のある子どもたちが安全でのびのびと活用できる。教室は学年段階の区切りに応じた適切な配置がされるなど、9学年それぞれの特徴に応じた施設・児童生徒の交流スペースの充実により異学年交流がしやすい環境と、9学年が同じ校舎で学ぶメリットを最大限に活かせる施設 	快適な教室	壁をなくせる教室 壁を作ったり無くせたりできる 教室の大きさを変更できるようなスタイルで 廊下などの壁が全てスライドしてクロース、オープンにできる教室 広々狭い 形が変えられる 柔軟に利用方法を変えられるスペースの区切り方 7年生から教科センター方式で学習できるような教室を配置する	空間 空間 教室 - 交流 地域 働きやすい学校施設など 使いやすい 使いやすい 使いやすい	IC IC IC 5C IC 3C 4C 4C 4C 4C	
(4) 小中一貫教育に対応した環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫した教育課程に対応した施設環境 学年段階の区切りに対応した空間構成や施設機能 異学年交流スペースの充実 9年間の系統性・連続性のある教育活動を効果的に実施できる環境 施設一体型校舎の特性、教育効果を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 9年間の学びや交流を促進できる環境 体育館やグラウンドなどの運動施設は体格差のある子どもたちが安全でのびのびと活用できる。教室は学年段階の区切りに応じた適切な配置がされるなど、9学年それぞれの特徴に応じた施設・児童生徒の交流スペースの充実により異学年交流がしやすい環境と、9学年が同じ校舎で学ぶメリットを最大限に活かせる施設 	児童生徒の交流スペース ランチルーム整備	壁をなくせる教室 壁を作ったり無くせたりできる 教室の大きさを変更できるようなスタイルで 廊下などの壁が全てスライドしてクロース、オープンにできる教室 広々狭い 形が変えられる 柔軟に利用方法を変えられるスペースの区切り方 7年生から教科センター方式で学習できるような教室を配置する	空間 空間 教室 - 交流 地域 働きやすい学校施設など 使いやすい 使いやすい 使いやすい	IC IC IC 5C IC 3C 4C 4C 4C 4C	

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		相良地域の意見		グループ	
施設 基本方針		具体策		整備方針（案）		大分類		中分類		グループ分類	
柔軟で創造的な学習空間	(4) 小中一貫教育に対応した環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫した教育課程に対応した施設環境 ・学年段階の区切りに対応した空間構成や施設機能 ・異学年交流スペースの充実 ・9年間の系統性・連続性のある教育活動を効果的に実施できる環境 ・施設一体型校舎の特性、教育効果を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9年間の学びや交流を促進できる環境 ・体育館やグラウンドなどの運動施設は体格差のある子どもたちも安全で活発に活用できる、教室は学年段階の区切りに応じた適切な配置がされるなど、9学年それぞれの特徴に応じた施設 ・児童生徒の交流スペースの充実により異学年交流がしやすいなど、9学年が同じ校舎で学ぶメリットを最大限に活かせる施設 	大分類 体育館・武道場の充実	中分類 二つの体育館 体育館に空調 武道場の充実	意見 体育館は、小中別に2つほしい 体育館2棟(大小) 体育館やグラウンドなど大小いろいろつか 体育館は2つ 体育館にも空調設備 剣道場は剣道場だけで作ってほしい 相良、榛原は剣道がさかんに行われてきたので武道場は必要、剣道場は必ずほしい 柔道場が欲しい。武道場に畳が欲しい 芝生グラウンド グラウンドは芝生 芝生のグラウンド グラウンドは人工芝でラインが書いてある！ 芝生のサッカーコート、グラウンド使って！ 芝生のウッドデッキ、芝生(全面)で排水施設、照明施設等が完備され、芝生(全面)で持続可能なグラウンド 使いやすい、持続可能なグラウンド 傾斜のある側溝 雑草が生えないグラウンドと法面 水はけのよいグラウンド!! バスケットコート面くらい野球場グラウンド、照明付き 陸上グラウンド アスレチックみたいなジム アスレチックができてほしい 雨の日でも外で運動できるスペース(体育もできる) 屋内プール 室内プール プールは温水で室内にして欲しい プールは0m、出来れば温水、冬でも使おう 流れるプールがあるといい。サーフィンプール 小1から中3までが使えるプール ①深さが違う ②柵で区切られている	グループ分類 施設 施設 使いやすい 施設(グラウンド系) 運動施設 施設(グラウンド系) 運動施設 施設 日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る 施設 運動施設 持続可能なグラウンド 持続可能なグラウンド 持続可能なグラウンド 使いやすい 施設(グラウンド系) 施設(グラウンド系) 自然 運動施設 運動施設 プール 施設(グラウンド系) 施設(グラウンド系) プール 施設 安心・安全				
								3 安全・安心な学校	方針3) 安全・安心な学校 ■ 安心して通える安全な学校 ・教職員が目が行き届く死角の無い施設計画、構造、非構造部材・工作物等の安全性、防火機能の確保 ・安全な登下校や送迎ができて、使いやすいバスロータリーや駐車場の整備 ■ 災害時の防災機能が充実した学校 ・十分な耐震・耐火性能、洪水対策など防災機能を高め、災害時には避難所として対応可能な施設整備	安全な立地 災害に強い学校 安全な施設 安全な学校 安全な学校	防犯、防災を大事にした場所の選定 立地は高いところ 災害に強い学校(地震・火事・風水害に対して) 防災、災害に強い施設 原発事故、台風→(例)地下シェルター 安全安心な学校 子どもの命を守る 安全安心、思いやり 子どもの安心・安全 子どもにも安全な施設 建物の安全性を最大に考えたい 迷路のような迷い(防災上) 移動がスムーズになるよう迷路にならない設計をしてほしい 安全は地域の人々と共に(開かれた学校)

施設 基本方針	学校再編計画	整備方針（案）	意見の分類		相良地域の意見	グループ
			大分類	中分類		
安全 安心な教育環境	施設 基本方針 (2) 長期的に管理し易い施設 (3) 通学環境の整備 (4) 脱炭素社会の実現を目指した学校施設整備	方針4) 長期的に維持管理しやすく、景観と環境に配慮した施設 ■長期的に維持管理しやすい施設 耐久性やメンテナンス性が高く、ライフサイクルコストを抑えながら長期にわたり維持管理ができて、多用途への転換が可能 ■脱炭素社会の実現を目指した施設 省エネルギー化・再生可能エネルギーの導入などによるエコスクール ■景観に調和した施設 周囲の景観や地域の特性に適した施設外観や外構計画	管理機能の強化・充実	意見	管理	3C
			管理機能の強化・充実	意見	管理	3C
			管理機能の強化・充実	意見	管理	3C
			管理機能の強化・充実	意見	職員室	3C
			安全なバスロタリー	意見	機能性の高い駐車場	2C
			安全に送迎できる敷地内車路・駐車場	意見	安全安心のための施設	2C
				意見	機能性の高い駐車場	2C
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校		地域と学校が共に子どもを育てる環境 コミュニティ・スクールの核に、地域の人が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能をもつ ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする 地域と学校が共に子どもを育てるCSのためのスペース ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションができるスペース機能拡充による高機能化・多機能化 ・事故発生防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分	大学・企業が活用できる	意見	企業・大学	5
地域や社会との共創空間			地域ボランティアが利用できる	意見	企業・大学	5
				意見	交流	4C
				意見	地域	3C
				意見	建物・生活の場	5
				意見	地域とのつながり	4
				意見	地域とのつながり	4
				意見	地域とのつながり	2C
				意見	地域とのつながり	2C
				意見	地域とのつながり	2C
				意見	ホットできる空間	3C
				意見	-	4C
				意見	交流	4C
				意見	日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	7
				意見	校舎	5C
				意見	地域とのつながり	2C
				意見	施設	1C
				意見	どこでも図書館	3C
				意見	日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	7
				意見	プール	3C
				意見	施設（グラウンド系）	5C
				意見	プール	3C
				意見	プール	3C
				意見	プール	3C
			温水プール	意見	地域	3C

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		相良地域の意見		グループ分類	
グループ		大分類		中分類		意見		複合施設		グループ分類	
地域や社会との共創空間	(1) 活動し易く、コミュニケーションを取り易い空間 (2) 交流の拠点となる施設の高機能化	地域と学校が共に子どもを育てるCSのためのスペース ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションができるスペース機能拡充による高機能化・多機能化 ・事故発生防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分	<p>■地域と学校が共に子どもを育てる環境 コミュニティ・スクールの核に、地域の人が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校</p> <p>■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能有する ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い環境や機能とする</p>	<p>地域で使える部屋・スペースの整備</p> <p>ホール</p> <p>カフェスペース</p>	<p>映画館作ってほしい</p> <p>将棋ルーム</p> <p>ストレス発散、カラオケボックス</p> <p>座禅の間</p> <p>老人ホームや保育園とも同じスペース</p> <p>公民館のようなフリースペース</p> <p>ヒオトープのような環境で地域に開放し、公園やジョギングなど出来るような施設</p> <p>地域の交流のためにグラントゴルフ場が欲しい</p> <p>10年生（地域の人の部屋）の教室</p> <p>全自動ホール 椅子が全部一緒に出る</p> <p>ホール（音楽や舞台、講演が出るとき）</p> <p>音楽ホール いーらのような音響の整ったホールが欲しい。芸術鑑賞や卒業式、文化祭などに活用。使わない時は地域に貸し出す</p> <p>お茶が無料で飲めるカフェスペース</p> <p>カフェスペースでボランティア、保護者が児童とコミュニケーション</p> <p>お茶カフェ、ほっとでできる空間</p> <p>カフェ（スタバ）作って</p> <p>無料でお茶とみかんジュースが飲めるスペース</p> <p>給食は自作</p> <p>学校内に給食センターが欲しい</p> <p>保護者会を行う時は運動場を開放しなくて良いように充分な駐車スペースを確保する</p> <p>駐車場は多く</p> <p>洗車機も置いてほしい</p> <p>（各小学校）地頭方小のあと地に児童クラブを作って</p> <p>放課後も子ども達が学び、遊べる学校</p>	<p>複合施設</p> <p>ホットでできる空間</p> <p>ホットでできる空間</p> <p>ホットでできる空間</p> <p>交流</p> <p>交流</p> <p>自然</p> <p>施設</p> <p>地域</p> <p>ホール</p> <p>体験</p> <p>ホール</p> <p>自然・地域</p> <p>自然・地域</p> <p>ホットでできる空間</p> <p>校舎</p> <p>校舎</p> <p>施設</p> <p>使いやすい</p> <p>地域とのつながり</p> <p>複合施設</p> <p>疑問・問題点</p> <p>地域とのつながり</p>	5C 3C 3C 3C 4C 4C 1C 1C 3C 3C 4C 3C 5 5 3C 5C 5C 1C 4C 4 5C 5C 5C 2				
								<p>給食の整備</p> <p>十分な広さの駐車場</p> <p>児童生徒が放課後通ごせる場所の整備</p> <p>児童クラブ 放課後学んだり遊んだりできる学校</p>			
5 働きやすく充実した指導ができる学校		方針6) 教職員の充実した指導を支えられる執務空間	<p>■教職員の充実した指導 ・教職員の内外を重視しやすく、子どもたちとのコミュニケーションが図りやすい配置とし、教職員同士の間での連携や交流を取り易い執務空間とする</p> <p>■充実した指導ができる環境 ・教職員のコミュニケーションやICT環境の整備等により、教職員が生き生きと働くことができる</p>	<p>児童生徒が放課後通ごせる場所の整備</p> <p>児童クラブ 放課後学んだり遊んだりできる学校</p>	<p>子どもたちの学びや育ちを支えられる学校（設備や教職員の人数を含む）</p> <p>職員室の配置場所がとて大切！</p> <p>どこからも近い、迷路になっていたらイケアイ大きくても近い</p>	<p>働きやすい学校施設など</p> <p>職員室</p> <p>職員室</p> <p>職員室</p>	4 3C 3C 3C				
効果的で創造的な執務空間	<p>(1) 効率的・効果的な執務環境の整備</p> <p>(2) 創造的な執務環境の整備</p>	<p>・必要な広さの執務スペースの確保 ・常時ICTが活用できる環境の整備</p> <p>連携・交流・打ち合わせ等ができる共有スペースの検討</p>	<p>■充実した指導ができる環境 ・教職員の内外を重視しやすく、子どもたちとのコミュニケーションが図りやすい配置とし、教職員同士の間での連携や交流を取り易い執務空間とする</p> <p>■充実した指導ができる環境 ・教職員のコミュニケーションやICT環境の整備等により、教職員が生き生きと働くことができる</p>	<p>児童生徒が放課後通ごせる場所の整備</p> <p>児童クラブ 放課後学んだり遊んだりできる学校</p>	<p>児童生徒が放課後通ごせる場所の整備</p> <p>児童クラブ 放課後学んだり遊んだりできる学校</p>	<p>児童生徒が放課後通ごせる場所の整備</p> <p>児童クラブ 放課後学んだり遊んだりできる学校</p>	2				

第4回検討会 相良地域「コンセプト決め」意見まとめ

【(画地域共通案)】	① ワタシをつくる みんなの学校 ② 夢につながる みんなの学校 ③ ミライをつくる みんなの学校	④ 夢に向かって 伸び伸びと学べる みんなの学校 ⑤ 「ここだけじゃ〜」相良らしい学びと体験ができる みんなの学校	【相良地域案】
------------	---	--	---------

意見		グループで選出したコンセプト	
グループ	意見メモ	案 No.	模造紙記述内容
1	① やりたいことにチャレンジ 多様性 自分のことを自分の言葉で語れる 個性 ワタシ わたし 個性 学校 = わたしをつくる 相良らしさ だもんで 主体性 のびのび アイデンティティ → 夢をつくる 建物のコンセプトとして	①	<p>模造紙</p> <p>① わたしをつくる みんなの学校</p> <p>相良ばらばらの体験・景観 → やわらか(しなやか)な個性 自分ごとを自分の言葉で語れる</p> <p>進学・通学するのは私 自分から行く 共感・自ら向かっていく</p>
	④ やわらかな協調 方言 主体 子どもの気持ち 自分の意志で校舎施設とつなげていく そういう校舎がイメージできる 主体性		
	⑤ 外からのいいもの 相良に合ったもので い〜らの共調 自然との調和 景観 親しみやすい 自分 わたし つなげようとする 求めて 図書館に行く		
	② 夢につながる④夢に向かって ②の方が近い		
	③ 夢自体を見つめる 主体は学校 客体は子ども つながる 主体はミライ 共通している ③②夢 ミライ 共通している 「夢」という言葉 コンセプトとしてふさわしい 「夢」子どもの夢 地域の夢 親の夢 伸び伸び学べる		
2	④ 向かって 主体は子ども 建物のイメージしやすい お茶 歴史 お城がある インパクトがある 地域の取り組みがわかる 言葉は変えたい ①は建物として考えにくい ③意味が行きすぎている	②	<p>模造紙</p> <p>② 夢につながる みんなの学校</p> <p>ミライ・学び・多様性 相良らしさ</p> <p>夢につながる みんなの学校</p>
	⑤ 夢 主体は子ども 最終的には夢を持ちたい=夢につながる 夢 ミライ (※夢がミライを包括) シンブル わかりやすい		
	② 夢につながる④夢に向かって ②の方が近い		
	③ 夢自体を見つめる 主体は学校 客体は子ども つながる 主体はミライ 共通している ③②夢 ミライ 共通している 「夢」という言葉 コンセプトとしてふさわしい 「夢」子どもの夢 地域の夢 親の夢 伸び伸び学べる		
	④ 向かって 主体は子ども 建物のイメージしやすい お茶 歴史 お城がある インパクトがある 地域の取り組みがわかる 言葉は変えたい ①は建物として考えにくい ③意味が行きすぎている		

発表時の説明

自身の考えを主張するのが苦手な子が増え、ChatGPTで感想文や論文、漢文まで作る時代であり、私を作るAIのこと

多様性や個性が尊重されるとあるが、尊重されるべき多様性や個性、私作りが非常に大事

5番の相良ならではの体験、調和されたい景観の中で育ち、その結果郷土愛を育み、里帰りしたいと思える学校になってほしい

進学や通学をするのは「タンワ」から自ら学びに行く、待っていて人も人や情報が増えていく時代でしょうか。しっかりとした自分を確立するために人との共感や感動がとてども大事で、自分もこうやってよつと思ってしまう学校づくりが必要

夢と未来は同じで、子どもたちの夢を我々が応援していくことも含め、夢につながるようというのが良い

保護者や地域の方もサポートする、つながることも含めて2番が良い、その中に学びや子どもの多様性、相良らしさが含まれてくるのでは

意見	<p>全てを網羅している 夢は小さくてもいい つながる = 100歳まで ころざしを育てる 伸び伸び学べる 入りたい 夢だとまぶしすぎ？ 夢破れた時でも他の生き方 = ミライ？ 夢実現のための学校ではない。 自分のミライに向けて進んでいくスタートラインにしてほしい。</p>	<p>『ミライにつながる みんなの学校』 夢を見つけない子どもたちも多 い 自分のミライに向かって、力強く歩 んでいくためのスタートラインに 牧之原全体の未来につながるべく</p>	<p>⑥ ① 子どもも少なくなく中 一人一人が尊重されるような学校が良い ワタシ…何だろう？ → 個人 が形作られればと思う 安全性との両立 地域開放 夢という字が良い 子どもが夢を実現できるよう ② 主体性 地域とつながること夢に向かっていけるように。 起業精神 受け身ではなく個人で自分がどうなりたいか見つけられる ように。と良いと思った 改革精神 ③ ハード面とすると施設として起業家、夢を実現できるよう ワクワクするよう</p>	<p>① 「つくる」 ～しなければならぬ おおらかに ②④ つながる 夢に向かって伸び伸びと学べる 自分流で 自分がしたいように 主体的 伸び伸び</p>	<p>【初回発表】 ①「つくる」 ～しなければならぬ？ おおらかに ②④ つながる 夢に向かって伸び伸びと学べる 自分流で 自分がしたいように 主体的 伸び伸び</p>	<p>【2回目発表】 大切にしたいことば：夢 夢を実現するために力をつける場所 9年間での根っことして ② コンセンプトとしてわかりやすい ④ 長い？ 地域の中の学校 みんなの学校 地域みんな育てる 伸び伸びと学び 自由度 個性 設計に生きる その子らしさ 個性をつくる (→夢を実現)</p>
2	<p>全ても良いが2番と3番を合わせたよ うな、「ミライにつながるみんなの学校」 とした ・「作る」という言葉は何か作り上げなきゃ いけない、先生方も指導しなきゃあり けないというような暖さがあり選けた ・「つながる」という言葉は9年間の学 びで完成しない子がいてもいいし、夢 が持てない子がいてもいい。これから の人生に向かって力強く生きていくス タートラインになる学びができれば十 分だと思いい「つながる」とした</p>	<p>⑥ ミライにつながる みんなの学校 ⑨ 夢を見つけない子どもたちも多 い。 自分 自分のミライに向かって、力強く歩んでいくための スタートラインに 3グループ</p>	<p>⑤ つくる → つながる 夢に向かい、 伸び伸びと学べる 自分流で 自分がしたいように 主体的 伸び伸び</p>	<p>⑤ つくる → つながる 夢に向かい、 伸び伸びと学べる 自分流で 自分がしたいように 主体的 伸び伸び</p>	<p>④ 一番選んだが、「夢に向かって」とい う言葉がしっくりこない。夢持ってい ない人はだめなのか ・のびのびと学べるという言葉は良い。 コンセンプトなので1~6まで全部同じ ようなことを言っているとと思う</p>	<p>④ 夢を実現するために力をつける場所 9年間での根っことして ② コンセンプトとしてわかりやすい ④ 長い？ 地域の中の学校 みんなの学校 地域みんな育てる 伸び伸びと学び 自由度 個性 設計に生きる その子らしさ 個性をつくる (→夢を実現)</p>
4	<p>④・⑤長い！</p>	<p>④ or ⑤</p>	<p>④ or ⑤</p>	<p>④ or ⑤</p>	<p>④ or ⑤</p>	<p>④ or ⑤</p>

第4回検討会 相良地域「必要諸室と施設の複合化・多機能化・高機能化（案）」意見のまとめ

区分	室名	意見分類	意見	グループ	
学校全体		多様性への対応	多様性に対応した施設（更衣室・トイレ）	2	
			階段の高さ 小1と中3	2	
		防災	安全	バイパス	1
			太陽光発電時の電力	1	
			備蓄倉庫 総合グラウンド裏道の拡張	1	
普通教室	児童生徒更衣室	更衣室の整備	子どもが使う更衣室ほしい たくさん	2	
特別教室 (特別教室全体)	音楽室	音楽室の地域開放	音楽室（地域開放）	1	
	家庭教室	調理室の地域開放	調理室（地域開放） ABC クッキング 料理教室のような習い事できたらいい	1 3	
	地域開放する		地域開放はどんどん進めるべき	2	
			女性が入ってきやすい地域にしたい＝女性が使いやすい施設に	2	
			会合	1	
			まきのはら塾	1	
			昔の学校 思い出コーナー それぞれの地域の伝統がわかるようにしておきたい	3	
			バス巡回	1	
			授業 学校支援は OK ボランティア団体 子供とかかわる活動も OK 日中：要検討 土日：OK 子どもいない時にくる →地域独自の活動 他の場所	4	
			地域活動 使っていない時は地域利用できる 子どもがいる時にくる →シンプルな貸出しルールづくり	4	
			ダンスホール →今後やる人多くなる	3	
			「事前予約」必ず必要 調理・音楽・楽器の練習 使いたい人いる	3	
	開放に伴う安全面への課題		防犯上の問題	2	
			顔認証 マイナンバーカード	3	
			利用登録制は必要だと思う	3	
			セキュリティは大事 入館証・顔認証	3	
			スポ少会場 けっこういろんな人が入ってくる。地域の人と判別できない	3	
			多機能化→安全 警備会社 入口チェック 日常的出入× いつ誰が来る 管理が難しい →管理者はだれ？先生は教育に集中 / 管理学校むずかしい 9か年の子の安全 誰も経験していない →少しずつ ボランティア+地域の人 △ 仕事として ○ AI 万全じゃない	4	
	多目的・地域交流	図書館の充実	小中一緒になる。蔵書は増える 小学生が中学生向けの本も読めるようになる	3	
			地小) 古い本が多い。人気の本が決まっている。一年間、手に取られない本も多い	3	
今の学校の図書室 いつも開いていない			3		
学校図書室の蔵書 子供は満足してる？→してない			3		
何か所もあったほうがいい 行こうとしたら閉まっていた			2		
いこっとが無くなったら？→学校図書館を一般も使えるようにしておかないと			3		
地域開放する			利用料とる 管理人をつける それができれば地域開放できる	3	
			「みんなの学校」なんだから 開放できるのはしたほうがいい	3	
			いこっと の使用率による	1	
地域開放への課題など			警備の問題	1	
			学校 いこっと どちらが充実？すみわけ	2	
			日中のニーズ？ママ（子育て）+αの魅力	4	
			バス通学 自分たちだけで図書館行く？親が送っていくのが多い	3	
地域開放の必要性への疑問			いこっと の充実 学校図書と一般向け	1	
			いこっともある 学生が使う	1	
			地頭方としては使うことはないかも	1	
			図書館ができたばかり。学校に（地域公開が）必要？	2	
			一般 公共図書館との共存 本は増える 中高生の自習室となってしまう？→個別にほしい？ 駐輪場も必要	3	
	いこっと 海 学校 山 2つほしい？		4		
	いこっと 人材があるか しぼる		4		
	いこっと 魅力的 しぼる		4		
地域開放・複合化		カラオケ大会 ホール	1		
		茶工場 お茶の機械	2		
		お城 史料館	2		
		子育て支援センター	2		
		保育園に通えない子が来れる場所	2		

基本構想

基本計画

資料

区分	室内	意見分類	意見	グループ
多目的・地域交流		地域開放・複合化	小さい子が遊べる場所 ←グラウンドの開放	2
			公民館等 階段でつなげて配置	2
			公民館を中心に 調理室など	2
			カフェ 緑茶 ←地元の産業に接する	2
管理諸室		給食センター	給食センターを併設	1
屋外施設	プール	温水に	プール 温水	1
		屋内プールを	屋外プール ゴミ・コケ・虫 多くて大変	3
		地域開放	子ども「ぶるる 行きたい」→近くにあったら嬉しい 使いたい人いる。屋内・温水がいい	3
	児童クラブ室	併設	学校 各地域まちがいでなく帰す 安全	4
			同じ敷地内まとめて	4
		放課後活動	子どもに学校でクラブ活動（3部制）	2

第5回検討会 相良地域 「学校敷地と施設配置(案)」「エリア分けと動線(案)」 意見まとめ

意見分類		意見	
棟配置		教室とグラウンドの距離が遠い。体育館が遠い	
		し型配置より、ロ型配置が良い	
		特別教室、理科や外国語など移動距離低学年は大丈夫？	
		棟をわけると迷路みたいになる可能性	
		子どもが使う教室は一棟に収めるのが良いのではないかとまとめて一棟に	
教室	特別支援教室	特別支援教室はじっこではなく真ん中という考え方もある	
	海が見える	教室は海が見えて一番よいところに	
	外国人支援教室	職員室からグラウンドが見えないといけないのか？	
	職員研修室	研修室(教職員のための)管理エリアにほしい	
	階段教室	階段教室もあつたらいい。発表にも使える	
心の相談室		心の相談室、相談室(カウンセラー常駐)、適応指導教室、フリースクール的な場所、学校に来ることが大事 心の相談室、入口が別にあると安心して通える子も増えるのでは(+駐車場)	
保健室	グラウンド近くに配置	保健室はグラウンドに近いほうが良い	
体育館		体育館は3階で 武道場がない？ 体育館の劇などやる車両導入を考えて	
グラウンド	小中分離など	グラウンド一面で良いのか？カリキュラムが組めない 小さい子は校舎の近くに小グラウンドが必要	
	広さ・競技	グラウンド、部活のことを考えると手狭ではないか。サッカー、野球一緒にできる？ グラウンド200mトラック、狭くないか。400mトラックにしたい グラウンド狭くないか？夜間照明はある？ グラウンドは400mトラックがほしい。できれば人工芝(駐車スペースにもなる) グラウンド200mより400m欲しい(中学校では200は狭い)	
	暑さ対策	グラウンドは山のスノに有り。暑さ(※対策?)は良いか？	
	その他	グラウンドは人工芝がいい。雨に関係なく行事ができる 切った法面を階段上にしてグラウンドを見れる観覧席にして	
プール	配置	プール。土地開放を考えているのであれば地域開放エリアに近い方が良いと思う 体育館は2階建て。プールの大きさは大丈夫か？ プールは山側にあると葉が入り管理が大変	
	屋根・日よけ	プール温水？屋根付き？ プール屋根ほしい。ソーラーパネルとかもいいかも。プール掃除大変だった記憶。BGみたいな	
	屋内プール	地域開放スペースの地下などに室内プール	
遊具・広場		斜面を使ったアスレチックを。ボルダリングとか 子どもの楽しむ場所がない 子どもの遊び場がない(低学年用) 全天候型エリアでいつでも子どもが遊べる場所がほしい 昼休み、放課後遊べる場所がほしい	
植栽・畑		緑がない。欲しい 農業体験ができる場所がない 農業体験やアスランチができる畑を確保したい	
部室		部室棟の位置。部室必要になる	
児童クラブ		平屋建てがいい。児童クラブの日中の活用は、支援センター的な運用。児童館のように支援センター親子でいかないと。一時預かりとかできたらいい(機能として、予約制で)	
テニスコート		テニスコートは校舎やグラウンド付近へ テニスコートは相良総合グラウンドがあるため不要ではないか	
ロータリー		ロータリーから教室まで屋根がほしい。雨のとき困る バス停、乗降口を地区ごとに作って小さな子が迷わないように	
駐輪場・駐車場		駐車場は一番奥(車は便利ではよい) 駐車スペースを細長く南側にすれば、地域開放やグラウンドへも行きやすい	
	駐輪場	屋根付きの駐輪場 駐輪場がない(2か所ほしい、出入口付近) 体育館の1階を駐輪場(現相中タイプ) 体育館の下、相中みたいに駐輪場にしてはどうか 進入路は両側歩道で自転車も通れるように。車も	
管理・防犯		みんなの学校といっても防犯上のリスクは考えないといけない。あくまでも子どもの学習の場	
車両動線		給食センター、救急車、グラウンド管理、車両動線を	
敷地		敷地を最大まで広げることではできないか。進入路つくらなくて良い	
	一段にしたい	土地はフラットで一面成形が良い 残土処理と関係するが一段の平場ですべてまかないたい 一段が良い(日陰になる、湿気がある) 全体で傾斜をつけて一段とする	
	グラウンド校舎同レベル	グラウンドと校舎は同じ高さにしてほしい	
敷地周辺動線		来客が普通教室エリアを横切って校舎へ入るのは安全管理上問題ないか？ 総合グラウンドからの道がほしい 総合グラウンドへ行ける道がほしい 管山地域の人が通行する道が狭い	

意見分類	意見
その他	バス運転手確保できるか
	先生もスクールバスで通勤してはどう？防犯上も良い
	親（ママ）が通わせなくなる学校にして
	防風ネット、西風への対策をすべき
	学校で使う電気をソーラーパネル、風力発電でまかなえるように
	バイパスに近く、音の問題はないか
	西日対策をしっかりとってほしい
	車の騒音問題が心配

第6回検討会 相良地域 「地域開放と防犯について」 意見まとめ

グループ	模造紙記述内容	意見
1	防災を最優先。最悪のケースを考える（子どもの死）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放と防犯なら、学校なので防犯に重きを置く ・安心して子どもたちが学ぶためには、他の人が入って来られないフェンスが必要 ・地域開放に関して、体育をやっている横でサラリーマンがお弁当を食べているような学校はやめたい ・子どもの学習時間を確保し、地域の方と交流するときは開放する。一緒に放課後学習ができるかもしれない ・夜は牧之原市で活用したり、鍵を閉めて防犯対策をしたりしていきたい
	学校は子どもが学ぶ所。入れなくするのがあたりまえ	
	門は必要。フェンスで囲む。夜の防犯	
	防犯、防災は最悪のケースを考える必要がある。最悪のケースとは、子どもの命が奪われることである。それを第一に考えないといけない	
	①地域開放と②防犯。A案：①②どちらかに重きをおくか。B案：①②両方ほぼ均等に重きをおくか。私の案：②に重きをおくことが重要と考える	
	ドラマと現実とは違います。勘違いしないように	
	一般開放とルールづくづく（づくりの書き間違えと思われる）は違いますよ	
	事件から子どもを守るのが一番。開放するのは放課後以降	
	1. 児童生徒、2. 放課後学習活動、3. まきのはら塾	
	時間帯を分ける	
2	地域開放をどう押さえるかである。これをしっかり押さえないと、義務教育学校としての機能の確保はむずかしい	<ul style="list-style-type: none"> ・全て囲ったりオープンにしたり極端なものでなく、ある程度中が見えて子どもたちの様子がわかるようにしたい ・バイパスが近く交通量が多いため、防犯について意識を高めていかなければならない ・防犯カメラをいくつも付ければよいというわけではなく、規制をクリアしなければならない ・管理する側は、施設を開放した際に、誰が壊したかを把握し管理しなければならない。なにもかも学校施設を開放するわけにはいかないと思う
	そもそも地域開放の考えを重視すると、学校の機能、役割を果たすことが難しくなる	
	パイパス近い、交通量増える位置にできる学校のため、どこのだれかわからない人が入ってくる可能性が高まるのでは	
	管理する側からすると、クローズドにした方が安心。物が壊れている際、だれがやったかがわからない	
	だれでも自由には入れるのは防犯面で心配	
	場所的に住宅地から離れているので、大人の目が行き届かない気がする	
	壁ではなく木を植えて区切るくらいで良いのでは	
	完全なクローズド、オープンではなく今のようなかんじのような状況が良いのでは	
	クローズドにしすぎると地域との繋がりが薄れてさみしい感じもする	
	学校管理者の立場からするとクローズドの方が安心できる	
3	グラウンドで子どもが授業をやっている横で関係ない人が食事しているというのはどうかと思う	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路はパイパスの下など、歩行者の道が狭くあまり利用されておらず危険。バス道を広くして歩行者も通れるようにして安全に通学できるほうが良い ・監視カメラを置いてほしい ・プールが1年間でほとんど使われないなら、室内にして一般の方も利用できるような有効活用ほしい。一般の方にも開放することで、不審者が来ないようにするのは
	地域に開放されれば地域の人が見守ってくれる	
	地域の人が交流で入ってくれば人が監視する	
	監視カメラが必要（AIで判断）	
	周辺にフェンスで囲う必要ない（周辺の山がBP）	
	駐車場が前面にあった方が不審者が入りにくい	
	プールを一般開放してもらいたい	
年間利用したい		
4	メインの道路をバス、車だけでなく歩行者、自転車も通行できる広い道路へ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放と防犯は相反する。学校は100対0ではないと思う。安心・安全・安定があり、まずは安全確保が必要 ・子どもの姿が見える、子どもから外が見えるという見える化は大切 ・地域開放はいつでも地域の方が入れる出入口を整備して人を配置するなど、ICTも大切だが人の目も大切
	防犯面からも歩行者、自転車の入口（サブ入り口）が必要なのか？	
	BPの下側道で照明もないため危ない（危険）	
	牧之原市民が善と考えると、開放的な小学校がよいと考える。防犯対策は開放後でもできる	
	全面閉鎖の柵をつくると、開放的にすることにより多くの費用がかかる	
	緑のフェンス（自然的な要素）風や空気を常に感じる	
	オープンすぎるのも防犯面での管理が難しそうではありますが、閉鎖的にするとみんなの学校ではなくなる	
	囲いがないとイノシシ等が入ってくる	
	子どもの姿がよく見える金網で囲えばよい。コスト的にも安価だと思う	
	壁で囲うのはちょっといや	
植栽で囲うのは管理が大変		
「入りやすさ」（地域開放に関わる）は車両侵入に関わるものでそこを十分に確保したい		
一般の人が利用できる時間を場所によって決める		
常時数人の人が校庭の管理をしながら学校に来る大人をチェックしながら防犯する		
地域開放は重要なコンセプトであるが確かな管理ができる出入口に人付けをして運営したい		
学校の基本ベース（考え方）として安心・安全・安定があると思います。したがってまず安全を確保すればと思います		

第6回検討会 相良地域 「基本構想・基本計画について」 意見まとめ

グループ	分類	意見	
		模造紙記述内容	発表時の説明（要約）
1	質問	地域は企業も含める？対象を限定？	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト解説の「人生の出発点」という言葉に違和感 ・職員のトイレにお金をかけてほしい ・カタカナ表記の「ワタシ」に違和感があり回答してほしい ・3クラス9学年で、小プールを利用するのは6クラス、残り21クラスは大プールを使う。10時間ほど水泳授業があるためどのようにやっていくのかを聞きたい ・相良らしいとはなにか ・コンセプト解説の、教職員・地域・保護者以外にもいるため考えていきたい
		相良らしいとは？相良地区、榛原地区と地区を限らなくても良いのでは。牧之原らしいが良い？	
		ワタシは違和感あり。「わたし」PI3	
		プール1つで水泳の授業がまかなえるのか	
		温水プールにならないか	
	意見	お願い。職員のトイレはお金をかけてほしい	
		地域の方の利用もある	
		人生の出発点。言葉に違和感	
		資料を見てみんなの意見を取り入れたものになっています	
		夢をすい上げて現実、予算面で叩き潰さないでくださいよ	
2	質問	スポ少で体育館を使うとき、大・小体育館どちらも使えるか。小体育館だけか	<ul style="list-style-type: none"> ・大プールの深さは中学生低学年、高学年の身長を考慮しているのか。プール全体で対応するのか、台を使うのか不明 ・プールの位置について、デッドスペースが生まれ、邪魔になる恐れがある ・防災倉庫について、体育館の中又は敷地内と記載があったが、災害時は疲弊した状況のため、物品移動はできれば体育館の中の方が移動がしやすくてよい ・スポーツ少年団のミニバスケボールは2面できるのか ・武道館の畳は普段から出しておくのか、利用するときだけ畳をだすのか ・体育館の床をクッションフロアで決定しているのか。フローリングとクッションフロアにそれぞれ良し悪しがあると思う。耐震補強工事をしたときクッションフロアではなくフローリングにしてきた経緯があるため考慮が必要
		武道場の畳は普段は出してあって必要な時に収納するのか？その逆か？（畳を使う授業と使わない授業のどっちが多いかによると思うか）	
		体育館の床材のクッションフロアは決定か。使っている際の感覚や手入れ的に不評の声も聞か	
		可動域の壁に防音効果がどの程度あるか心配	
		防災倉庫を設置する場所は体育館の中の方が利用しやすい。近隣よりも	
	意見	武道場の畳は避難所として使う場合有力に使えるのでとても良いと思う	
		スポ少で体育館を使う際小体育館だけではできない	
		大プールと小プールの2つを作るとのことだが、大プールを使う子どもでも低学年、高学年の差があり深すぎる、浅すぎるの不便がでないようにしてほしい	
		プールの位置がその横（奥）にデッドスペースがどうしても出来てしまう。できれば建物の中にあれば敷地を有効に使い、枯れ葉等のゴミが入らないのでメリットたくさんあると思う	
3	質問	地域らしさを表現できる仕様とは？	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行きたくなくなる、新しい教育体制ではオープンスペースは意義がある。将来職業の6割くらいAIで無くなるということを知りたくて。なぜ大人は夢が持てるのかという子どももいる。夢を持たせるためにオープンスペースを利用し、自立した発想を促す ・会議や地域の行事に学校のスペースを貸す場合、料金の設定など検討が必要 ・子どもたちから学校への要望を聞くと、2階から滑り台を作り、常時使えると楽しく学校に来られるという意見も
		地域開放の場合有料？誰がコントロールするのか？	
		学校の会議室の開放は？	
	意見	オープンスペースは様々な学びができるので良い	
		無駄だと思えるような施設が子どもたちにとっては大事。将来につながるものかも	
		子どもたちがコミュニケーションをとりやすく楽しい施設が魅力ある	
		子どもたちから聞いて要望を一つでも取り入れてほしい	
		子どもたちが自ら工作したりさわったりする施設も	
		子どもたちが考えたものを取り入れてほしい（滑り台なら）	
		子どもと一緒に親も教育していかないと	
魅力ある施設というのは難しい			
ワタシをつくる→子どもたちが遊べて仲間をつくる			
鉄骨造でも木製壁を使用してほしい			
農園だけでなく様々なものを取り入れてほしい（ビオトープ、ホテル鑑賞）			
先生たちが学んだり経験したりする場もほしい			
4	質問	鉄骨造と鉄筋コンクリートの違い、利用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨と鉄筋についての違いを説明してもらい納得した ・整備方針として「わたしをつくる」というのは学校の一番重要なコンセプト ・7～9年生もスクールバスを基本にしてほしい ・相良地域のコンセプトがとてもよい。開校は10年後くらいになると思うが、開放してからだけではなく、今から繋がっていくことをコンセプトの考え方に入れてほしい。今の子どもたち、今の職員、今の学校を大切にしてほしい
		相良地域のコンセプト「夢につながるみんなの学校」はとてもいいと思います。開校がR15としても今の子ども、今の職員の夢もつながるように準備期間中も現在の学校を大切にしてほしい	
	意見	7～9年生もスクールバスを基本にしてほしい	
		通学路が現状狭くて危ない（萩間）	
		自転車を選択制に	
		自転車の通学路を早めに整備してほしい	
		小中の先生の考え方の違いを早めにすり合わせてほしい（先生のギャップをなくす）	

第7回検討会 相良地域 「学校施設整備基本構想・基本計画（素案）について」 意見まとめ

	意見
基本構想	P4、P11 キャリア教育→起郷家教育
	牧之原市ならではの表現の方が
	P7 青年期を全部削除
	10代で青年期
	P13 教育の主体は教員。学習の主体は子ども。教職員は多様な人の下にあるのはおかしい
	教員の位置全体的にどうかもっと上では。教員特出し
	安全・安心。安心・安全。どっち？
	種まく。ホップステップジャンプ。→スタートラインあってもいい
	義務教育のスタートライン。人生かは違和感
	ワタシをつくるスタートライン
	人生は思い。色々な場面でスタートラインはある
	個人の解釈
	地域のひとづくり
	今から学校が始まる意識づけできる（保護者や地域。）
・志。・こころざし	
基本計画 I	P22 イ（カ）大きさの異なるグラウンド。配置図の反映は？
	P21 障害の状態。子供の状態や特性。数の変動。
	P21 障害に違和感
基本計画 II	・普通教室に違和感
	・P33 防災倉庫。市民だけでない
	・収納大事。廊下。教室
	・体育館のイス。自動で出し入れできる
	・電話回線普通教室に配備
	・渋滞回避
	・山からの水は大丈夫か
	・Gの面積。トラックの大きさ
	・虫の大発生の可能性。対策
基本計画 III	・P40 門扉の表現があった方が安心
	・歩車分離。複数の進入路
	・P12 再編計画の文言が分かりにくい
	・緊急の対応時の渋滞。周辺の渋滞対策→運用で
	・P10 距離の再考

*章分けとページは素案段階のもの

牧之原市新しい学校づくり検討会開催状況

【榛原地域】

会議	日時	内容
第1回 ※相良地域と同時開催	令和4年 10月21日(金) 13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> 再編計画の内容と検討会の進め方 新しい学校の事例紹介 意見交換(新しい学校で大切にしたいこと)
視察 ※相良地域と同時開催	令和4年 11月22日(火) 8:40～18:00	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県瀬戸市立にじの丘学園視察 1～9年生が共に学んでいる先進的な学校施設を見学
第2回	令和4年 12月22日(木) 13:00～14:30	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供(候補地、通学について) 意見交換(対象学年と距離、スクールバスと路線バス、有償・無償、その他通学について)
第3回	令和5年 2月9日(木) 13:00～14:30	施設の使い方・学校のコンセプト <ul style="list-style-type: none"> 情報提供(先進地視察の報告) 意見交換(①施設の使い方 ②コンセプトを考える)
第4回	令和5年 5月10日(水) 13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> 学校のコンセプトと整備方針(案) 必要諸室と施設の複合化・多機能化・高機能化(案)
第5回	令和5年 7月14日(金) 13:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設と施設配置(案) エリア分けと動線(案)
第6回	令和5年 9月26日(火) 13:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 地域開放と防犯について 基本構想・基本計画(たたき台)について
第7回	令和5年 10月26日(木) 13:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想・基本計画(素案)について

【榛原地域】 検討会意見から コンセントへのキーワード

第1回検討会 榛原地域 「あなたが新しい学校で大切にしたいこと」 意見まとめ
 第3回検討会 榛原地域 「施設の使い方・学校のコンセプト」 意見まとめ

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

学校再編計画 基本方針		学校再編計画 方策		コンセントへのキーワード		意見の分類		意見		(検討会) 榛原地域の意見		グループ分類		グループ										
大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類									
1 すべての子どもが主役の学校	(1) 学びのサポート体制	①学習支援サポーターの配置	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	学校が楽しい	楽しい	学校→楽しい 子どもが行きたくなる学校	楽しい	学校が楽しい	楽しい	学校が楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい								
		②学校図書館司書の配置	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい							
みんなが楽しく学び生活するために	(2) 心のサポート体制	①スクールの連携強化	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい							
		②SSWとの連携強化	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい						
次代を切り拓く力を育むために	(3) インクルーシブ教育の充実	③不登校児童・生徒等への支援	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい						
		④多様性への対応	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい					
次代を切り拓く力を育むために	(4) 小中一貫教育の推進	⑤特別支援教育の充実	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい					
		⑥外国人児童生徒等への支援	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい				
次代を切り拓く力の育成	(1) キャリア教育の推進	⑦成長過程に応じた節目の設定	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい				
		⑧9学年を生かした行事の設定	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい			
次代を切り拓く力の育成	(2) ICTを活用した学び	⑨学校独自のカリキュラムづくり	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい			
		⑩就業や教育活動における力の習得	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい		
次代を切り拓く力の育成	(3) 国際理解・外国語教育の推進	⑪起郷家教育プログラムの推進	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい		
		⑫情報活用能力の育成と個別最適な学び	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	
次代を切り拓く力の育成	(1) キャリア教育の推進	⑬遠隔・オンラインの活用	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	
		⑭ICT支援員の配置	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい
次代を切り拓く力の育成	(2) ICTを活用した学び	⑮異文化に触れる・外国語を話す機会の拡充	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい
		⑯ALIT(外国語指導助手)の配置	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい	楽しい

学校再編計画 基本方針		学校再編計画 方策		コンセプトへのキーワード	意見の分類		(検討会) 様原地域の意見		グループ
					大分類	中分類	意見	グループ分類	
次代を切り拓く力の育成	(4) 専門的な指導	①小学校高学年の教科担任制の専入	地域愛 伝統 地域資源を活かした 学び・体験	伝承	伝承	伝承	今までの地域性を出せるような伝承などの継承 ICTが進んでいることも大切だけど今までの伝承も大切にしているといいな	伝承 特色ある行事!	1
		②個を生かす教育の充実	地域資源を活かした学び・体験				勝小が伝統的に上級生から下級生に指導しているサムライソーラン、学年間の結び付きが大きい	伝承 特色ある行事!	1
子どもが安全に学校に通うために	(5) 少人数・個に応じた指導	①少人数指導	地域愛 伝統 地域資源を活かした 学び・体験	安全管理	安全管理	安全管理	仲良し学校 (坂部小の伝承) 牧之原ならではの自然、歴史、文化、産業を活かした学び さらに農園の学び、校内の農園を農家の人が指導 育てるのが大事! 販売もする シャインマスカットの指導に行くよ!	伝承 特色ある行事! 文化・歴史 学校農園 学校農園 学校農園	1 3 3 3
		②個を生かす教育の充実	海のこと を学ぶ・ 体験する				事故が起きにくい通学 (低学年のバス待ち時、高学年の自転車通学時、車での送迎時) IDカードで登下校、その他の管理 バス、居残り検知 安心安全②通学班 安心安全①通学路の整備 (自転車、徒歩) 自転車通、バス通、徒歩通 安全なスペース、交わらない動き 登下校の楽しさ残して 登下校で石ころを蹴るのが楽しい、犬に追いかけられたり、それが無くなるのはカナシイ	伝承 特色ある行事! 教育内容 伝承 特色ある行事!	1 2 4C 2 4C 4C 2 2 3C 3 3
3 安全・安心な学校									
子どもが安全に学校に通うために	(1) 防災教育の推進			安全管理	安全管理	安全管理	部活やクラブ活動などケガのない交流 体育のボールを使うスポーツの危険性 安全、安心な登下校ができる トリこぼしなし	安心安全 安心安全 登下校	2 2 4C
		(2) 防犯対策					安全管理 体制の強化 通学班	安心安全 安心安全 安心安全	2 2 2
子どもの学びと地域の学び	(3) 適切な通学手段の確保			安全管理	安全管理	安全管理	IDカードで登下校、その他の管理 バス、居残り検知 安心安全②通学班 安心安全①通学路の整備 (自転車、徒歩) 自転車通、バス通、徒歩通 安全なスペース、交わらない動き 登下校の楽しさ残して 登下校で石ころを蹴るのが楽しい、犬に追いかけられたり、それが無くなるのはカナシイ	安心安全 安心安全 安心安全 多目的で安全な駐車場、駐輪場 思い出 思い出	4C 4C 2 2 3C 3 3
		(1) コミュニティ・スクールの推進					通学路の整備	安心安全 安心安全 安心安全	2 2 2
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校									
子どもが安全に学校に通うために	(1) コミュニティ・スクールの推進			安全管理	安全管理	安全管理	CSとしての活動は大切にしたい 地域の人々が気軽に立ち寄れる学校 (ハード・ソフト) 誰でも立ち寄ることができる公園のような学校 地域の人で子どもたちを育てているという実感が持てる 地域に対して思いを持って行動している人や団体が子どもたちと一緒に学べる 起郷家教育 地域の人の人材バンク 地域がどう関わるか、関わらせるか、人材 地域とのつながり 地域や社会とのつながり 地域の方々が気軽に来て子どもたちの姿を見られるといいな 校外との適度な距離感 学区が広域となるが地域とのコミュニケーションの場となるような学校 常に地域との関わりを持つ機能を持たせる これから生徒数が減る?	交流 地域 ハード面 地域 地域 地域・起郷 地域 地域 地域 交流 大前提 交流 地域 地域	1 2 3 3 3 5C 2 3 3 1 1 1 2 2
		(2) 地域の活動と交流の場づくり					通学路の整備	安心安全 安心安全 安心安全	2 2 2
5 働きやすいく充実した指導ができる学校									
働きやすいく充実した指導ができる学校	(1) やりがいを持ち働くことができる環境づくり			安全管理	安全管理	安全管理	CSとしての活動は大切にしたい 地域の人々が気軽に立ち寄れる学校 (ハード・ソフト) 誰でも立ち寄ることができる公園のような学校 地域の人で子どもたちを育てているという実感が持てる 地域に対して思いを持って行動している人や団体が子どもたちと一緒に学べる 起郷家教育 地域の人の人材バンク 地域がどう関わるか、関わらせるか、人材 地域とのつながり 地域や社会とのつながり 地域の方々が気軽に来て子どもたちの姿を見られるといいな 校外との適度な距離感 学区が広域となるが地域とのコミュニケーションの場となるような学校 常に地域との関わりを持つ機能を持たせる これから生徒数が減る?	交流 地域 ハード面 地域 地域 地域・起郷 地域 地域 地域 交流 大前提 交流 地域 地域	1 2 3 3 3 5C 2 3 3 1 1 1 2 2
		(2) 研修や学校間交流の充実					通学路の整備	安心安全 安心安全 安心安全	2 2 2
働きやすいく充実した指導ができる学校	(3) 義務教育学校としての体制づくり			安全管理	安全管理	安全管理	CSとしての活動は大切にしたい 地域の人々が気軽に立ち寄れる学校 (ハード・ソフト) 誰でも立ち寄ることができる公園のような学校 地域の人で子どもたちを育てているという実感が持てる 地域に対して思いを持って行動している人や団体が子どもたちと一緒に学べる 起郷家教育 地域の人の人材バンク 地域がどう関わるか、関わらせるか、人材 地域とのつながり 地域や社会とのつながり 地域の方々が気軽に来て子どもたちの姿を見られるといいな 校外との適度な距離感 学区が広域となるが地域とのコミュニケーションの場となるような学校 常に地域との関わりを持つ機能を持たせる これから生徒数が減る?	交流 地域 ハード面 地域 地域 地域・起郷 地域 地域 地域 交流 大前提 交流 地域 地域	1 2 3 3 3 5C 2 3 3 1 1 1 2 2
		(4) 教職員組織のあり方					通学路の整備	安心安全 安心安全 安心安全	2 2 2

【様原地域】施設への検討意見と整備方針案

第1回検討会 様原地域 「新しい学校にあったらいいもの・使い方」 意見まとめ
 第3回検討会 様原地域 「施設の使い方・学校のコンセプト」 意見まとめ

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針(案)		意見の分類		様原地域の意見		グループ	
施設	基本方針	具体策	整備方針(案)	大分類	中分類	意見	グループ分類	グループ			
1	すべての子どもが主役の学校		方針1) すべての子どもが快適で健やかに生活できる環境	快適な学校	開放感がある あたたかみ、ぬくもり、木造 中庭	開放感のある室内通路 木造建築(木のぬくもり) 学生広場(中庭)	広さ 安全な施設 共学 リラックス 4C	4C			
	(1) 快適な居住空間の整備	・採光や通風に配慮 ・コミュニケーションやリラクゼーションのための空間	■快適性の高い環境 採光・通風に配慮された明るく開放的な空間・木質化等	リフレッシュ・コミュニケーションの整備	緑がある	緑の管理場所 草刈りルンバ(空港にある機械)	創作 創作 施設管理 5C	5C			
	(2) インクルーシブ環境の整備	・ユニバーサルデザイン・バリアフリー ・車イス使用者用トイレ・EVの設置 ・落ち着いて学習できるスペース ・クローラダウニングできるスペース ・医療ケアに配慮したスペース	■インクルーシブ環境 ユニバーサルデザインや児童生徒のケアのための相談室等の充実	機能の充実		花壇 公園 更衣室 公園 更衣室 に)	リラックス 多様性 リラックス 多様性 5C	2 4C 5C			
	(3) 学びと情報を中心とする学校図書館の充実		■多様な活動や交流を創造する 学校図書館 図書館は誰もが利用しやすい配置とし、多様な活動や異学年交流がしやすい空間をつくる	フロア体制の充実のための部屋	クローラダウニング、閉じた空間の整備	人との交流・オープンスペース、一人になれるスペース、一人か一つ自慢できるような設備(大きな図書スペース、一人でいられるスペース)	自由・主体性 多様性に対応する空間 多様性に対応する空間 施設・設備 個 個 個 多様性に対応する空間 多様性に対応する空間 3C	3 3 5C 3C 3C 2C 4C 4C 4C 3C 3C			
	(4) 健やかで衛生的な環境の整備		■健やかで衛生的な環境 新しい生活様式への対応・熱中症対策・清潔な衛生環境	リラックスできる部屋がある	ユニバーサルデザイン	カフェのようなリラックスできる一人でも複数でも居られるスペース 障害のある人もない人も ユニバーサルデザイン(障害対応だけでなく ジェンダー対応も) 障がい者に安全なしつらえの充実 何か一つ自慢できるような設備(大きな図書スペース、一人でいられるスペース) 地域図書館を上回る充実した図書室(子供特化型) 吉田図書館なみの図書室	リラックス 多様性 多様性 ハード面 ハード面 学び 学び 施設・設備 施設・設備	4C 5C 5C 3 3 4C 4C 2C 2C			

学校再編計画			整備方針（案）		意見の分類		様原地域の意見	
施設 基本方針	具体策	方針2）9年間で次代を切り拓く力を育む柔軟で創造的な学習空間	大分類	中分類	意見	グループ分類	グループ	
2 次代を切り拓く力を育むために柔軟で創造的な学習空間	<ul style="list-style-type: none"> 余裕のある教室サイズ 敷地内全域の高速大容量通信ネットワーク環境の整備 教室周辺の空間-ワークスペース-テラスなどの連携 少人数活動のためのワークスペース / 個人活動のためのバーン ナルスペース（要検証） 特別教室ゾーン（要検証） 	<ul style="list-style-type: none"> ■学習形態の多様化に柔軟に対応できる施設計画 ・普通教室はゆとりある広さとし、建具の開閉により周囲に活用できる等、柔軟性の高い学習空間とする ・ICT環境の充実により多様な学習形態に対応できる学習空間とする 	フレキシビリティの高い教室まわり	学びのスペースの形を変えられる	教室→フレキシブルスペースが確保できているんな形に変えられる教室環境	自由度のある教室環境	3C	
				教室のオープン・クローズ	低学年（1〜4年生）はオープンな教室で教育（壁を設けない） 教室は一定程度の広さが要求だが、必ずクローズな状態になる	共有	共有	2C
					教室を広く	広さ	4C	
					充実した収納スペースの確保	広さ	4C	
					広い教室	私物等の収納スペースが確保されている教室	自由度のある教室環境	3C
						荷物置き場、ロッカー充実	広さ	4C
						個人用の物置スペース広く欲しい、特に小学生	広さ	4C
						広い廊下	自由度のある教室環境	3C
						廊下に広い空間 体験活動や集会等が行える	自由度のある教室環境	3C
						ワークスペースを大きく	共有	2C
						オープンスペースを活用して	いちばん大切にしたいこと	3
						スタディスペース充実	学び	4C
						PCを持ってなくても学べるところ	学び	4C
						複数の特別教室	多様性に対応する空間	3C
						音楽室の充実	文化・芸術	5C
						表現力・創造力を高める部屋	創作	5C
						特別教室の充実	文化・芸術	5C
						主体性を高める部屋	自由・主体性	5C
						通信環境の充実	グローバルな人材育成	2
						ネット環境の充実、容量、高速化	ICTの充実	1C
						これからの社会はIT化の時代となるので、それを取り入れた施設の設置	ICTの充実	1C
						校内外にWi-Fi	情報環境	3C
						校内どこでもつながるWi-Fi環境	情報環境	3C
						VRやAR対応のデジタルラウンジ	デジタル・情報・グローバル	5C
						オンラインで世界とつながることができる部屋	デジタル・情報・グローバル	5C
						スタジオ YouTube 動画の編集ができる！	デジタル・情報・グローバル	5C
						多目的な空間の整備（オープンな空間の場合：教職員の目が届く間仕切りの工夫）		

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		様原地域の意見	
施設	基本方針	具体策	整備方針（案）	大分類	中分類	意見	グループ分類	グループ	
柔軟で創造的な学習空間		<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫した教育課程に対応した施設環境 ・学年段階の区切りに対応した空間構成や施設機能 ・異学年交流スペースの充実 ・9年間の系統性・連続性のある教育活動を効果的に実施できる環境 ・施設一体型校舎の特性、教育効果を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9年間の学びや交流を促進できる環境 ・体育館やグラウンドなどの運動施設は体格差のある子どもたちが安全でのびのびと活用でき、教室は学年段階の区切りに応じた適切な配置がされるなど、9学年それぞれの特性に応じた施設 ・児童生徒の交流スペースの充実に、実により異学年交流がしやすいなど、9学年が同じ校舎で学ぶメリットを最大限に活かせる施設 	児童生徒の交流スペース	二つの体育館	交流ゾーンを多く広く確保（生徒の）体育館は大小に分けるか1つを間仕切れるようにし冷暖房完備 体育館 大、小 運動場（グラウンド）はスポーツ内容によって分ける グラウンド 全部活対応（安全）、授業（体育）①大②小 ③多目的 多面利用出来るグラウンド（コート）体育館 ※場所に困らない 雨でも利用可能なグラウンド（屋根付き？室内施設？）	共有 安全な施設 施設・設備 安全な施設 施設・設備 広さ 遊び	2C 1C 2C 1C 2C 4C 5C	
(4) 小中一貫教育に対応した環境の整備				9学年での利用に適した、充実した運動施設	グラウンドの充実	雨天利用スペースの確保 大型の遊具 体かづくりがでできる楽しい遊具（サスケ） スケートパーク ツリーハウス 大小のプール、低学年用と高学年用 プールの床可動型（深さ調整可）※手すり取り外し可※一般開放 プールは屋根付き プールはどうなるの？温水プール◎ 体育館、格技場、プール、小学生用、中学生用の別々の施設 多くの競技に挑戦できる備品と設備 オリンピックを育てることができているプログラム施設 保健室2つ	遊び 遊び 遊び 創作 安全な施設 施設・設備 施設・設備 地域 安全な施設 核！校内環境 遊び 施設・設備	3C 5C 5C 5C 1C 2C 2C 2 1C 5C 2C	
3 安全・安心な学校	安全・安心な学校		方針3）安全・安心な学校	9学年での利用に適した保健室 2つの保健室	運動施設は全て小中分けて使える 多様な競技が可能	安全安心を第一に 安全・安心 「死角」のない開けた空間 不審者対策（学校内の侵入、関係者との区別） 安全安心、災害に強い 避難所となれる学校 災害時の地域防災拠点としての機能を持つ 防災（避難所）機能を備えた学校 パーソナルスペース、避難する時すれ違う時せまい× 孤立しない、災害時に周りの道が冠水したらどうしようもない、水はけを良くする 防災の拠点となれるような施設にして欲しい	安心安全 大前提 核！校内環境 安心安全 ハード面 地域 地域 地域 広さ 防災 防災	2 1 1 2 3 2C 2C 4C 1C 1C	
安全・安心な教育環境	安全・安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> ・構造体・非構造部材・工作物等の安全性の確保 ・児童生徒や教職員と地域の人の動線の整理 ・自家発電設備の設置 ・ユニバーサルデザイン化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安心して通える安全な学校 ・教職員の目が行き届く死角の無い施設計画、構造・非構造部材・工作物等の安全性、防犯機能の確保 ・安全な登下校や送迎ができて、使い易いバスロタリーや駐車場を整備する ■ 災害時の防災機能が充実した学校 十分な耐震・耐火性能、洪水対策など防災機能を高め、災害時には避難所として対応可能な施設整備 	安全安心な学校	安全安心な学校	死角がない 防犯対策	安全安心 大前提 核！校内環境 安心安全 ハード面 地域 地域 地域 広さ 防災 防災	2 1 1 2 3 2C 2C 4C 1C 1C	

基本構想

基本計画

資料

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		様原地域の意見			
		具体策				中分類		グループ分類			
安全・安心な教育環境		<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理がでる規模 ・メンテナンステキで易い ・変化に柔軟に対応できる施設 		<ul style="list-style-type: none"> ■長期的に維持管理しやすい施設 ■耐久性やメンテナンス性が高く、ライフサイクルコストを抑えながら長期にわたり維持管理が可能な施設計画 ■脱卒業社会の実現を目指した施設 ■省エネルギー・再生可能エネルギーの導入などによるエコスクール 		<ul style="list-style-type: none"> 使いやすいロータリー 使いやすい駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 駐車場からの導線の工夫 		<ul style="list-style-type: none"> 児童クラブで送迎のスムーズなように ロータリー 広いバスと自家用車がとまれるロータリー 駐車場のスペース安全第一 広い駐車場 登下校 登下校 登下校 登下校 多目的で安全な駐車場、駐輪 多目的で安全な駐車場、駐輪 		<ul style="list-style-type: none"> 4C 4C 3C 1C 4C 4C 4C 3C 	
(2) 長期的に管理し易い施設											
(3) 通学環境の整備		<ul style="list-style-type: none"> ・バスロータリーの整備 									
(4) 脱卒業社会の実現を目指した学校施設整備		<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー化（高断熱化・高効率照明等） ・再生可能エネルギー（太陽光等）の導入によるエコスクール 									
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校		子どもを育てる学校		<ul style="list-style-type: none"> ■地域と学校が共に子どもを育てる環境 ■コミュニティ・スクールを核に、地域の人が活用できる情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能を有する ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする 		<ul style="list-style-type: none"> ポランティエイサーや市民活動センターの併設 地域コミュニティの拠点確保 ファミリーサポートセンターやシルバー人材センターを併設し、子育て世代のサポート（送迎など） 地域の中の学校①学校教育と社会教育のスペース 市民活動団体が活動できる場 市民活動センター？ →学校の活動のサポート 細江のコミュニティセンターみたいなの（体育館、会議） 地域の人が訪れやすいCSルーム 地域 地域 コミュニティ活動に使用できる（イベントなど） 地域とともに（地域開放） 地域住民の利用可の施設 図書館（県とオンライン）、調理室、会議室 地域の中の学校②（会議室、体育館、家庭科室） 十分な駐車場を確保（地域の方がいつでも行ける） 高齢者も集える機能 子ども、地域が活用できる場 バザー、家庭用品 フアーマーズマーケット 調理スペースとカフェ 地域の人と子供たちが一緒に利用できる。子ども食堂ともできる 児童と高齢者 デイサービスの併設とか 地域の方、専門分野の方も子どもと一緒に使えるレベルの図書館 図書館（オープンスペース） 自習スペースも完備 地域への開放 図書館 地域の人も利用できる！ 図書館×カフェスペース（いこっとみたいな） 大学生とかも学べるよう専門書とかも扱ってたらいいな 		<ul style="list-style-type: none"> 地域 地域 子育て支援 地域 地域・起郷 学び 地域 地域 多目的で安全な駐車場、駐輪 共働 地域 施設・設備 共働 地域 地域連携施設 食育 食育 地域 福祉・医療 地域 地域連携施設 地域連携施設 文化・芸術 文化・芸術 		<ul style="list-style-type: none"> 3 2C 2 2 5C 4C 2 2C 3C 2C 2 2C 2C 2C 3C 5C 5C 2 5C 2 3C 3C 5C 5C 	
(1) 活動し易く、コミュニケーションを取り易い空間		<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が共に子どもを育てるためのスペース ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションがでるスペース ・機能拡充による高機能化・多機能化 ・事故発生防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分 									
(2) 交流の拠点となる施設の高機能化											
地域や社会との共創空間		<ul style="list-style-type: none"> 図書館の地域開放 									

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		様原地域の意見	
施設	基本方針	具体策	整備方針（案）	大分類	中分類	意見	グループ分類	グループ	
地域や社会との共創空間	(1) 活動し易く、コミュニケーションを取り易い空間 (2) 交流の拠点となる施設の多機能化	<p>地域と学校が共に子どもを育てるためのスペース) ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションがでるスペース ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能がある</p> <p>・児童生徒の防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分</p>	<p>■地域と学校が共に子どもを育てる環境 地域の人が活用し、情報交換やコミュニケーションを取り交わすことができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能がある</p> <p>・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする</p>	プールの地域開放	温水プール	<p>体育館（プール一体）大・小 地域への開放（利用料） 長期休業中は一般開放できるプール（水泳教室つき）</p> <p>プール（温水）年中利用可能 地域への開放（利用料）</p> <p>体育館に観覧席（イベントホールとして地域や企業に貸し出す）→地域の活性化 演劇、映画上映の時に多目的体育館 地域が自由に使える体育施設（ナイター設備のあるグラウンド、体育館） ホール機能を備えた最新設備の体育館 体育館等施設を利用したイベント等、地域に貸し出す グラウンド（多目的利用）水はけ、公園のような施設と一体 地域への開放</p>	グループ分類	グループ	
			<p>公園</p> <p>コミュニティセンター</p> <p>ホール</p> <p>美術館・博物館</p> <p>農園</p>	<p>グラウンド・屋外空間の地域開放</p> <p>地域で使える部屋・スペースの整備</p>	<p>公園</p> <p>コミュニティセンター</p> <p>ホール</p> <p>美術館・博物館</p> <p>農園</p> <p>その他</p>	<p>地域の人が来やすいコミュニティルームがほしい</p> <p>地域の人の交流が出来るコミュニティスペース（特に高齢者との交流の場）</p> <p>多目的ホール 地域の人が使える</p> <p>高機能な音楽ホール（音楽会、コンサート鑑賞、etcにつかえる）</p> <p>牧之原市博物館、歴史資料館との併設</p> <p>博物館 歴史資料館 牧之原市の歴史が学べる</p> <p>美術館</p> <p>協働農園 授業（理科総合、生活）地域と先生</p> <p>農園（様々な広さ）→販売へ（産物） 地域との共同による作業</p> <p>農園がたくさんある学校</p> <p>校内の田んぼ、ブドウ畑</p> <p>大小様々な農園がほしい。大小様々な花壇がほしい</p> <p>農業体験ができる畑 収穫したら→フアーマーズマーケットで売る！</p> <p>農園ハウス 田んぼ、ぶどう、イチゴ</p> <p>習い事教室 子供、大人共に</p> <p>IT教室 一般公開</p> <p>学校診療所 Dr、保健師、Ns</p> <p>校舎の近くにグラウンドゴルフ場（小グラウンドでも可）があつて地域に開放して欲しい</p> <p>海と山がある地域を生かしたスポーツ活動などが出来る施設</p> <p>図書館、校庭等は農園、共有スペースで利用</p> <p>市内の歴史を展示するスペース</p>	<p>地域連携施設</p> <p>地域</p> <p>学校農園</p> <p>コミュニティ</p> <p>食育</p> <p>食育</p> <p>共働</p> <p>共働</p> <p>福祉・医療</p> <p>コミュニティ</p> <p>コミュニティ</p> <p>コミュニティ</p> <p>コミュニティ</p> <p>地域連携施設へ活用</p>	<p>3C</p> <p>3C</p> <p>3C</p> <p>IC</p> <p>IC</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>2C</p> <p>IC</p> <p>3C</p> <p>IC</p> <p>IC</p> <p>IC</p> <p>4C</p> <p>5C</p> <p>3</p> <p>5C</p> <p>5C</p> <p>2C</p> <p>3C</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>IC</p> <p>5C</p> <p>5C</p> <p>2C</p> <p>2C</p> <p>5C</p> <p>IC</p> <p>IC</p> <p>IC</p> <p>IC</p>	

基本構想

基本計画

資料

施設 基本方針		学校再編計画		基本方針（案）		意見の分類		様原地域の意見		
		具体策				大分類		グループ分類		
地域や社会との共創空間	(1) 活動し易く、コミュニケーションを取り易い空間	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が共に子どもを育てるCSのためのスペース) ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションがとれるスペース ・機能拡充による高機能化・多機能化) ・事故発生防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分 		<ul style="list-style-type: none"> ■地域と学校が共に子どもを育てる環境 ・地域の人々が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能を有する ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする 		給食センター 地産地消 加工所 児童クラブの人数を多くできないか 児童クラブを入れてほしい 児童クラブを近い所にできないか 地域の中の学校⑨学童（放課後児童クラブ） 放課後児童クラブを併設 放課後児童クラブの併設（旧小学校毎に使用するの、新学校に一つにするのか？） 放課後児童クラブ併設 児童クラブ併設 学童を併設		給食 食育 食育 食育で支援 食育で支援 食育で支援 食育で支援 ハード面 共学 共学 学童 学童		5C 5C 2 2 2 2 3 2C 2C 4C 4C
	5 働きやすく充実した指導ができる学校	方針6) 教職員の充実した指導を支えられる執務空間		給食室等の整備		放課後児童クラブの充実				

第4回検討会 榛原地域「コンセプト決め」意見まとめ

両地域共通案】

- ① ワタシをつくる みんなの学校
- ② 夢につながる みんなの学校
- ③ ミライをつくる みんなの学校
- ④ 地域と共に わくわく学び・体験できる みんなの学校
- ⑤ 地域の伝統文化を守りながら 未来に向かってチャレンジできる みんなの学校

【榛原地域案】

⇒ 決定

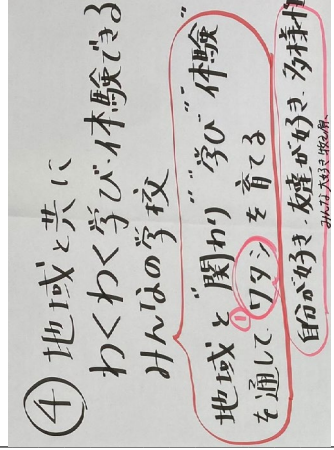
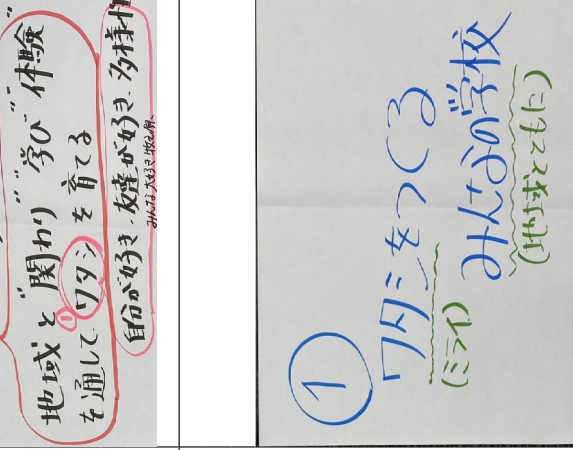
意見		グループで選出したコンセプト	
グループ No.	意見メモ	案 No.	模造紙記述内容
1	「地域とともに」 みんなでつくっていく わかりやすく入っている	④	<p>全員一致 『地域と共に』 → みんなで作っていく ・地域あつての学校 ・コミュニティ・スクール → 「伝統文化」も含む</p> <p>『わくわく学び・体験できる』 → 「わくわく」がとっても良い言葉 ・少し長い気もするが けずる言葉がない</p>
	わくわく学ぶ		
	地域あつての学校		
	わくわく学ぶ とも良いことば		
	CSのコンセプト「地域とともに」 長すぎる？ 体験できる		
「地域」	④	<p>④ 全員一致 『地域と共に』 → みんなで作っていく ・地域あつての学校 ・コミュニティ・スクール → 「伝統文化」も含む</p> <p>『わくわく学び・体験できる』 → 「わくわく」がとっても良い言葉 ・少し長い気もするが けずる言葉がない</p>	
④	「地域」は入れたい 学校大きくなる 地域の重要性を出したい 「地域」に伝統文化を これまで大切にしてきたもの	④	<p>全員一致 『地域と共に』 → みんなで作っていく ・地域あつての学校 ・コミュニティ・スクール → 「伝統文化」も含む</p> <p>『わくわく学び・体験できる』 → 「わくわく」がとっても良い言葉 ・少し長い気もするが けずる言葉がない</p>
④	グローバル・未来・ソフト面の役割かも？ ハードのコンセプトとしては④がいい 学校は地域に相ざすもの 地域開放スペースをつくる＝地域が大事 今と何が違うの？→開かれた学校となる	④	<p>☆今までの学校と何が違うの？ ・地域に開かれた学校になっていく ・共有スペースが作られる 地域になじむ学校施設でなければならぬ。 (グローバル・ミライ →ソフト面で考えること)</p>
2	④	④	<p>☆今までの学校と何が違うの？ ・地域に開かれた学校になっていく ・共有スペースが作られる 地域になじむ学校施設でなければならぬ。 (グローバル・ミライ →ソフト面で考えること)</p>
	③	③	<p>④ 土地域と共に わくわく学び 体験できる みんなの学校 （みんなの学校と何が違うの？ ・地域に開かれた学校になていく。 ・共有スペースが作られる。 地域になじむ学校施設でなければならぬ。 (グローバル・ミライ → ソフト面を考えたこと) 2グループ</p>
	③	③	<p>④ 土地域と共に わくわく学び 体験できる みんなの学校 （みんなの学校と何が違うの？ ・地域に開かれた学校になていく。 ・共有スペースが作られる。 地域になじむ学校施設でなければならぬ。 (グローバル・ミライ → ソフト面を考えたこと) 2グループ</p>
	②	②	<p>④ 土地域と共に わくわく学び 体験できる みんなの学校 （みんなの学校と何が違うの？ ・地域に開かれた学校になていく。 ・共有スペースが作られる。 地域になじむ学校施設でなければならぬ。 (グローバル・ミライ → ソフト面を考えたこと) 2グループ</p>

発表時の説明

- ・コミュニティ・スクールのコンセプトが地域と共に作る学校となっており、どうしても外したくなかった
- ・全員一致
- ・これでは長すぎるのではという意見もでてきたが、削除する所がない
- ・5番の伝統文化という言葉も入れたという言葉になったが、地域とか体験という言葉に入ると考えた

- ・コンセプトがいくつかあってもいい
- ・例えばグローバルと地域は方向性が逆のコンセプトだが、子どもをみたときにどちらも必要で、これは最終的にソフト面でカバーしていくべき
- ・義務教育学校に共有スペースができて地域の人が入るとなると、ハード面のコンセプトは絶対的に必要
- ・榛中周りの車の取り回し回りの悪さなど課題を解決して地域に相違したものにしなければならず、足を固める意味で地域にフォーカスしたほうがいい
- ・地域の人が認められる、歓迎される学校であるというのが学校が長くあり続けるという意味でも大事なのでは

グループで選出したコンセプト

意見		地域と"関わり" "学び" "体験" を通して「①ワタシ」を育てる 自分が好き、友達が好き、多様性 みんな大好き牧之原		<p>・1番の「ワタシをつくる」は自己肯定感や自尊感情という大切な部分。特に多様性を尊重し、いろんな子どもたちを拒めず大切に育つような学校にしていきたい。ただ、建物のコンセプトとしては4番が適しているのではないかと</p> <p>・地域と関わったり学んだり体験をすることを通して「ワタシ」を育てていくというのをサプテーマにしたらどうか。その中で自分・友達が好きになり多様性を尊重していくような子どもたちになってほしい。みんな大好きな学校になったら良い</p> <p>・コンセプトの「みんなの学校」に、学校、地域、保護者みんなが入って育てる、地域との繋がりといい意味が入っており、あえて地域という言葉を入れなくても良い</p> <p>・ハード面では、学んでいくのは子どもたちなので、子どもたちが確たる自分を作っていくってほしい。そこから未来に広がっていくハードな建物が1番理想。全部の意味が入っているのが一番良いのではないかと</p>
3	<p>新しい学校 地域に1つ(4小1中) 榛原 各校の思い 創る 伝統 みんなで ワタシ 5才・3才→多様性・個性 を認める ワタシをつくる 成長=自分らしくなっていく ④の中で①を育てる 自分が好き → 友達も好き ④ 建物のコンセプト というところ 1年間の「地域」牧之原の特色 学校に来ることがたのしい 地域 学区の広がり 区別なく 人として 関わり広がり ワクワクする 体験 広がっていく=多様性 地域と共にワタシをつくるみんなの学校 地域色だけでなく 地域との協力 榛原の子を育てるといふ視点 ①+③ワタシをつくる ミライをつくる 外で通用する人が出てくる ① or ③ 強い個をつくる→ミライにつながる 学校は地域と一緒に成り立たない ① 榛原キャッチフレーズ「みらいの私の出発点」 グローバル・多様性 ブラジルの人が多い 小さい時から一緒に。グローバル とりこぼさない いろいろいる子がいる 地域と学校 二人三脚で 地域と共に学び ミライをつくる みんなの学校 ここに地域の解釈を 地域をコンセプト内へ 子供の可能性(ミライ) ②+③ 夢(子供たちの) ミライ あわせる 子供主体がよい</p>			
4		ワタシ (ミライ) みんなの学校 (地域とともに)		

第4回検討会 榛原地域 「必要諸室と施設の複合化・多機能化・高機能化(案)」 意見のまとめ

区分	室名	意見分類	意見	グループ		
学校全体		木質化	木質化をしてほしい	4		
		水道の数	水道の数が少ない	4		
		ICT 環境整備	RCなのでWiFi電波はしっかりつながるように	4		
		防犯		門で囲まれた学校	地域からすると入りにくい。開かれた学校とは言えない	2
				外部から入ってくる人 顔認証 やりすぎでは？	2	
				セキュリティ 中から外 とび出していく子の把握	2	
				防災機能は分散していた方がよい	1	
		防災		防災機能はしっかりつけてもらいたい 防災倉庫	2	
				感染対策(隔離できるスペース)	3	
				防災グッズ 今の広さだと足りない 避難所の近くに	3	
				マンホールトイレ外に(水位が高くなっても使えるように)	3	
				発電システム(水位が高くなっても使えるように)	3	
				空調バリアフリー	3	
		自然エネルギー活用		安全に火が使えるように	3	
建物全ての屋根にソーラー 収入・災害時	1					
蓄電池もほしい	1					
普通教室	普通教室	広く	教室が狭いのはよくない	4		
		収納の充実	荷物置き場がちゃんとほしい	4		
		特別支援教室	教室数を増やして もっと多く必要になると思う	2		
		児童生徒更衣室	更衣室の整備 子どものための更衣室(男女)作るべきでは？	2		
特別教室	理科教室	教室数を増やして	中学 理科教室 少ない	4		
		芸術教室	教室数を増やして 地域開放のための管理	4		
	音楽室	地域開放のための管理	図工室 作品棚 管理が大変	3		
		音楽室	教室数を増やして 音楽室も少ないかも	4		
	家庭教室	音楽室の地域開放	音楽室 楽器などを使われるのは困るが、部屋だけ借りられるのなら問題はない	2		
		調理室増やして	家庭教室 調理室 一つでは少ない	4		
		調理台高さ	調理室 調理台の高さ 低・高2つ必要かも	4		
		調理室電気容量多く	家庭科室 アイロンでとぶ 電気容量大きく	4		
	(特別教室全体)	地域開放する	調理室の地域開放	調理室とランチルームを一緒にして開放	1	
			教室数	特別教室群の数	4	
			子どもが大きくなっても関わられるようにしたい	1		
			コンセプトが「地域と共に」なるべく開放したい	1		
			南砺市ランチルーム 一人暮らしの人がコミュバスで食べに來ればいい	1		
			モノはできても管理人 人を配置してもらわないと… 費用もかかってしまう(図書館・特別教室どちらも)	2		
夜間 調理室 良いと思う			2			
昼間 貸すことで学習に影響があってはいけない 時間で区切る						
開放する			3			
教材・備品 準備室の広さ・数			3			
子どもの動線が長くないように	3					
コーラスやりたい人のニーズがあるのでは？	4					
地域開放への疑問	無理にやる必要はない 必要以上の開放は教員の負担増	2				
昇降口	カッパかけスペース	エントランスにかっぱかけがほしい	4			
多目的・地域交流	学校図書館	静かなスペースを整備	中心にあっても静かなスペースがほしい	4		
		地域開放する	学校図書館は魅力的であってほしい	1		
			子供に特化した図書館であれば、長期休み中に通いたい！いっこと+榛原図書館+学校図書館 合わせて蔵書数がやっとな？			
			図書館開放のニーズある(勝小)			
			防犯システムは入れるべき			
			顔認証あれば安心			
			後付けはできない。可能性あるなら作っておいた方が			
			図書館ニーズある？蔵書の数・内容しだい =多機能化が目的になってはいけない			
			市立図書館 ⇄リンク貸出 学校図書館			
			榛原 50,000冊 学校 冊数少 借りる			
			いろいろなジャンルの本			
		卒業しても地域の人でも学校に來る機会になる				
		土日勉強したいなという使い方 学習スペース				
		自習室を併用したものを開放しては？←児童クラブの子が勉強できる				
		文化センター充実するならいい	1			
		わざわざ榛中の場所に行くか？アクセスの問題	1			
		親は行くが地域の人あまり行かない	1			
		コストをかけてまで地域開放するのか？榛原図書館との連携	1			
平日の管理者は校長(にじの丘) 教員の負担が大	2					
夜間 図書館を開ける メリット・ニーズある？中高生の自習室になってしまう？	2					

区分	室名	意見分類	意見	グループ
多目的・地域交流	学校図書館	地域開放の必要性への疑問	校長の立場 子どもの安全が第一 気は違わなければならない	2
			図書館 中途半端なものでは誰も利用しない	2
			買い物しながら本借りる等 何かのついでなら使うかも。榛中の場所はそのためだけに行かないとならない。→ニーズ無いのでは	2
			市立図書館 いこっと 榛原文化センター こっちを	3
			学校図書館を地域に開放する必要があるのか？コスト	3
			本を借りるというリスク	3
			子どもメインの図書館で	4
			相良に大きい 榛原もある 図書館は地域に開放するのか	4
			安全面が心配	4
			図書館開放のニーズはあるのか？	4
			地域開放すると駐車場の問題	4
			駐車場・託児がないと人がこない	4
			地域活動室 (CSルーム)	
		地域開放・複合化	公民館併設 みんな来やすい 公民館 市民協働センターが併設されるといいな いろんな団体の人が部活動の面倒も見る	1 1 1
管理諸室	職員室	コンセント数多く	職員室のコンセントの数を多く	4
	(仮)不登校対応室	不登校対策	相談室 不登校の子が人に見られないスペースあれば学校に来やすい	1
			不登校の子が減る学校にしたい	1
			横浜 中川第二中 平川校長の時 (H29-30) 学校内にフリースクール→不登校ゼロにフルールの機能を持ってくる	1 1
屋内運動施設	体育館・武道場	防災対策	細小の体育館 会議室が併設 良いと思う	2
			体育館の横にプールの水を飲料水にできる装置 補助金が使え	3
		体育館を災害時防災スペース	4	
		地域開放	足りなくなるのでは？ 榛原地域として	2
	体育館 ニーズはある。ただし、跡地利用 既存体育館がどうなるのか、それによって変わってくる。バスケ・バレー 無いと活動できない		2	
	各小学校の体育館が無くなる。いずれ更新必要 地域の発表会等にも使っていた		2	
	榛中レベルの大きさに市内全ての体育館利用者が集まってくるとバンクする		2	
	地域に開かれた学校とはいっても集中しすぎてしまうのはよくない キャパオーバー	2		
体育館・グラウンド・武道場 今のように開放を	4			
屋外施設	プール	屋内プールを	屋内 床の変動 冬も使える	3
	児童クラブ室	併設	児童クラブ できれば学校内にあってほしい 安全	1
			細江 4つに分かれてる →1つにしてほしい 友達が多い 校内に欲しい 安心感がある 人・建物的に	4 4
		併設への疑問	地域の実情に合わせて設置すべき	1
			300人の学童 実現可能なのか？	1
			駐車場が少ない 迎えこれる？	1
			子どもの気持ちの切替えができない	1
			新しい学校？地域？どちらが楽？	2
			300人規模の子どもたち 一気に迎えに来た時バンクする	2
		榛中の位置は買い物とかのついでに行けるところではない	2	
300人を見る人用意できるのか。地域によっては榛中 本当に遠い		2		
放課後児童クラブはまとめてよいのか？	4			
地域ごと分散	各地域に学童あってほしい。スクールバスの利用	1		
	スクールバスのルートにして地域に分散したい(職員の負荷)	1		
	1.65㎡/人→500㎡ 小さな小学校ができるレベル。地域の施設を使った方がいいのでは？	2		
	地元クラブ・学校クラブ 選択制もあり 集中も防げる	2		
外構	農園・花壇	農園	理科園 農園	3
		周辺環境の教材化	学校周辺の教材化できるよう整備	3
		地域とつくる外構	花壇時間かかる 学校できる前から子どもたちと地域でつくってもら	1
			外構など地域にやってもら	1
	学校跡地利用	体育館地域ごとにほしい 校舎の維持費 かなりかかる なくなる学校の活用法が決まっていない	1 1 1	

第5回検討会 榛原地域 「学校敷地と施設配置(案)」「エリア分けと動線(案)」意見まとめ

意見分類		意見
棟配置		地域開放可能エリア・体育館 並列も。 ・・動線が短くなる
		動線も短くなる。体育館が近くなる
		渡り廊下がほしい
インクルーシブ教育		インクルーシブ教育、障害福祉計画、新しい学校でもちゃんとやってもらえるようにして インクルーシブ教育をどのように考える？教室のつくりやバリアフリー
施設動線	簡明な動線に	迷子にならないような構造にしてほしい
	各階接続	3階から下りずに管理棟へ
教室	バリアフリー	バリアフリー
	教室の向き	日の向き、教室の明るさ
	管理室を2階へ(洪水対策)	玄関、事務室、職員室、校長室等2階(気候変動)
	理科室数増やす	理科室、中→3、小→2、計5
	外国人支援教室	外国人支援教室 2or3 クラス
	職員会議室	職員が集まっての研修、会議の部屋は？会議室がほしい
記念室	児童生徒更衣室	子ども用更衣室。男女各階2
		小中学校資料館、倉庫
保健室	駐車場近くに配置	書庫(記念室) 4小学校分も含める 保健室の位置は駐車場に近い配置が良い。体調悪い子どもを歩かせない
給食等	アースランチ	アースランチの取り組みを引き継いでほしい
	自校給食	おいしい給食を1つの特色に。そのためにも自校式がいい 給食は自校式がいい。5校→1校になるので早くなる
体育館	広く	体育館もっと大きく。2階フロア、器具庫(小・中対応)、ステージの放送設備
	近く	体育館を広くする。エアコン必要 体育館までおい
	車両搬入	体育館に直接車をつけられるように
	防災対策	体育館内にエアコン、会議室(災害対策本部、避難所) 1階柔道場、剣道場、会議室(防災本部)、防災倉庫
グラウンド	小中分離など	機能するのか？(※グラウンドの調整池?) トラックを小中で分ける
	広さ・競技	トラックは400mでお願いします フィールドサッカーコートタッチ100m
	日陰をつくる	グラウンド近くに日陰で休めるようなところがほしい
	その他	せっかく新しく作るなら、グラウンドがすぐ使えるような対策を講じてもらいたい スプリンクラー(ガン式)
プール	配置	プールの位置。道沿いは心配
		プールの隣に駐車場心配。一般の人がくる
		プール小さい？位置
		プールと体育館が保健室から遠くなる
		プールの日当たり(体育館に隠れる)
		プール日陰？
	屋根・日よけ	北側プールには日が当たらない→南へ プールが上から見られないところ。プールに更衣室あれば気になる プールが暑すぎてできない。屋根だけでもつけてほしい
	外からの視線を遮る工夫	日差しの影響 影になるような 可動式 プール周囲に最低限囲いが必要では？ 体育館から見えてしまう。見えないように
	屋内プール	室内プールにはできないか？ プールを屋内にしてくれたら嬉しい。外からでなく中で通れるようにしてほしい 官民協同でエースワンとか。市営プール兼ねて温水+室内。有料でも
	不要	プールは作らずに地域のプールを使っては？
災害対応	掛川市土方小プール。災害対応プール	
サイズ	プール25m×12コース、小プール	
遊具・広場	遊具が必要	小学生遊具は？
		遊具は作らない？ 遊具 遊具必要
	広場	芝の広場。水につからないところ 憩いの広場
花壇・畑		畑、花壇もほしい。中庭のようなスペースもほしい 花壇、ひまわり畑、コスモス畑、学校周りの景観づくりやあってほしい (※敷地?)もう少し広げて→畑
		花、野菜
		農園、理科園がほしい。砂場
		農園必要
外構の維持管理		川崎区が草取りしてくれている。PTAの作業が楽な様にしてほしい
		管理しやすい外構がいい。奉仕作業大変 グラウンドゴルフ場をつくと、芝生化愛好家のみなさんが手入れしてくれる

意見分類		意見
史料館		地域愛、郷土愛の勉強できる史料館。図書館併設で子どもも大人も学べる 文化・教養の拠点としての学校施設、歴史を残せるような資料館とか
部室		部室？ 部室 部室、外用器具庫
児童クラブ		既存学校を児童クラブで使うには修繕が必要 児童クラブごと場所によって活動が全然違う。一か所になれば不公平さがなくなる 管理棟から視界をさえぎらない配置に児童クラブ 児童クラブは各地域に分散 児童クラブ増やす
テニスコート		(※現位置に?) テニスコート
ロータリー	屋根設置	ロータリーから濡れないで校舎に入れるように屋根がほしい バスの乗降時に屋根がほしい 静波方面のロータリー
駐輪場・駐車場	動線整理	駐輪場から校舎までの歩行者の通路が必要 車と自転車、徒歩の動線安全なものに 送迎者とバスを分ける 駐輪場、車とぶつかる
		分散配置
	スクールバス活用	参観日等スクールバスの利用(親)
	管理・防犯	防犯カメラ設置
防災		防災倉庫(外) 冠水しても子どもがおさまるまで暮らせるように
調整池	活用の方法	調整池分割の必要性? 1か所にならないの? 調整池の活用法、スケートボード場?とか 調整池の上に駐輪場なら可? 調整池は臨時駐車場としての機能をもたせる (調整池) ← 駐車場 駐輪場
進入路		信号機は付くのか? 自転車はどこから入るのか? 車とバスとの動きの関連 細江、静波方面から来る子はグラウンドの中を登校? 静波、細江入口の動き
通学路		敷地内の通学路 通学路の動線 勝間田方面歩道設置 竹橋架け替える(歩道付き) 両側道路拡幅 静波、細江 歩行、自転車動線 拡幅歩道
その他		特別な特色が2つくらいほしい。この学校があるから牧之原市に住んでもらえるような A.L.Tの先生が常駐してくれたら休み時間に話に行ける 部活動、土日は地域活動日、平日は学校でやる 仮設校舎をつくらないというのはありがたいと思った。うちの子が今小2で在校中なので 各学校にある像などを置くスペースがあればいい 全てを開校に間に合わせなくても

第6回検討会 榛原地域 「地域開放と防犯について」 意見まとめ

グループ	意見	発表時の説明（要約）
1	<p>模造紙記述内容</p> <p>安全性。100%確保はできないが、管理のしやすさも必要 プール。勝手に入られて事故になったり。湖西の件。ある程度の仕切りは必要 管理が出来るなら入口が2～4あっても良い 子どもたち、地区ごと。色んな入口から入られて便利。坂部方面、静波方面。駐輪場もそれぞれ 広い敷地だどこからでも入れてしまう。過去他校の生徒が入ってきてケンカになったり 純粋な子たち。死角がないつくりが良い。囲うのも必要だが、あそこに誰がいるなどわかるような囲い方。事故事件の早期発見になる 区切りという意味でもフェンスはあったほうがよい。地域開放されていないとはならない 管理のしやすさのためにも囲ってもよいのでは？囲う＝開かれないうということにはならない 既往の道にとらわれず。学校への入口は複数あったほうがよい 建物と敷地の違い。敷地はどこまで開くか？セキュリティ大切 まちづくりの観点から将来の牧之原の形を考えて通学路なども考えては？そういう視点大事 防犯カメラ絶対必要。ガラスが割られたら原因がわかる。事故なのか事件なのか。人の出入りも記録が残る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯と地域開放の落としどころは難しい。フェンスで囲えば外から見えるが簡単に入って来られない ・防犯カメラの数はたくさん必要。校内でいじめをなくすことにも繋がる。死角を作らないことでようやく地域に開放できる ・入口について、誰でも入れる場所と学校の関係者しか入れない場所、その間に地域の方が使える場所の3か所がある。図書室などはマイナンバーカードなど地域住民だと証明して入る場所があってもよい。そこには防犯も必要 ・出入口は時間帯で区切ることも大切。登下校は色んな地域から生徒が来るため入口はたくさんあったほうがよい ・登下校が終われば門を閉めて、別で地域に開放される出入口を日中見張る。時間帯によって管理することが必要
2	<p>塀は少ない方がいい。地域の目が届きにくい 塀は少ない方がいい。樹木にすべし。見た目が悪い 塀は少ない方がいい。地域の人が入りにくい 塀は少ない方がいい。コンセプトと逆行する 生垣は管理が大変？でも塀は木がいい 全部を囲うような塀があるとコンセプトに合わない 外から見れる（見られる）ことも防犯対策になる 完全に死角となる所はしっかりとした塀を。その他は目立たないもので 地域の人が自由にできる公園のような場所と、校内のところは閉じているような場と分けるほうがよい 入口のところをグラウンドゴルフ場にして毎日ゴルフをやっている人がいたら防犯になる 塀の代わりにグラウンドゴルフ場をぐるっと回りにつくる 花壇づくりを毎月地域の人とやることで地域の人が見守ってくれる仕組みづくり 各小学校区ごとの地区別（5区）畑を作ると、地域の人に来て管理をしてくれたらよい。競い合う（川崎と静波は分ける） 地域の人が見守ってくれるような関係性づくり 塀は必要ではないか。全面的に開放した場合でもカメラで全て監視できるのか 開放する場合は入退する所は決めておく方がよい 開放するなら防犯ブザーをいたるところに設置する 防犯面が心配だから入口を決め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを囲うとコンセプトと合わない。樹木で囲うほうがよいのでは ・安全面が心配のため至る所に防犯ブザーを設置したらどうか ・入口を決めて入ってくる人を確認したほうがよい ・地域と共にある学校なら、地域の人に学校に入ってもらい、子どもたちを見守ってほしい。花壇や、地区別の畑を作れば地域の方が見に来てくれる ・塀の代わりにグラウンドゴルフ場を回りに作れば、利用者がきて子どもを見守ってくれるのではないか
3	<p>生活道路の1つとして 細小のように複数の出入り口 外から中が見える。授業の様子がわかる（散歩しながら） フェンスの高さ 芝生、遊具行きたくなる 自由に遊べる。いつでも 車用の出入口、徒歩用の出入口 コミュニティスクール用の出入口 校舎内へのコントロールをしたい 校舎の中に入らなければいい 監視カメラ、人感センサー。アピール 門をつけるか？社会教育との兼ね合い プールは見えないほうがよい 保育園のイメージ。囲う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンス等で囲うことは大事で、高さは実情に合わせて決める ・全員が出入りする門は、管理面から付けるか、地域も方が出入りできるように付けないほうがよいのか。学校の現状では、正門に門が無く馬が置かれている。馬を置くより門を整備したほうがよいのではないか ・小学校の遊具が配置されるため、地域の子もたちに開放するべき。遊具エリア、駐車場エリアを分けて小さい子が遊べるようにしたい ・門を付けた場合、コミュニティスクールの関係者や保護者が忘れ物を届けた時、遅れてきた子たちがインターホンを押せば開けられるシステムが必要 ・門を付けるか付けないかは結論がでなかった
4	<p>コンセプト「地域と共に」の考え方（どこまで開放するか） 塀の役割。外から入れない、中から出ない 囲い方。フェンスなど中が見えるようにしたい。悪意がある人は入ってきてしまう 小学生の活動範囲だけ塀をつくる 子どもが外を気にしてしまう 管理する側は色んな人が入ってくると困る 今日誰が来るか把握しておきたい 授業の中で地域に入ってもらっている（学校からお願い） 門の管理、先生が大変 管理棟から見える位置に出入口をおきたい 防犯カメラは必ず多く設置。抑止力 立地的に不審者いないのでは。現状でOK 地域の人や当り前に入ることで防犯意識が高まる 車、自転車、徒歩のルートは分けたい 色んなところから登校してくるので出入口はいくつか必要 自転車道、桜並木とは別に整備してほしい 自転車用の入口は必要。そこから人が入ると気付けない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が見えるところがあるため、全てを塀で囲わなくてもよいのでは ・塀は中にいる人が出ない役割もある。外に出してしまう子も多く、必要 ・塀は高くなく、上はフェンスにするのがよい ・小学生の行動範囲は囲ったほうがよいのでは。全てを開放すると子どもは外が気になり授業に集中できなくなるなど、管理する側が大変になる。誰が来るか把握したほうがよい ・管理棟から見える位置に出入口を置きたい。職員室や校長室から登下校の様子が見えるのがよい ・防犯カメラは必須で、特に裏側に置いてほしい ・通学路は歩行者と車は分けてほしい。様々などところから登下校するため、一か所ではなく数か所あるほうが事故は減るのでは

第6回検討会 榛原地域 「基本構想・基本計画について」 意見まとめ

グループ	分類	意見	
		模造紙記述内容	発表時の説明（要約）
1	質問	4-3-2制はどのような形で施設に反映させているのか？ゾーニング、具体例。他校の実例など気になる	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間の教育活動が充実する環境という項目の中で、4-3-2制の教育活動が充実できる配置や機能としますという一文がある。4-3-2制は中1ギャップの解消などメリットがあるが、書き方についてイメージがあるのかこれから探っていくのかを聞きたい ・1~9年生の授業時間を揃えるのか、伸びていくのか。時間が揃うと他学年との交流ができる ・図書室が明記されておらず、地域開放はしないのか。榛原地域に図書館があれば利用する人が多いのではないかと進捗や現状を聞きたい
		4-3-2制はどのような違いがあるのか？ゾーニング	
		II条件整理 1学校の区切りのところに具体例があればいい	
		8.9年生が受験のためにというのはイメージしやすい。4-3はどんな事例がある？4は1/2成人式、7は中1、リーダーシップの育成もねらい	
		図書室は地域開放しないのか？開放したら使う人は多いのでは？（駐車場も必要）	
	意見	学校のイメージも変わる。地域の人々が来て読み聞かせもしてくれたら嬉しい	
		4-3-2制は理にかなっていると思う。リーダーシップの育成大切	
		中学校の先生が入っていける。メリットだと思う。英語、社会、専門性	
		2.5km遠いという意見も出てしまうのでは？小学生が歩くには結構な距離	
		教員側の意識の変化も必要。「私低学年だから」と言っているようでは変わらない。小2→中3担任が当たり前にならないと	
2	質問	午前中5時間まで（40分授業）カリキュラムの変更もいいかも？柔軟な考え方で授業のあり方を考えてもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトのカタカナ表記ではなくひらがな表記でわたしのほうがよい ・コンセプトの地域と共にというところが細かく説明され、意見が反映されている ・防災倉庫について、校舎内と施設内の記述がありどこにできるのかわからない ・図書室は地域を繋ぐ大事な場所のため明記してほしい ・コミュニティスクールに特化した設立準備委員会を作ってほしい。広域化によって地域との繋がりが希薄にならないように
		(1) ワタシ (2) ワタシ→子ども (3) 子ども 主語が？	
		カタカナ表記の「ワタシ」が気になる	
		防災倉庫の記述の違い。設備と整備、校舎内と施設内、どこにつくる？P 22.28	
		放課後児童クラブの指導員や管理者等の部屋や責任の範囲は？	
		子どもが安全確認のためのシステム導入を検討とは具体的には？P 12	
		子どもの安全確認のためのシステムとは？P 22	
		地域と共に子どもを育む「環境」をつくとあるが、具体的にどうするのか？P 22	
		地域らしさと表現できる仕様？具体的には？P 21	
		誰もが学校へ行きたいと思える空間とは何をしたいか？P 12	
3	質問	地域と社会のつながりとしてCS活用や地域貢献型授業などいろいろあるが、今後も今まで通りとするか、又は新しい事にも当然取り組むこととするのか。P 12	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがワクワクする空間。3Dプリンター、自由研究、ラゴ、探求心を極められるような
		通学方法をキロ数で区切るのではなく、自由に選択することは難しいか？	
		コミュニティスクールに特化した設立準備委員会を作ってほしい（既存のCSDを含めて）	
		広域化によって地域との繋がりが希薄にならないように	
		既存のコミュニティスクール（5校）の良さを活かしてほしい	
		各区の農園を作って地域の交流を深めたい	
		工事中、在校生が困らないような配慮をお願いしたい	
		図書室は地域の人をつなぐ大事な場所になると思う	
		花壇、農園はガーデナーに監修してほしい（浜名湖ガーデンパークの佐原さんとか）	
		特別教室が将来的に地域の人々が利用できるのは嬉しい	
3	質問	ベンチをたくさん置いてほしい	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学校以外での居場所として、適応指導教室やフリースクールについて現在の考え方を知りたい。学校に行きづらい子どもに対応する部屋は教室や会議室では向かない。親しみやすい部屋がよい
		「ワタシ」→「わたし」別の言葉のなる？自分？	
		P 12 (2) 「ワタシ」は子どもでは	
		コンセプト「地域と共に」が十分に叶えられるようなコンセプトになっていると思う	
		話し合いの意見がとても良く取り入れられていて嬉しい	
	意見	子どもがワクワクする空間。3Dプリンター、自由研究、ラゴ、探求心を極められるような	
		特別支援級の数は足りるか？	
		外にトイレある？必要	
		3ささえる (3) ア (イ) 太陽光を考慮した校舎の向きとはどういう意味か	
		子と先生のつながり、コミュニティはどこにある？職員室？教室？	
3	質問	適応指導教室とフリースクールについて、現在の考え方を知りたい	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがワクワクする空間。3Dプリンター、自由研究、ラゴ、探求心を極められるような
		イングリッシュルームをつくる。英語だけで話す部屋	
		職員室の様子が外から見えるといい（先生誰いるのかな位）	
		オンライン以外のグローバルもほしい	
		テニスコートを学校施設内につくる、人工芝にすれば社会、体育施設として活用。ぐりんぱるは飽和状態	
		体育館に現在と同様に災害時の発電システム	
		調整池>埋め立てた体積	
		地域に開放。ランチルームの設置。（地域の方にも給食を）交流も可	
		一人暮らしのお年寄りがスクールバスを利用し、来校、給食、交流、帰宅はどうか	
		この夏の暑さで低学年の下校時間が一番暑く心配だった。水筒の中身なし	
3	意見	学校に行きづらい子どもの対応する部屋は、教室や会議室みたいなのは×。親しみやすい部屋づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがワクワクする空間。3Dプリンター、自由研究、ラゴ、探求心を極められるような
		学校以外の居場所	
		学童は夏の暑さで外に出られず、プールもない。ストレスが溜まっていた。発散する方法がほしい	
		学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら	
		学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら	
		学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら	
		学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら	
		学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら	
		学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら	
		学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら	
学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら			

第7回検討会 榛原地域 「学校施設整備基本構想・基本計画（素案）について」 意見まとめ

	意見
基本構想	P18 学校図書館地域開放の可能性？
	P18 地域活動室授業の時もいつでも使える？
	P14 志→ころざし
	P5 書き方がそろっていない
	ワタシの表現の理由
	P17 給食受け室、エレベーターを管理エリアにした理由。配膳に時間がかかる。普通教室に近い方が良い
	P10 スクールバス駐車場の安全性確保
	P10 通学方法。兄弟で通学方法が変わる。何か対応あるか
	P14 自治会・教職員。位置、大きさなぜ？
	P14 絵はあった方が良い。牧之原から出てグローバルに活躍。どこでも通じる
	「ワタシ」の表記が良い
	P14 左が良い。ワタシに近いところに保護者・教職員を置けばよいのでは
	文字多いと読まないの図は必要。左の方が良い
	イメージ図あった方が良い
	図はあった方が良い。説明文と図の表記の整合性が大事
	図はなきやグメ
	地域として考えている。図は相・榛別々に
	地域性ある。プロセス経てこの結論になっている
	相良・榛原のコンセプトが2つあるのなぜ
	基本計画Ⅰ
乾式とは	
P20 バリアフリートイレの意味？ トイレに限らず学校全体をみんなが使いやすいものにしてほしい	
基本計画Ⅱ	P37 G：部屋。P：器具庫。必要
	P37 CSD 学運協で話し合う場
	書庫、倉庫が必要（収納スペース）
	P32 キャットウォーク検討
	P27 イ（ウ）教室の半分をさらに半分にする？狭くないか？
	情緒学級は追加で部屋が欲しい
	通常級と支援級の間の子が多い
	P35 スクールバス置き去り対策
	室数が足りないということがないようにしてほしい
	特別支援学級をどこに置くか。難しい
特支教室、普通教室の3分の4の広さはどうか	
基本計画Ⅲ	P45 体育館を広く作ってほしい
	P48 調整池とグラウンドの水のキャパは足りているか
	徒歩通学の安全確保。通学路整備。スケジュール。

*章分けとページは素案段階のもの

第2回検討会 「通学方法について」 意見まとめ

*両地域の意見を掲載しているため最後に載せています。

テーマ	相良地域意見	榛原地域意見
学年と移動距離	教育委員会では個別の事情に配慮する考え方はあるはずなので、検討会では代表的な基準について議論をして、形にしていけばいい	どうしても基準を決めなければいけない部分があり、基準を決めるとその境で不公平感を感じる部分があるかもしれない非常に難しい。一定基準を基本に、柔軟な対応が必要な部分を検討していくという方法がよいのではないか
	萩間に住んでいるため、バス通学の対象であり、よいと思う。中学校からは自転車通学となるが、希望すればバスにも乗れるならよいと思う	距離についてはどこかで線引きしなければならず、どういふうにしても必ず色んな意見が出ると思うので一つの取り決めとしてありなのではないか
	提案の通学方法には賛成。子どもが3人おり、(上の2人はスクールバスなので) その通学方法と大きく変わらない状態で3番目の子につながっていける	保護者の方々等のアンケートでも現在の2.8kmという基準を緩和してほしいという意見が非常に多く、2kmなのかどうかという点については要検討としても、どこかで線を引かなくてはならないのでこういった形で示すのはよいと思う
	対象学年と距離は、もう少し柔軟に考えてはどうか。体格や障害の有無等を踏まえて判断できるようにすれば良いのではないか	坂部小学校の全1から6年生については、通学路に大変危険な坂もあるため、全員がバス通学ということならありがたいので、ぜひお願いしたい
	候補地が大沢IC北側となり、山越えをしなければならない子どもたちもいると思うので、通学手段の距離基準については慎重に考えてはどうか	7から9年生も含めてバスの活用ができるのでありがたい
	基本的な考え方はよいと思うが、高低差に関して考慮してもらえとありがたい	距離だけでなく体力や体格差など個人差があり、身体の不自由な方もいると思われるため、柔軟な対応が必要
	高低差を考えて通学方法を検討すれば良いのでは	体力面や体格面を考慮して利用条件を柔軟にしてもらえたら、保護者の皆様も安心と思う
	菅山や鬼女新田は高低差があるため一律に距離基準では厳しい	体格差や部活動の有無などによって選択肢の幅が欲しい
	学期末、学年末など荷物の多いときにバスに乗れるようにすることも検討に入れてもらいたい	中学生についても部活の帰りが遅くなる場合はバスが使えるなどの柔軟性があるとありがたい
	部活動のあるなし等で帰宅時間が異なるので、路線バスの活用と合わせて、帰りのバスの時間が複数あると良い	中学生についても、部活を終えて帰ると真っ暗な中の帰宅となる場合もあるため、やはり希望によりバス通学等の選択ができるとよい
	部活に関しては、バスの時間的な配慮をしてもらいたい	自分の住まいのエリアの小学生はみんなバス通学なのが中学からは自転車となり、それまで楽をしていた分一気に大変になる。帰りも相当遅くなるため、中学生もバスを利用していいということになれば大変安心だし助かる
	徒歩で2.5kmという高低差を考慮すると1時間弱かかる。歩道がない道路は非常に危険である。いろいろな問題を考えると全学年希望があればバス通学でも良いと思う	歩いて行くことは体にいいことだが、天候によっては親が送迎する日が年間何日もあるため、天候によってバス通学の選択ができればありがたい
	高低差があるため徒歩の距離を2.5kmと一律に設定するのは難しい。2.5kmであっても配慮し、希望があれば(バス通学の)対応をとるといった形も考えて対応してもらいたい	低学年や近距離であっても大雨注意報になると自家用車で送迎するという保護者の方もいるため、雨の日はバスに乗れるなど対応できるようにしてもらいたい
	1~2年生と3~6年生の括りはなぜなのか。3年生はまだかなり低学年という感じがするので4、5年生からという括りでも良いのではないか	自分の子供について置き換えると、朝は早く登校し、夕方は学童から帰ると食事して寝るだけで、時間がない。時間の短縮になるなら利用距離的に利用できない子もバスを選べるとありがたい
	4-3-2制を考慮して検討してほしい	距離と学年の線引きについては保護者の希望を含めて柔軟性を持って頂くとよい
	距離によって徒歩かバスかというのもあるが、住んでいる場所によっては、(近くても)本当に歩いてくるのが安全かということも考えないといけない	1、2年生が長い距離を歩くのは大変だと実感しており、1年生については柔軟に対応できるような体制が必要。歩くことの重要性もふまえて、基本の距離については色んな検討をこれから進めていけばいい
同じ校舎に通うので6年生まで徒歩で7年生から自転車というのは、いかがなものか。同じ基準にしたほうがよいと思う	バス通学を希望制にして、半月からひと月で希望を取るなどで、やっぱり徒歩は無理だからバスにするとか、歩くことに魅力を感じたりワクワクやいろいろな発見があるということも考えると、いろんな体験をさせることもよい。そう考えると、家の人と相談しながらバスか徒歩か選択できるようにするのも、誰もが通いたくなる学校としてありなのではないか	
	対象学年などはどこかで線を引かなければならないため、1回決めてあとは柔軟に対応していくということがよい	
	距離ももっと短くしてもいいのでは	
	1年生だと大きい子と比べて距離感が大分違うと思うので、1、2年生についてはもうちょっと短い距離でバスが利用できるようになればありがたい	
	通学方法は誰もが通いたくなる学校を目指すためには大事なところであり、1年生2年生の2.5kmというのは少し長いと感じる	
	通学という朝のイメージがあるが帰りの方が気をつけないといけないことがあるため、融通がきく形で運行して欲しい	
	バスの台数・コース・時間など、本当にたくさんないと網羅できないと思われる。雨が降ると信号機のところで大渋滞し、台風が来れば冠水するため、コースがどれほど必要でどこを通れば安全かなど、難しい課題を全て考えながら、1年生から9年生までの通学について検討しなければならない。心配なところは数々ある	
路線バスなどの活用について	バス停や運行本数の問題があるので、基本的に路線バスは使わなくてよい	路線バスは時間帯が限られており運用が悪く、使わないのでは
	路線バスで通学する場合は、国道を横断する必要があり、低学年では不安がある	路線バスは運営会社も学校も双方に利益があるようになればよいと思うが、路線バスだと生徒の乗り降りの確認が、特に低学年の場合は大変ではないかと思うので、スクールバスの方を希望する
		路線バスの活用は現実的には難しいと思われ、スクールバスの充実を考えてもいいのではないか
	路線バスは朝はよいが、帰りのバスがないため利用しづらいところがある	

テーマ	相良地域意見	榛原地域意見
路線バスなどの活用について		<p>本数が多くない現状から、選択肢として使える方は使ってもよいと思うが、路線バス活用には無理があると思われる</p> <p>路線バスは下校時のバスの充実を図らないと活用は難しく、おそらく使えないのでは</p> <p>路線バスについては、既存の路線に合う方は使ってもよいと思うが、そうでなければ路線を増やすのが難しいだろうと考えると、使えるのか疑問</p> <p>バス停が近い家は路線バスなども活用</p> <p>路線バス会社と相談ができるのならば、スクールバスと路線バスの時間の兼ね合いについても検討頂けると帰りの時間の選択肢が増えてくると思う</p> <p>選択肢がいくつかあることが非常に大事のため、スクールバスと路線バス両方必要と思うが、路線バスの時間が学校のスケジュールに合わないため、うまく対応できるよう時間の配置を柔軟にできればよい</p> <p>路線バスが併用できればよいが、路線数と安全性が課題</p> <p>現状、市民が使っているということも考えると、路線バスとの共存をして市が歩み寄り、企業側にも歩み寄ってもらうように声をかけて話し合うような形をとっていくべきではないか</p>
スクールバスの有償・無償等について	<p>秋間はバス通学になると思うのでスクールバスが利用できるとよい。無償で利用したい</p> <p>無償がよい</p> <p>地頭方地区はスクールバスの対象地区であるため、無償で通学できるとよい</p> <p>義務教育の一環なので無償が基本になるのでは</p> <p>無償の方がありがたい</p> <p>無償のほうがよいが、市に試算してもらってどうするか任せてはどうか</p> <p>公平感という考え方からも無償のほうがよい</p> <p>可能であれば無償の方が良い</p> <p>無償化が基本になるのではないかと</p> <p>無償がありがたいが、財政的に厳しいのであれば協力したい</p> <p>スクールバスを無償にすると、自主運行バスは有料であるため矛盾が出てくる。どう調整するかが問題</p>	<p>初めから無償だと後で有償とした場合に、説明が必要と思われるため、有償の可能性があるのであれば有償でもいいのではないかと</p> <p>バスの料金は無償だととてもありがたいが、市の財政も厳しい部分もあると思われるため、協力できる範囲で有償なのは仕方がないと思う</p> <p>無償がよいが市の財政と相談が必要だと思う。懸念材料や懸念事項を検討して問題がないかということが重要と思う</p> <p>義務教育なので基本的には無償だとよいが、自転車通学者の自転車購入における高額な負担との公平性や財政面から、有償も考えてもよいと感じる</p> <p>国の補助が確実にある保証がない限り、維持費や管理費等お金がかかるのであれば、多少みんなで負担をしていただいても今すべてに半額は自己負担としているので、抵抗は多くはないのでは</p> <p>無償で運用できたとしても将来どうなるかわからず、最初から無償でやるのではなく、故障など有事の際のためにも積立費用を取っておく必要があると思う</p> <p>最初から無償にするのではなく有償から始めたらどうか</p> <p>有償にすべき</p> <p>事情が個々異なるため有償がよい</p>
通学路・駐車場・ロータリー等		<p>歩道が狭く通学に不便な通学路などを安全にすることがまず第一で、そこを見直さないと徒歩で良いのかバスが良いのかという判断はできない</p> <p>田んぼの中の道に時間で制限をかけて頂いているのが安全でありがたく、今後も継続したいが、この時間制限が厳しいという声が上がっているようなので、ぜひ地域の方との合意形成についても機会をお願いしたい</p> <p>今は小学生は集団登校だが、新しい学校も同じような考えならそこを詰めてもらえるとありがたい</p> <p>内山の交差点では現在でも自転車通学と川崎小の徒歩の子が入り乱れて危険だが、そこにバス通学が加わるためさらに危険と感じる</p> <p>内山交差点が非常に危険なため、要望としては自転車歩行者道路にならないかと思っているが、今後徒歩の小学生はみんな同じ方向に歩いていくとなると、たまり場みたいなどころになり一層危険な場所となる</p> <p>昨今の急なゲリラ豪雨の日などは学校に保護者の車がたくさん来て近隣に迷惑をかけているため、学校のロータリーや駐車場の充実を図り、バスの乗り場も複数作ってもらえばいいと思う</p> <p>現状雨の日の送迎の車で大渋滞して本当に整理が大変なので、スクールバスと保護者の送迎を考えると、駐車場やロータリーの整備が必要</p> <p>バス通学の子も子どもたちが増え、バスの台数も多くなる。バス、自転車、徒歩が全て同じ方向に向かうということで、交通安全に不安がある。学校敷地内にゆとりを持って場所を確保し、たくさん台数のバスが入っても徒歩、自転車通学の子も子どもたちが安全なスペースが確保できれば良い</p> <p>牧之原市の学校を魅力的で誰もが通いたいと思える学校にするために、通学のハードルを下げることで、他の私立中学などと比べる時にスクールバスがあるなら通おうという子も増えると思うので、中学生の（希望による）バス利用の検討もお願いしたい</p> <p>にじの丘学園では車が入れるスペースがもの凄くきちんとしてられていたことを考えると、安全に子供たちを登下校させることができる広いスペースがあるということは、とてもありがたいことと思う</p> <p>ロータリーが必要なので、西側の敷地をロータリーにするなど工夫が必要</p> <p>大雨時に保護者が送迎に来る状況からしてもロータリーは余裕が必要だし、道路の冠水については改良をお願いしたい。1箇所だけでなく西側と北側の両方の道路が安全に通行できるということと、今のグラウンドの南側の道路あたりと体育館のある側の道路が一体的に整備できればよい</p>

テーマ	相良地域意見	榛原地域意見
その他	7年生は自転車通学になるが、自転車通学の場合、多くは高額な自転車を購入することになり負担が大きい。補助があっても負担である	朝は定時でまとめて通学できるが、帰りは学年により下校時間が違うため、バスの運用が課題。スクールバスや路線バスを待つ子供たちがどう過ごすか、誰が対応するかなど、見えない運用が必要。放課後児童クラブとの関係も含め、子供が安心安全に登下校できるよう検討が必要
	自転車通学にはヘルメット代や保険代もかかるので補助が欲しい	学童がどこにできるかが、5年生6年生の自転車を可能にするかということに大きく関わっているのではないかと
	ベンチャー企業が市内で起業して移住してくる場合に、通学の問題が足かせにならないようにしてほしい	細かいことは言い出したらきりがなく、生徒一人一人の状況が違うので、始まってからも毎年学校が一生懸命検討して調整しなければならぬ。まずは大きな枠、新しい学校を建て替えながらどう使っていくかなどの検討が必要。前回瀬戸市で見に行った学校は大体のところは建設できたら一度引っ越しして、作りながら使っている。榛原中の生徒たちに対するケアなども大切
	個人的に学校に通ってくることを大変さに価値を見出していたので、負担について過度に考えなくてもいいかと思う	現状の通学の困難さ大変さが分かったが、通学での学年を超えた良い体験など教育的な部分や本人の成長を考えると、徒歩通学での重要性というのも非常にあると思う

新しい学校づくりに係る市民参加、周知等一覧

No.	年度	名称	主体・対象	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
1			教委	菅山小教職員	13	5月11日(水) 16:00～17:00			-
2			教委	萩間小教職員	13	5月19日(木) 16:00～16:30			-
3			教委	牧之原中教職員	13	5月23日(月) 15:45～16:15			-
4		再編説明会	教委	相良小教職員	30	6月6日(月) 15:45～16:45	再編計画について	市内小中学校教職員を対象に、再編計画の内容について説明を実施	-
5	教委		相良中教職員	28	6月8日(水) 15:00～16:00	-			
6	教委		牧之原小教職員	14	6月16日(木) 16:00～16:30	-			
7			教委	地頭方小教職員	14	7月6日(水) 15:00～15:30			-
8	R4		教委	榛原地域教職員	103	8月1日(月) 8:30～12:00			-
9		新しい学校づくり シンポジウム	教委	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・地域	266	6月11日(土) 13:30～16:30	講師：倉斗綾子氏 多様な学びを叶える学校づくり ～牧之原のミライをイメージしよう～ パネルディスカッション みんなてつくろう未来の子どもたちのための新しい学校	実際に他の学校が行っている取組等写真や話を聞くことができて、とてもイメージがつきやすかった。 パネルディスカッションでは、自分の疑問を保護者代表の方が代弁してくれてよかった。	201
10		市議会全員協議会(臨時)	教委	市議会議員	16	7月19日(月) 9:00～10:30	新しい学校づくりの検討方法等について(案)	学校用地の選定について及び学校施設整備基本構想・基本計画の検討について情報提供を行った。	
11		教育講演会・ 教職員研修会	教委	市内小中学校教職員・ 校長	232	8月8日(月) 9:00～15:30	午前の部：講師 池田哲哉氏 府中学園のあゆみ ～義務教育学校の可能性を求めて～ 午後の部：ワークショップ 「あなたが描く新しい学校とは？」	牧之原小中学校での小中連携教育の推進に関する実践発表 広島県府中市立府中学園前校長の池田氏を招き、講話を聞いた。午後はワークショップを行い、教職員からは多種多様な意見が挙げられた。	155

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
12			教委	榛原中学校 3年生5学級	166	導入：5月23日 (月) 発表：11月17日 (木)	出前授業：2時限	※総合的な学習の時間における探究活動の テーマ「牧之原市活性化プロジェクト」 として、グループで学年に提案	166
13			教委	地頭方小学校 5年生1学級	31	6月17日(金)	出前授業：2時限	【個人】絵や文章 ・広いグラウンド(芝生やタータン)、たく さんの遊具 ・明るい教室や図書室 ・コンビニや自動販売機、カフェなど	31
14			教委	地頭方小学校 6年生1学級	28	6月17日(金)	出前授業：2時限	【個人】絵や文章 ・ダンスやプレイゼンができる多目的ホール ・エアコン付きの広い体育館 ・きれいなトイレ	28
15			教委	相良中学校 2年生4学級	133	導入：7月8日(金) 発表：10月5日(水)	出前授業：2時限	※総合的な学習の時間における探究活動の テーマ「牧之原市活性化プロジェクト」 として、グループで学年に提案	133
16	R4	出前授業	教委	川崎小学校 6年生3学級	72	8月31日(水)	出前授業：1時限	【グループ】専門誌から選択 ・タブレットを使用した授業、デジタル教 科書の使用 ・剥製などがある理科ゾーンの設置 ・人工芝や芝のグラウンド	72
17			教委	勝間小学校 坂部小学校 6年生2学級	46	11月7日(金)	出前授業：4時限	【グループ】横造紙※合同授業 ・「宿題をなくす」自分にあつた勉強ができ るようにする ・「個性を大事にする」自分の気持ちを整え る場所 ・「思い出づくり」宿泊体験や学級対抗の行 事	46
18			教委	萩間小学校 6年生1学級	22	11月22日(火) 29日(火)	出前授業：4時限	【グループ】スライド ・バリアフリー(エレベーター・スロープ・ 段差をなくす) ・広々とした快適な教室、自習室などいろ いろな教室 ・きれいなトイレ、センサー式の水道	22

No.	年度	名称	主体・対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
19		校地選定委員会 第1回(榛原・相良 合同開催)	選定委員会		15	8月31日(水) 13:30～16:45	<ul style="list-style-type: none"> 委員長、副委員長の選出 選定委員会の進め方 候補地の考え方 各候補地の現地視察 	<ul style="list-style-type: none"> 費用面だけで決めてしまおうのではなく、教育的に判断していくべきだと感じた。 実際に候補地を見て話を聞いて、どの候補地についてもそれぞれ一長一短があるというように感じた。 	15
20		校地選定委員会 第2回(榛原地域)	選定委員会	学識経験を有する者、 学校関係者、保護者、 自治会	9	9月15日(木) 13:00～14:30	<ul style="list-style-type: none"> 各候補地の状況整理 候補地評価シート上の項目と点数配分 	<ul style="list-style-type: none"> 各候補地の特徴について議論。 評価シート上の項目及び点数配分についての意見。 	12
21		校地選定委員会 第2回(相良地域)	選定委員会		10	10月7日(金) 15:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> 各候補地の状況整理 候補地評価シート上の項目と点数配分 	<ul style="list-style-type: none"> 5つの候補地の中から最有力候補を選定する方法とする。 各候補地の特徴について議論。 評価シート上の項目及び点数配分についての意見。 	17
22		校地選定委員会 第3回(榛原地域)	選定委員会		9	10月7日(金) 13:00～14:30	<ul style="list-style-type: none"> 候補地の評価と最終候補地 提案内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に各委員に採点してもらった評価シートを基に最終候補地について議論した。 最終候補地に対する附帯意見について。 	22
23	R4	第1回新しい学校づくり 検討会(榛原・相良合同)	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	36	10月21日(金) 13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> 学校再編計画について 先進地事例紹介 ワークショップ 新しい学校で大切にしたいこと 新しい学校に付けたい機能 	<ul style="list-style-type: none"> 第一に安心安全面(災害・防犯)についての意見が多く、第二に地域との交流により、子どもと大人が交流しながら子どもだけでなく大人も学べる環境としたい、という意見、施設面では暖かく温もりがあり施設・ラウンジ・チャイルドの整備の要望があった。 	176
24		校地選定委員会 第3回(相良地域)	選定委員会	学識経験を有する者、 学校関係者、保護者、 自治会	10	10月26日(水) 13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> 候補地の評価と最終候補地 提案内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に各委員に採点してもらった評価シートを基に最終候補地について議論した。 最終候補地に対する附帯意見について。 	28
25		市PTA連絡協議会 意見交換会	教委	市内小中学校PTA会長、 校長	24	11月17日(木) 18:30～20:30	<ul style="list-style-type: none"> 学校再編計画について説明、意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 再編や学校施設についてグループワークを実施 	24
26		先進地視察 新しい学校づくり検討会	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	23	11月22日(火) 8:40～18:00	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県瀬戸市立にじの丘学園の視察研修を実施 視察目的 1～9年生が学ぶ姿を実際に見る 先進的な学校施設を見学する 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に小中一貫校を見ることで不安が払拭された。 	20
27		学校再編後の新しい学校の 通学に関する保護者 アンケート	教委	市内小中学校・幼稚園 等の保護者	523	11月22日 ～11月28日	<ul style="list-style-type: none"> 新しい学校での通学方法 徒歩、自転車、バス通学の対象距離 	<ul style="list-style-type: none"> 今よりも遠距離通学になる児童生徒についてバス通学を望む声が多い。 徒歩、自転車通学の良さに係る意見も。 	523

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
28		校地選定委員会 第4回(相良地域)	選定委 員会	学識経験を有する者、 学校関係者、保護者、 自治会	8	11月28日(月) 14:30~15:30	・最終候補地の検討 ・提案内容のまとめ	・開校時期が遅れるが、最終候補地としての 変更はない。 ・1年でも早い開校を目指してほしい。	16
29		仁田町内会 役員説明会	教委	仁田町内会役員	16	12月19日(月) 19:00~20:00	報告書の提出に伴い、仁田町内会長より 地元説明会の要望があったため、仁田町 内会役員に対し、校地候補地の決定につ いて説明会を実施。	仁田地域の浸水被害に対する要望(勝間田 川や新川の河川改修)が多かった。学校が 建設されることについては異論はない、と のこと。	4
30		第2回新しい学校づくり 検討会 (榛原地域)	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	20	12月22日(木) 13:00~14:30	・通学方法別の対象距離 ・バス通学の有償無償の考え方	・バス通学は有償になっても仕方がないと いう意見も一定数あり。 ・単純な距離ではなく、山を越えなければ ならない等、個別の状況を見て判断して もらいたい。	40
31		第2回新しい学校づくり 検討会 (相良地域)	検討会		17	12月22日(木) 15:00~16:30		・バス通学は無償にしてもらいたい、とい う意見が多い。 ・単純な距離ではなく、山を越えなければ ならない等、個別の状況を見て判断して もらいたい。	34
32	R4	子ども ワークショップ	教委	市内小中学校児童生徒	15	12月27日	ワークショップ 学校ってなんのためにあるの? 学校がこんな場所だったらいいな	子どもの目線から見た新しい学校について 子どもが行きたいと思う学校の姿	99
33		第1回教職員向け ヒアリング	教委	市内小中学校教職員	88	12月28日 ~1月27日	教室に関するアンケート(ヒアリング)方 法及び対象職員は校長に一任 ・教室の形態について(オープン、セミ オープン、クローズ) ・新しい学校にほしい施設、いらなくな る施設	・オープンは少数。 ・セミアオープン、クローズの形態がおおよ そ半数ずつ。 ・パソコン室、生活科室はいらなくなる。 ・ほしい施設として、教材室、外国語室、 多目的ホール、図書室の充実等の意見が 挙げられた。	88
34		仁田町内会 説明会	教委	仁田町内会	37	1月16日(月) 19:00~20:30	仁田町内会より、より多くの方に周知を したいということと、町内会全体に呼び かけを行った上で説明会を実施。	全体的な意見としては、新しい学校が建つ ことに異論はないが、できる限り地域に迷 惑が掛からないようにしてほしい、という ものがあった。	19
35		相良中学校PTA役員会	教委	相良中学校PTA	10	1月20日(金) 18:30~19:00	学校再編計画について 校地の選定経緯について	・計画策定までの経緯、流れが理解できた。 ・前向きに進めていかねばならないと 感じた。	3
36		栄養教諭意見交換会	教委	栄養教諭部会	6	1月30日(月) 16:45~18:00	栄養教諭部委員会の要望により、学校 再編事業の概要について説明。	栄養教諭の中では自校式給食を望む声が多 かった。	7

No.	年度	名称	主体・対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
37		榛原中学校運営協議会	教委	榛原中学校学校運営協議会	12	2月3日(金) 15:30～17:00	学校再編計画について 校地の選定経緯について	・義務教育学校になった経緯について ・校地選定の経緯について	6
38		第3回新しい学校づくり 検討会 (榛原地域)	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	22	2月9日(木) 13:00～14:30	先進地視察報告 ワークショップ 新しい学校の施設の使い方 学校のコンセプト	・地域に開かれた学校にしたいが、防犯対策と両立してもらいたい。 ・勉強以外のことを体験したり学ぶことができる環境が大事だと思う。	141
39		第3回新しい学校づくり 検討会 (相良地域)	検討会		23	2月9日(木) 15:00～16:30		・ここだけしかないものを。 ・地域の方も職員も子どもたちもみんな笑顔な学校。広大な空間で手を取り合って自ら学ぶ。	174
40		大沢区説明会	教委	大沢区民	10	2月14日(月) 19:00～19:45	相良地域の校地候補地が大沢IC周辺に決まったことから地元説明会を開催。	区民全体へ回覧により呼びかけたものの、地権者の方の参加が主であったため、用地取得がいつからか、補償はどのような進み方になるのか、といった内容が主となった。	4
41	R4	相良区説明会	教委	相良区民	30	2月16日(水) 19:00～20:30	地元町内会より説明会を開催してほしい旨の要望があったため、学校再編事業から候補地の選定に関して説明会を開催。	ハード面としては、現在の相良小中学校の場所に、新しい学校を整備することはできないのか。ソフト面としては、なぜ施設一体型とするのか、牧之原小中学校や、相良小中学校のような隣接型の施設分離型はどうか、といった内容であった。	6
42		牧之原市 子ども・子育て会議	教委	子ども・子育て会議委員 (保護者、園長、企業、 教員、主任児童委員、 専門家)	23	2月22日(水) 19:00～19:15	牧之原市子ども・子育て会議の案件の1つとして、学校再編について説明。	再編計画の内容、策定までの経緯等	1
43		子育て支援センター相良 保護者意見交換会	教委	未就学児保護者	10	3月7日(火) 10:00～11:30	学校再編や義務教育学校について意見交換	人数が増えてクラス替えができるのはいない、HP等で随時情報公開したりこのような機会を随時やってもらいたいとの意見があった。 制服はどうなるのか、バスは出るのか、給食はどうなるのか、等の質問があった。	15
44			教委		5	3月15日(水) 14:00～15:30		前向きな考えを聞くことができ開校が楽しみになった、いろいろな意見があるが納得できるようなエビデンスを提示いただけるとよい、等の意見があった。	5
45		新しい学校づくり勉強会	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・一般申込・市議会 議員・教育委員	119	3月18日(土) 14:00～16:30	今津敏一先生講演 「義務教育学校の現場から」 参加者との質疑応答	・実際に義務教育学校に勤務した先生の話 を聞いて理解が深まった。 ・具体的な話がわかりやすかった。 ・地域の協力が大切だと感じた。 ・新しい学校について、子どもの立場で考えることが大切だと気が付いた。	71

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
46			教委	地頭方小 保護者・教職員	200	4月14日(金) ※紙上開催	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています	紙資料を配布。説明及び質疑応答なし。	-
47			教委	勝間田小 保護者・教職員	150	4月15日(土)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています	紙資料を配布し説明。通学方法について質問あり。	3
48			教委	菅山小 保護者・教職員	120	4月19日(水)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
49			教委	萩間小 保護者・教職員	130	4月19日(水)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています	紙資料を配布し説明。質疑応答なし。	-
50			教委	榛原中 保護者・教職員	550	4月20日(木)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
51			教委	相良中 保護者・教職員	430	4月21日(金)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
52	R5		教委	相良小 保護者・教職員	370	4月22日(土)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
53			教委	細江小 保護者・教職員	350	4月22日(土)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
54			教委	坂部小 保護者・教職員	110	4月22日(土)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
55			教委	川崎小 保護者・教職員	350	4月28日(金)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています	紙資料を配布。説明及び質疑応答なし。	-
56		第2回教職員向け ヒアリング	教委	教職員	111	4月18日(火) ~4月26日(水)	図書館及び体育館、職員室、特別支援学級等に関するアンケート(ヒアリング方法及び対象職員は校長に一任)	図書館の数と配置、体育館や職員室、事務室、特別支援学級、相談室、保健室の配置、ほしい機能等の傾向を把握	111
57		学校司書連絡協議会における意見交換	教委	学校司書	5	4月20日(木)	新しい学校の学校図書館の地域開放について、学校教育課、社会教育課とともに学校司書と意見交換	学校図書館はあくまで学校図書館としての機能の充実を図るべき。児童生徒の利用を最優先。場所は学校の中心がいい。一般開放は、学校図書館としての機能を妨げない形でのようなことが可能か検討。	27

No.	年度	名称	主体・対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
58		第4回新しい学校づくり 検討会 様原地域	検討会		20	5月10日(水) 13:30～16:00	学校のコンセプト・整備方針(案) 必要諸室と施設の複合化・多機能化・高 機能化(案)	コンセプト:「④地域と共に わくわく学 び・体験できる みんなの学校」に決定	168
59		第4回新しい学校づくり 検討会 相良地域	検討会		20	5月12日(金) 13:30～16:00		コンセプト:「②夢につながらる みんなの 学校」に決定	147
60		第5回新しい学校づくり 検討会 相良地域	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	18	7月12日(水) 13:30～16:00	施設配置・ゾーニング ワークシヨップ形式	・造成敷地は2面より1面がいい。 ・グラウンドの広さが足りないのではない か。 ・プールは屋内化できないか。 ・総合グラウンドへ行く道がほしい。	77
61		第5回新しい学校づくり 検討会 様原地域	検討会		22	7月14日(金) 13:30～16:00		・調整池を臨時駐車場として使えないか。 ・給食は自校式がいい。 ・出入口は複数ほしいが、防犯対策もしっ かりしてほしい。 ・体育館の広さは足りるのか。	114
62	R5	市議会全員協議会(臨時)	教委	市議会議員	15	8月24日(木) 13:00～15:00	基本構想・基本計画(骨子案)	基本構想・基本計画(骨子案)について説 明を行った。	
63		第1回新しい学校づくり 勉強会	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・一般申込・市議会 議員・教育委員	128	8月30日(水) 18:30～20:30	武井敦史先生講演 「今、なぜ牧之原ではキャリア教育なの か～「幸せな地域」を子ども目線で考え よう～」	・キャリア教育がこんなに市として進んで いるとは思わなかった。もっと多くの人 に知ってもらいたい。 ・再編するだけでなく、教育への取組が大 きく変わらうとしていることに希望がも てた。 ・教職員の中でももう少し共通理解が必要。	116
64		仁田町内会役員説明会	教委	川崎区長、区長代理、 仁田町内会役員	9	9月7日(木) 19:00～21:00	様原地域の学校の整備に関する施設の配 置案、造成方法等について、仁田町内会 の意見、要望を伺った。	学校ができることに異論はないが、地域が 暮らしにくくなるようなことがないように お願いしたい。水の問題、浸水被害が心配。	22
65		第2回新しい学校づくり 勉強会	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・一般申込・市議会 議員・教育委員	135	9月23日(土) 10:00～12:00	生重幸恵先生講演 「キャリア教育とコミュニティ・スクー ル～これからの生きる子どもをみんなで 育もう～」	・コミュニティの関わりや、社会教育の大 切さを改めて感じる機会になった。 ・講師の熱量が、パワフルで経験に基づいた 話が興味深かった。 ・自分のモノサシ(自分が経験した学校) との変化を感じた。	118

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
66		第6回新しい学校づくり検討会 椋原地域	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	18	9月26日(火) 13:30～16:00		<ul style="list-style-type: none"> 自然が見えるところがあるため、全てを掘って開くのもよいのではないか。 フェンス等で囲うことは大事で、高さは実情に合わせて決める。 地域の人に学校に入ってもらいたい、子どもたちを見守ってほしい。 防犯カメラの数はたくさん必要。 	120
67		第6回新しい学校づくり検討会 相良地域	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	18	9月29日(金) 13:30～16:00	地域開放と防犯 基本構想・基本計画	<ul style="list-style-type: none"> AI等のICTも大切だが人の目も大切。 一般の方にも開放することと不審者が来ないようになるのではないか。 ある程度中が見えて子どもたちの様子がわかるようにしたい。 安心して子どもたちが学ぶためには、他の人が入ってこられない工夫が必要。 	85
68		第7回新しい学校づくり検討会 相良地域	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	19	10月24日(火) 13:30～16:00			33
69	R5	第7回新しい学校づくり検討会 椋原地域	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	19	10月26日(木) 13:30～16:00	学校施設基本構想・基本計画(素案)	素案の文言、表現について気になる部分等の意見が出された。	47
70		市議会全員協議会(臨時)	教委	市議会議員	15	10月30日(月) 10:30～12:00	基本構想・基本計画(素案)	基本構想・基本計画(素案)について説明を行った。	
71		川崎区説明会	教委	川崎区評議員会	20	11月15日(水) 18:50～19:15	仁田町内会へ説明する内容(学校用地と施設の構想)について、区の評議員会の場を借りて事前に説明。		-
72		仁田町内会説明会	教委	仁田町内会	40	11月29日(水) 19:00～20:30	事前に提出された質問状に対する回答および、再編事業の概要、基本構想・基本計画の内容、椋原地域の造成、整備の案について説明。	浸水被害、付け替え道路、通学路整備等の要望を改めて聞く形となった。主要な質問については事前質問回答のとおり。神谷氏からは、地元公民館の機能(仁田町内会が優先で使える部屋)を学校内に設けてほしい、という話もあった。他に付け替え道路に隣接する住宅からは、通行する車両、工事の際の振動が心配との声があった。	20

No.	年度	名称	主体・対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
73		地域教育懇談会	静教組	教職員、保護者	36	12月2日(土) 9:30～	学校再編の取組や基本構想・基本計画(案)について説明後、分散会を開催。	<ul style="list-style-type: none"> 良いところと不安なところがある。デメリットの部分をもう少し聞きたい。 ハード面も重要だが、中身の面で魅力を持たなければならぬ。 子どもたちのことを考えてくれていて子どもファーストだったことがうれしかった。 	21
74		パブリックコメント	教委	市民、市内通勤通学者	56	12月5日 ～1月4日	学校施設基本構想・基本計画(案)	校地選定や通学手段、多様な子どもへの対応、特別教室の敷等について特に多くの意見があった。また教育環境や周知方法等についても意見があった。	177
75		市議会全員協議会(臨時)	教委	市議会議員	15	12月20日(月) 10:00～12:00	基本構想・基本計画(素案)	基本構想・基本計画(素案)について説明を行った。	
76		子育て支援センター相良あそぼっと 説明会	教委	未就学児保護者	7	12月21日(木) 10:50～11:10	基本構想・基本計画の内容説明、先進地の事例紹介、パブリックコメントの案内、質疑応答	通学方法に関する質問が多く聞かれた。部活動後のバスの運用など、保護者も乗れるのかどうか等の質問があった。	7
77	R5	高校生ワークショップ	教委	相良高校生	8	12月21日(木) 11:00～12:00	基本構想・基本計画の内容、先進地の事例紹介等の情報提供の後、高校生の視点から、新しい学校施設にあったらいいと思う部屋、いらぬ部屋などの意見を出してもらうよう、ワークを実施。	屋上に出ることができて景色が見れるといい、図書館にソファアアが欲しい、ボルダリングがあったらいいな等の高校生の視点からの具体的な意見が出された。	34
78			教委	榛原高校生	10	12月22日(金) 13:00～14:30		自習室や談話室、上級生から下級生へ勉強を教えてあげられるような部屋があるといい、友達とゆっくり過ごせるスペースが欲しい、といった高校生の視点からの具体的な意見が出された。	68
79		大沢区説明会	教委	大沢区役員	34	12月22日(金) 19:00～19:30	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	子どもの人数の推移予測の仕方、複合施設の規模の決め方、ハード整備ばかりではなく、ソフト面も力を入れなければ意味がない等の意見が出された。来年度から設計に関する内容の検討を進めていくため、また区の方にもご意見を伺う旨を伝えた。	7
80		豊岡区説明会	教委	豊岡区役員、組長等	25	12月23日(土) 19:00～19:30	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	グラウンドの広さ、総合グラウンドへの道、ソフト面の充実、スクールバス	4
81		地頭方区説明会	教委	地頭方区役員、組長等	60	12月23日(土) 19:30～20:00	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	前期課程と後期課程、開校目標年度	2

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
82		遠渡区説明会	教委	遠渡区役員、組長等	25	12月24日(日) 19:30～20:00	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	市全体で2校になるのか	1
83		子育て支援センター様原説明会	教委	未就学児保護者	20	12月25日(月) 10:00～11:00	基本構想・基本計画の内容説明、先進地の事例紹介、パブリックコメントの案内、質疑応答	学校敷地の安全性、放課後児童クラブ、スクールバス等について質問があった。また、早く開校して欲しい、保育園や幼稚園のPTA総会等でも説明の場を設けてはどうか、等の意見があった。	20
84		新庄区説明会	教委	新庄区役員、組長等	40	12月26日(火) 19:00～19:30	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答		-
85		落居区説明会	教委	落居区役員、組長等	19	12月26日(火) 19:30～20:00	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	部活動、再編は決定か、バス停、便数、学校の規模、1校でいいのでは	5
86	R5	静波区説明会	教委	静波区評議員	25	1月15日(月) 19:30～19:45	基本構想・基本計画の内容説明、質疑応答	校舎が建つのは敷地内のどの部分か	1
87		菅山区説明会	教委	菅山区役員、区民	46	1月18日(木) 19:00～20:30	学校再編計画～基本構想・基本計画の取組説明、質疑応答	現在の校地は津波が心配。 ・菅山小を残してそこに通うのが一番安全ではないか。 ・菅山小校舎の耐震基準はいつのものか。 ・事業費や財源、市民1人あたりの負担等はいつ示されるのか。 ・新しい学校で地域との関係はどうなるのか。 ・スクールバスが無償になった経緯、無償を「基本とする」の意味は。	10

参加人数合計 6,188人

意見数合計 3,989件

※市議会、教育委員会、市校長会等に随時報告。
※まちづくり推進本部会議、学校再編推進プロジェクトチーム（関係課長）、関係部署において随時協議。

**牧之原市義務教育学校施設整備
基本構想・基本計画**

令和6年1月

牧之原市教育委員会 学校再編推進室

〒421-0592 静岡県牧之原市相良 275 番地

TEL : 0548-53-2640 FAX : 0548-53-2657

E-mail : g-saihen@city.makinohara.lg.jp

